

OECU-E ノート 2014

工学部
電気電子工学科



 4ステップの実学教育
4 Step Education for Practical Studies

ときめき
Opportunity

実践
Experience

感動
Capability

発展
Utility

大阪電気通信大学

O.E.C.U. Osaka Electro-Communication University

はじめに

入学おめでとうございます。

新入生の皆さんは、様々な想いでこの大学の門をくぐられたと思います。このノートは皆さんの一人ひとりが、これからの大学生活の中で夢を描き、そしてその夢を実現することを手助けするためにつくられました。

自分の夢を実現していく上で、これからの大学生活の4年間は大事な準備期間になります。4年というと、ずいぶん長いように思われるかも知れませんが、過ぎてしまえばあっという間です。卒業後の社会生活、職業生活を豊かなものにするためには、この4年間でいかに有意義に過ごすかが鍵を握っていると言っても過言ではありません。

それでは、これからの大学生活を実りあるものにするためには、どうすればよいのでしょうか。ひとそれぞれの答えがあると思いますが、例えば、まず自分の人生設計をしっかりと立て、人生全体のなかで、この大学生活4年間で位置づけて考えてみてはどうでしょうか。

そのために、是非このノートを活用して下さい。このノートは三つの柱で構成されています。第一は「自分を知る」、第二は「大学を知る」、第三は「社会を知る」です。

第一に、自分を見つめ直すというところから始めてみましょう。私たちは案外、自分のことをよくわかっていないものです。自分の強みや弱みについて、分析します。またそれぞれのキャリアプランを描き、過去の自分と向き合い、未来の自分を展望し、大学生活をどう過ごすかの探究を行います。こうしたテーマを具体的に考え、書き記し、時にはクラスの仲間と話すことで、ぼんやりしていた夢がはっきりしてくるはずですよ。

第二に、自分をよりいっそう高めるために、大学のこともしっかり知っておく必要があります。大学には専門知識を身につけるだけでなく、将来の可能性を切り拓く機会がたくさん用意されています。大学にはどのような資源があるのか、自分たちで探し出してみましょう。

第三に、社会のことこそ何より知っておかなければなりません。この大学には多様な教養のための総合科目が開講されていますから、皆さんは問題意識を持ち、積極的に受講して下さい。このノートでは、将来社会人・職業人としてスタートする上で、特に重要となるテーマを幾つか扱います。社会人の方々からも直接にお話を伺い、感想や疑問点を記録しながら、自分なりの関心を深めていきましょう。

このノートの空欄を積極的に埋め込んでいく過程を通し、自分の長所や課題を見つけ、大学の資源をフルに活用しつつ、世界観を拓いていって下さい。皆さんが大きく成長されることを心より願っています。

OECU-Eノート

目次

1. キャリア教育の目的	P.1
2. 本学の歴史	P.2
3. ブランドイメージ	P.4
4. 本学の教育方針	P.6
5. 学科紹介	P.7
6. 学科の専門分野の概要	P.8
7. カリキュラムマップ	P.9
8. 大学院への進学	P.10
9. キャリア教育スケジュール	P.11
10. 資格取得のススメ	P.12
11. キャリア入門（1年次前期）	P.15
12. キャリア概論（2年次前期）	P.35
13. キャリアデザイン演習（2年次後期）	P.53
14. キャリア設計（3年次前期）	P.55
15. インターンシップ（3年後期）	P.85
16. 卒業研究（4年次）	P.99

写真
(のりづけ)

学籍番号

氏名

1. キャリア教育の目的

キャリアとは、もともと「車道」というラテン語が語源だそうです。それが競技場のトラックやコースを意味するものとなり、今日では特別な訓練や技能を必要とする職業や仕事において生涯歩いていく道というようなことを意味するようになりました。

このノートや本学の一連のキャリアに関連する科目は、キャリアについて教員スタッフの指導・アドバイスを受けながらも、皆さん自らが、そして仲間とともに、自分の将来の仕事世界を歩いていく道＝キャリアを考え、探すことを目的としています。

かつてであれば、わが国では学校を卒業すると同時に就職し、終身雇用という慣行の下で一つの企業で技能や能力をのばし、定年まで勤め上げるという、直線的で安定した一つの道を歩むことを期待することができました。その道を見つけるのも比較的容易でした。しかし現在では、学校を終えても仕事を見つけるまでに何年もかかったり、フリーターやニートの増加にみるように安定的な仕事が見つからず、何度も失業や転職を繰り返すことも珍しくなくなりました。仕事の世界は絶えず大きく変化しており、多様な仕事が生まれては消滅しています。仕事に必要な能力や技術も絶えず変化して、これからどのような仕事への道があるのか、自分が興味を持って歩み続けることができる道はどれなのか、やりたい仕事を得るためにどのような知識や技能を身につけるべきなのか、それらを見極めることはとても難しくなっています。

本学のキャリア教育は、「9. キャリア教育スケジュール」の表（11ページ）にあるように、キャリアに関する科目及び周辺科目を軸として、専門科目を含む教育活動全体を通じて行われるものと考えています。その目的は、単にエントリーシートの書き方や面接の受け方などの就職活動のノウハウの獲得といった狭く限定されたものではありません。人生の歩み方、生涯にわたる社会的活動や人間形成とのかかわりの中で、働くことの意味を考え、自らの将来のキャリアをデザインし必要な行動を起こすことにあります。仕事に就くために準備し、計画を立て行動するいわゆる就職活動は、広いキャリア教育の一部です。したがってキャリア教育の内容は広く、①自己と向き合い自己を理解すること、すなわち、これから何がしたいのか、何ができるのか、生かしたい自らの経験、能力、性格を知ること、②仕事の世界を含む社会の仕組みや現状を理解するために、必要な情報を集め、分析し、活用すること、そして、③生き方の表現、将来設計としての自らのキャリアをデザインしながら、具体的には就職活動のための準備をし、計画・対策を立て、行動を起こすことを含みます。皆さんは、それらを、段階的にかつ相互に関連付けながら学んでいくこととなります。

なお、キャリア関連の標準的な学びのコースとして、1年次に「キャリア入門」、2年次に「キャリア概論」と「キャリアデザイン演習」、3年次に「キャリア設計」と「インターンシップ」が配当されています。それらを、補足、深化、発展させるために、「日本語上達法」、「プレゼミナール」、「卒業研究」等が用意されています。

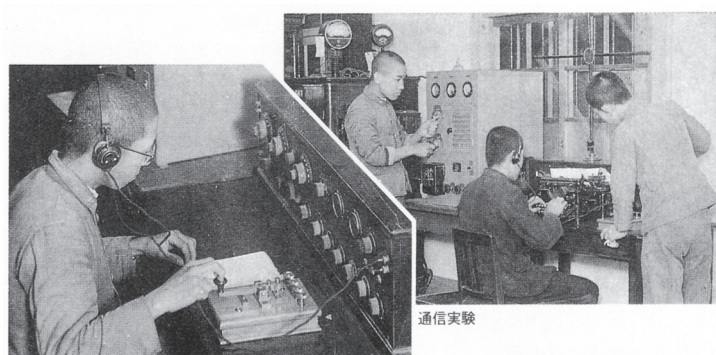
2. 大阪電気通信大学の歴史

私立大学で初めて「電子工学科」を開設！（東京大学・大阪大学と同時開設！）

大阪電気通信大学は、1941年に創設された東亜電気通信工学校に起源します。東亜電気通信工学校は第二次世界大戦が激しくなる中で、無線通信士の養成校として発足しました。そして、数々の優秀な通信士を輩出しました。

混乱する日本が戦後復興の歩みを進めていくうえで、「電子工学」は日本が工業立国として成長する礎となるとの認識のもとに、1958年に大阪電気通信短期大学「電子工学科」が開設されました。この電子工学科の開設は、東京大学・大阪大学における電子工学科の開設と同じタイミングで実施され、私立大学としては日本で最初の開設となりました。この電子工学科の開設は産業界には非常に意義深いことでした。その後さらに、専門技術者育成の声が高まり、4年制大学が切望されるようになりました。そして、短期大学開設3年後の1961年に「大阪電気通信大学・工学部・電子工学科」が開設されました。

その後、時代のニーズに合わせ、通信工学科・電子物性工学科(現：環境科学科)・電子機械工学科・経営工学科(現：情報工学科)・精密工学科(現：機械工学科)等が次々に開設され、日本の高度成長を大きく支えてきました。



成長を続ける大阪電気通信大学は校地・学舎が手狭となり、1987年の大学創立25周年事業に合わせて、関西文化学術研究都市の一端にある四條畷市に「四條畷キャンパス」を開設しました（145,800㎡-甲子園球場11個分）。その後、1990年には大学院を開設し、2年後の1992年には大学院博士後期課程までも備え、テクノロジーの総合大学としての地位を築きました。

その後も、時代のニーズに応じた学科を毎年次々と開設し、現在の5学部14学科の大学へと発展してきました。

電通大データ（2012.12.10現在）

学生数： 5,272名

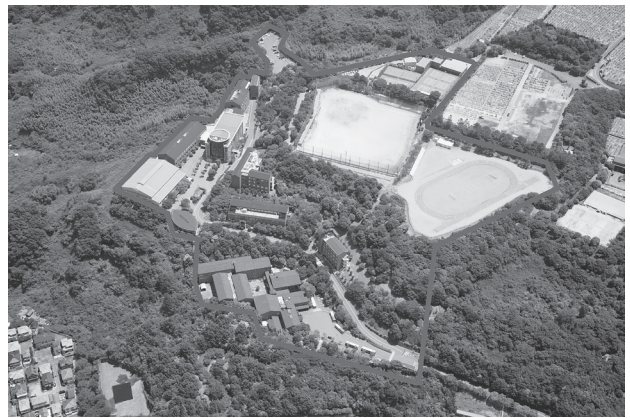
OB数：44,792名（うち社長数：444名※東京商工リサーチ）

敷地面積・校舎延床面積

キャンパス	敷地面積	校舎延床面積
寝屋川キャンパス	54,164㎡	65,215㎡
四條畷キャンパス	150,791㎡	30,303㎡
駅前キャンパス	1,178㎡	4,715㎡
	206,134㎡	100,234㎡



寝屋川キャンパス



四條畷キャンパス

大阪電気通信大学学歌

作詞 片岡 幸彦
作曲 鎌田 廉平

(1) なにわのひがーしよどがわーにし
 げれるわかきわれらあーしお
 おーおーさかでんきつうしんだいがくきょう
 ーでんしのたんきゅうにきわめんみち
 のほこりはたかしほこりはたかしお
 おーおーさかでんきつうしんだいがく

浪速の東淀川に
 茂れる若きわれら葦
 おお大阪電気通信大学
 今日電子の探求に究めん道の
 誇りは高し 誇りは高し
 おお大阪電気通信大学

稲穂波立つ河内野に
 ゆうゆう高き鉄塔よ
 おお大阪電気通信大学
 われら時代の先端を荷負う未来に
 責任重し 責任重し
 おお大阪電気通信大学

宇宙をひらくわれら意気
 世界にひびくその名こそ
 おお大阪電気通信大学
 愛と真理と理想とに明日の平和の
 門を開かん 門を開かん
 おお大阪電気通信大学

3. 大阪電気通信大学のブランド・イメージ

近畿の主要大学 66 校の中で「大学ブランド力」第 25 位！

日経BPコンサルティングは、今年度6年目になる「大学ブランド・イメージ調査（2012-2013）」を調査しました（http://consult.nikkeibp.co.jp/consult/news/2012/1121ubj_5/）。アンケート対象者は、有識者、中学生以上の子供を持つ父母、教育関連従事者です。【近畿編】の結果を示します。

大学ブランドスコアランキング（有識者編）

大学ブランドスコア ランキング	大学種別	所在県	大学名	大学ブランド スコア
1	国立	京都府	京都大学	94.2
2	国立	大阪府	大阪大学	76.8
3	私立	京都府	同志社大学	70.4
4	国立	兵庫県	神戸大学	67.5
5	私立	京都府	立命館大学	66.7
6	私立	大阪府	関西大学	63.0
7	私立	兵庫県	関西学院大学	62.7
8	私立	大阪府	近畿大学	59.6
9	公立	大阪府	大阪市立大学	58.9
10	公立	大阪府	大阪府立大学	54.4
11	私立	京都府	京都産業大学	53.6
12	私立	京都府	同志社女子大学	53.4
13	私立	大阪府	関西外国語大学	52.7
14	国立	大阪府	大阪教育大学	52.3
15	国立	奈良県	奈良女子大学	52.0
16	公立	京都府	京都府立大学	51.9
16	私立	京都府	京都女子大学	51.9
18	私立	兵庫県	甲南大学	51.7
19	私立	兵庫県	武庫川女子大学	50.6
20	私立	兵庫県	神戸女学院大学	50.5
21	私立	京都府	龍谷大学	50.3
22	私立	京都府	京都外国語大学	50.2
23	国立	京都府	京都工芸繊維大学	49.6
24	公立	兵庫県	神戸市外国語大学	48.3
25	私立	大阪府	大阪電気通信大学	48.0
25	私立	兵庫県	神戸女子大学	48.0
27	国立	京都府	京都教育大学	47.9
27	私立	京都府	仏教大学	47.9

27	私立	大阪府	大阪工業大学	47.9
30	私立	兵庫県	甲南女子大学	47.0
30	私立	奈良県	天理大学	47.0

【ノミネート大学】(66校)

■滋賀県

滋賀大学、滋賀県立大学

■京都府

京都教育大学、京都工芸繊維大学、京都大学、京都府立大学、大谷大学、京都外国語大学、京都学園大学、京都産業大学、京都女子大学、京都精華大学、京都橘大学、同志社女子大学、同志社大学、花園大学、佛教大学、立命館大学、龍谷大学

■大阪府

大阪教育大学、大阪大学、大阪市立大学、大阪府立大学、追手門学院大学、大阪学院大学、大阪経済大学、大阪経済法科大学、大阪工業大学、大阪国際大学、大阪産業大学、大阪樟蔭女子大学、大阪商業大学、大阪電気通信大学、関西外国語大学、関西大学、近畿大学、四天王寺大学、摂南大学、帝塚山学院大学、阪南大学、桃山学院大学

■兵庫県

神戸大学、兵庫教育大学、神戸市外国語大学、兵庫県立大学、大手前大学、関西国際大学、関西学院大学、甲南女子大学、甲南大学、神戸学院大学、神戸国際大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女学院大学、神戸女子大学、神戸親和女子大学、兵庫大学、武庫川女子大学、流通科学大学

■奈良県

奈良教育大学、奈良女子大学、帝塚山大学、天理大学、奈良産業大学、奈良大学

■和歌山県

和歌山大学

4. 本学の教育方針

全学のカリキュラム・ディプロマポリシー

“実学”の定義と教育の実質化

実学の3つの能力

- (手)手が動かせる
与えられた／考えた課題に対して手が出せる
 - (頭)絵が描ける
自分の考えが具象化できる(図表化できる)
 - (心)コミュニケーションができる
人の考えが理解できる
自分の考えを伝えられる
- ☾ 双方向の意思疎通

右脳の活用

(これまでの教育・評価は左脳が主対象で、右脳の能力は未開拓)

⇒対象・内容をビジュアル化した教育方法

⇒シンキング・コミュニケーションツールの習得



右脳を活用した実学教育

4つの
OECU
ステップ
で実学
を体得

出口(卒業・就職)
空気が音に!

実学教育の実質化

手と頭と心に
実学の千カラ!

入口(入学)

ただの空気?

〈発展〉
Utility

〈感動〉
Capability

〈実践〉
Experience

〈チャンス〉
Opportunity



5. 学科紹介

Department of Electrical and Electronic Engineering

本学「電気電子工学科」で学べること

私たちの生活は“電気”なくして成り立ちません。電気・電子工学分野の研究開発成果により、高速鉄道から携帯機器までさまざまな製品が実現されてきています。今後「環境にやさしく」、「人にやさしく」人々を助けるいろいろな電気・電子機器が必要になります。それらの機器を動かすための電気エネルギーを創り出し、送り、蓄える技術や、エレクトロニクスを利用した省エネルギーの技術が必要です。社会は電気・電子工学分野の若い技術者・研究者をますます必要としています。本学科では、実学に基づいた「考える力」と「応用力」を持ち、産業界で活躍できる人材を育成します。

◆電気電子工学科のカリキュラム

「電子・光デバイス」、「電気電子回路」、「エネルギー・電気応用」、「計測制御」、「情報」の電気・電子工学の科目を学年進捗とともにバランスよく配置し、各分野の知識、技術を総合的かつ系統的に修得できるように工夫しています。

◆電気電子工学科では次の3つの教育方針のもと、創造性豊かな人材の育成を目指しています。

- 演習・実験を重視した、実学に基づいた教育
- 実社会での応用力を養う、「覚える」から「考える」への指導
- 学びの意欲を支援する講義外学習支援、オフィスアワーでの個別指導

◆本学科と一緒に研究・開発しませんか！

- 太陽電池の作製とその電力の有効利用(スマートグリッド等)の研究
- 地震を引き起こす活断層などの地中観測システムの研究
- 電池が長持ちするスマートフォンの頭脳(電子デバイス)の設計
- 壁掛けテレビ、電子ペーパーなどの超薄膜発光デバイスの研究
- 食物や体内中の極微量の放射性物質・有害物質を検出できる電子デバイスの研究
- 自律型ロボットめざす人工知能の研究

取得できる資格

- ・高等学校教諭第一種免許状(数学・工業・情報)
- ・中学校教諭第一種免許状(数学)

試験科目の免除がある資格

- ・第二種電気工事士

取得を目指す資格

- ・電気主任技術者
- ・基本情報技術者

1～2年次では基礎学力を
しっかり固める

担任教員が10名程度の学生に数学や物理を丁寧に指導するゼミ授業

演習は少人数で教育

基礎科目は「オフィスアワー」で補強

プログラミングを基礎から楽しく学ぶ

ものづくりを基礎から指導

3～4年次では将来必要となる
専門知識を固める

全てのエレクトロニクスのもと「半導体工学」

電気設備に必要な「電気回路」「パワーエレクトロニクス」

モーターの原理を学ぶ「電気機器」

電子システムの基礎「電子回路」や「LSI設計」

本格的に学ぶ「ロボット制御」

太陽光発電の「新エネルギー工学」

広がる進路
技術職・設計・開発職へ就職、大学院進学

運輸・電力

電気設備

情報・通信設備

ソフトウェア開発

ホームエレクトロニクス開発



大阪電気通信大学

O.E.C.U. Osaka Electro-Communication University

工学部 Department of Electrical and Electronic Engineering

電気電子工学科

お問い合わせ

大阪電気通信大学 入試部
〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18-8
TEL: 072-824-1131 (代)

URL: <http://www.osakac.ac.jp/> / E-mail: nyushi@isc.osakac.ac.jp

■京阪本線をご利用の場合:「寝屋川市」駅より徒歩10分

6. 学科の専門分野の概要

数理基礎	<ul style="list-style-type: none">・線形代数、関数と関数の微積分、微分方程式などの数学を学びます。・数学により、目に見えない電気電子の世界が式という形で見えるようになり、専門科目の理解が進みます。・物理学とその実験科目では、身近な物理現象やそこにある法則を学ぶことが出来ます。
実験	<ul style="list-style-type: none">・工学基礎実験では、ラジオなどの回路を製作します。電子回路についての成功体験を得ましょう。・2・3年の実験科目では、座学と併行して、実験により電気電子工学の理解を深めていきます。・予想と違った結果、なぜだ？それも面白い。・測定法、測定機器の使用法やレポート作成も重要な習得事項です。
電気電子工学	<ul style="list-style-type: none">・身の周りの電気・磁気現象を解き明かしてくれる電磁気学を学びます。・電気部品から電波通信まで、それらの原理のルーツがここにあります。・基本法則を学んで、新しい電気電子技術を模索してみましょう。・電気電子分野でよく使う数学を実例に照らし合わせながら学び、数式が示す実体を描く力を身につけます。
電気電子回路	<ul style="list-style-type: none">・オームの法則、キルヒホッフの法則など電気電子回路の基本法則とその応用、トランジスタなど回路素子の特性とそれを用いた基本的な回路の解析を、講義および演習で徹底的に学びます。・回路が読めると面白い、設計できればなお面白い。一步進んでアナログ、デジタル、LSI回路も学べます。
電子・光デバイス	<ul style="list-style-type: none">・トランジスタ、LED、レーザー、LSI、太陽電池など半導体デバイスを生み出してきたのが、この分野の学問：固体物理学、半導体工学や量子エレクトロニクスなどです。・これらのデバイスの動作原理を基礎理論から正しく理解する力を備えて、将来これらを凌駕する新しいデバイスの発明に挑戦しよう。
エネルギー・電気応用	<ul style="list-style-type: none">・電気エネルギーの生涯、「創る」「送る」「変換する」「効率よく使う」に関連した理論と技術を学びます。・「企業連携講座」は、企業現場における製品開発や業務技術の実態など興味深い話が盛りだくさんで、理論・基本技術の理解を手助けしてくれること間違いなし。
計測・制御	<ul style="list-style-type: none">・目標とする状態に早く到達させ維持する「制御」、この「制御」と「測る」は、自動生産設備などロボットの基本部分です。その理論と応用を学ぶのがこの分野です。・「制御」をするには「正しく測る」ことが必要、計測工学で「測る」の本質も学びます。
情報	<ul style="list-style-type: none">・ほとんどの機器にはコンピュータが内蔵されています。情報理論の基礎から始め、コンピュータのハードからソフトウェアプログラミングまで学びます。数理基礎の数学にはない、ブール代数など情報数学も学びます。・新しいコンピュータ、組込みシステム、アプリなどの開発を目指す人に、厳選した基礎を提供しています。
総合科目・キャリア教育科目	<ul style="list-style-type: none">・社会学、経済学、心理学、語学など総合科目は、その分野の学問知識だけでなく、自分を高め、人（諸外国を含めて）とのコミュニケーション力の源となります。・キャリア科目は、社会を知り、まだ気づいていない自分を見出し、将来のビジョンづくりなど手助けをします。

電気電子工学科 カリキュラムマップ

電験3種試験

卒業研究
研究室配属
インターンシップ
学内合同説明会開始
エントリーシート提出、就職試験
大学院入試

7. 電気電子工学科入学から卒業まで

	1年 (学びの基礎づくり)	2年 (専門分野の基礎づくり)	3年 (専門知識を身に付ける、社会を知る)	4年 (思考力、応用力の実践)
数理基礎	基礎解析・演習 基礎微積分1・演習 微積分1・演習 線形代数1 物理学1・演習 物理学2 物理学・実験	微分方程式 確率・統計 現代物理学入門		
実験	工学基礎実験	電気電子工学実験1 モノづくりの手法を学ぶ。	電気電子工学実験2 主体的行動、協調性、責任感、文章力・コミュニケーション力を学ぶ。	電気電子工学実験3 電気電子工学実験4 電気電子設計製図
電気電子工学	基礎電磁気学・演習(OH)*1 電磁気学・演習(OH)*1	電磁気学1 電磁気学2 専門分野の基礎を学ぶ。	電磁気学2 電子回路演習 デジタル電子回路 半導体工学・演習(OH)*1 電気電子材料	電子機器・電子デバイス分野 電気設備・エネルギー分野 電気制御分野 情報システム分野
電気回路	基礎電気回路(OH)*1 電気回路1	電気回路2 電気回路演習 基礎電子回路	LSI設計工学 アナログ電子回路 半導体デバイス 量子物理学 光エレクトロニクス	
電子・光子デバイス	電気電子工学を支える学問分野を理解し、それらの基礎的な学力を身につける。	固体電子工学・演習		
エネルギー応用		電気機器 画像・映像工学	パワーエレクトロニクス 企業連携講座 電気電子連携講座(電気鉄道)	
計測・制御		制御工学 計測・センサ工学	ロボット制御 電気電子連携講座(電気鉄道)	
情報	コンピューターグラフィクス1 コンピューターグラフィクス2 情報工学1	プログラム演習1 プログラム演習2 コンピュータ・ハードウェア	パワーエレクトロニクス 応用 デジタル信号処理 電磁波工学	
総合キャリア教育科目	電気電子工学入門 キャリア入門 日本語上達法	総合ゼミナール キャリア概論	情報工学3 特別ゼミナール プレインターンシップ インターンシップ 音響工学 プレゼミナール インターンシップ	新しい課題への取り組み方(計画立案、調査、実行、報告書作成)の基本を体得する。 専門用語を理解し、それを用いた文章力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力を身に付ける。
人文学系科目		個々の科目名は書かないが、人文系科目、外国語科目、体育系科目は、技術者がグローバル化する社会で活躍し、バランスのとれた適切な判断をするための基礎となるので、できるだけ多く、かつ深く理解することが望まれる。コミュニケーション能力向上の面でも積極的に履修することが学科としても望ましい。	大学での勉学と実社会とのつながりをより具体的に理解する。	
卒業研究	卒業研究			与えられた課題を自分の知っている基本的な法則を組み合わせて解決する思考力・応用力を身につける。
就職活動	就職活動			就職活動

*1: (OH)はオフィスアワーのある科目

8. 大学院への進学

学部の勉強と大学院の研究の違い

4年生までの学部での勉強は多人数クラスで行われるのに対し、大学院では先生と1対1で議論し、相談しながら研究を進めます。従って密度の濃い、やりがいのある研究を、基本的に1人の力で困難を切り開きながら進めてゆくことになります。この積極性・主体性が皆さんの技術力・仕事力を大きく伸ばすことにつながる訳です。



光・電子デバイス工学分野

次世代を担う電子デバイスの実現を目指す。

光・マイクロ波工学分野

光や電波に関する最先端の応用技術を発展させる。

通信・ネットワーク工学分野

情報通信ネットワーク技術で、IT社会を支える。

キーワード：

LSI, レーザ, 高周波デバイス
次世代半導体, 有機半導体
デバイス評価, 光集積回路

光, マイクロ波, 光ファイバー通信
衛星通信, センシング
パワーエレクトロニクス

通信プロトコル, 光ネットワーク
デジタル信号処理
情報セキュリティ

大学院 電子通信工学専攻では、半導体中の電子、電波や光の振舞いを探求するとともに、その成果を電子デバイスや光デバイスの開発に応用し、最終的には高度の情報処理、情報伝送システムなどを実現する学術分野です。様々な家電OA機器に内蔵されているマイクロプロセッサやメモリ、移動体通信や光ファイバ通信システムはその具体的な成果と言えるでしょう。現在の情報化社会はこれらの機器やシステムによって支えられており、社会的基盤としての電子通信工学の役割はますます増大しつつあります。

電子通信工学専攻は、半導体デバイス、光デバイスを研究する「**光・電子デバイス工学**」、光や電磁波の振舞いを研究しセンシング技術などに生かす「**光・マイクロ波工学**」、通信技術など電子通信分野と情報技術の向上をめざす「**通信・ネットワーク工学**」の3分野で構成され、大学院生と先生方が一体となって関連分野の研究・教育を行なっています。

9. キャリア教育スケジュール

<p>本学の教育方針</p> <p>実学の3つの能力を身につける (手) 手が動かせる (頭) 絵が描ける (心) コミュニケーションができる</p>							
<p>本学科の教育方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 演習・実験を重視した、実学に基づいた教育 ・ 実社会での応用力を養う、「覚える」から「考える」への指導 ・ 学びの意欲を支援する講義外学習支援、オフィスアワーでの個別指導 							
キャリア教育の目的							
自己を発見する	自己を成長させる		夢を実現する				
	1年次	2年次	3年次		4年次		
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
キャリア入門		キャリア概論		キャリア設計	インターシップ	卒業研究	
	日本語入門		キャリア・デザイン演習		プレゼミナール		
<ul style="list-style-type: none"> ・ オリエンテーション ・ キャリア支援講座 ・ 適性検査 		<ul style="list-style-type: none"> ・ キャリア支援講座 ・ 適性検査 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進学・就職ガイダンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャリア支援講座 ・ 適性検査 ・ 就職ガイダンス ・ SPI模擬試験 ・ SPI e-Learning 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就職ガイダンス ・ 就職支援講座 ・ 業界研究セミナー ・ 個別企業セミナー ・ 合同企業説明会 ・ SPI模擬試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就職ガイダンス ・ 就職支援講座 ・ 業界研究セミナー ・ 個別企業セミナー ・ 合同企業説明会 ・ SPI模擬試験 	
科目							
就職部							

10. 資格取得のススメ～電気電子工学科のみなさんへ～



みなさん、こんにちは。資格学習支援センターです。大阪電気通信大学では、資格取得を応援しています！電気電子工学科のみなさんにお勧めの資格をご紹介します。

？ 資格取得は3つの大きなメリットがある！！

資格取得をすることで3つのメリットが生まれます。1つめは「知識が身に付く」こと。2つめは資格取得のために「努力した証明になる」こと。3つめはその経験・結果が「自信につながる」ことです。この、資格取得で頑張ったという経験が、自信となり大きな強みに変わるのが資格のいいところです。

知識の証明 + 努力の証明

自信がつく！

就活では
大きな強みに！

？ どんな資格を取ればいいの？

●電気系の資格を取るなら

【第一種・第二種電気工事士】

日常の電気工事を扱える専門技術者の資格です。屋内外への配線、コンセントの設置やアース施工など電気工事の作業は有資格者しか行えないため、ニーズが高い資格。

【第三種電気主任技術者】

高圧電気の管理・保全を行う電気設備の保安監督者の資格です。高圧受電をする所は、有資格者を置くことが法令で義務付けられているため求められる資格。

将来は・・・

- ・ビル管理会社
- ・電気工事会社
- ・情報通信業
- ・公共機関

など

電気を扱う企業の就職に有利に！

●オールマイティーに使える資格

【MOS (Microsoft Office Specialist)】

Word、Excelなど、今や必須知識と言っても過言ではない！今後のためにも学生の間に取っておきたい資格です。

【秘書検定】

社会人に不可欠なマナーを勉強します。これが就活にも非常に役に立つ知識となります。今や、大学生が取得する定番資格です。

【ニュース時事能力検定】

「時事の勉強はしておきましょう」と受験のたびに聞く言葉ですが、就活ではさらに時事の重要性が増します。どうせ時事の勉強するなら資格も取って一石二鳥！

【TOEIC】

エントリーシートでスコアを書くのはもう常識！？入社後も取得を推奨する企業多数！企業も注目する世界共通の語学試験で受験者急増中。

●さらにスキルを身につける

【ITパスポート】

すべての社会人が共通して持つべきIT（情報技術）の基礎知識を学べる人気の国家資格。パソコンに関する基礎知識だけでなく、経営管理なども学ぶことができる。

【基本情報技術者】

プログラマー、システムエンジニアを目指す者には必須と言える人気の国家資格。システム開発や設計に関する知識やネットワーク、セキュリティなどを学ぶだけでなく、情報技術を使った戦略立案や、企業法務も学ぶことができる。

将来は・・・

- ・技術職
- ・エンジニア
- ・プログラマー
- ・制作
- ・企画、開発
- ・管理
- ・事務職
- ・営業職

など

様々な業種で活かせる！

●各種人気資格もしっかり押さえる！

【公務員試験対策】【色彩検定】【CGエンジニア検定】
【CGクリエイター検定】【Webデザイナー検定】
【二種外務員】【知的財産管理技能検定】など
他にも役に立つ資格試験講座をたくさんご用意！
将来の夢を叶えるサポートは万全です！

資格取得に関しての疑問や質問はもちろん、しっかり話を聞きながらあなたに合った勉強スケジュールも組みます！私たちと一緒に資格取得まで頑張りましょう！

《お気軽にお越し下さい》

資格学習支援センター

(寝屋川キャンパス A号館1階就職部隣)

資格取得：電気電子工学科における資格取得関連事項

☆取得できる教員免許：

高等学校教諭免許状（工業Ⅰ種、数学Ⅰ種、情報Ⅰ種）、中学校教諭免許状（数学Ⅰ種）

☆在学中に下記の資格を取得すると「特別ゼミナール」（2単位）の単位修得ができます。

電気主任技術者、第2種電気工事士、電気通信の工事担任者、電気通信主任技術者、基本情報技術者、危険物取扱者、CG検定、マルチメディア検定、エネルギー管理士、家電製品エンジニア、など（詳細はシラバス参照のこと）

☆第2種電気工事士資格の筆記試験免除

下記指定科目の単位を修得して卒業すると筆記試験が免除となり、技能試験に合格すれば免許が取得できます。

計測・センサ工学、電気機器、電気電子材料、送配電工学、電気電子設計製図、電気法規と施設管理

資格取得学生から一言

第3種電気主任技術者（2010年取得）

私が第3種電気主任技術者（電験3種）取得を目指した理由は、電気電子工学について、より深く学びたいと考えたからです。大学入学後の一年間、電気電子工学の基礎を学んだ私は、本学で電験3種の講習会が半年間開講されることを知り、資格を取得する過程で電気電子工学について多くを学ぶことができると考え、講習会に参加し、資格を取得することができました。資格を取得する過程では、電気電子工学の知識以外にも、勉強の仕方や時間管理の方法等についても学ぶことができ、後の就職活動では、電験3種を取得していることや上記の学びはアピールポイントとなり、第一志望の企業から内定をいただくことができました。

このように、電験3種取得を目指したことは、私にとって、とても良い経験となりました。また、就職先によっては、仕事を行うために電験3種等の資格が必要となる場合があるので、資格取得は学生の間に積極的に挑戦してほしいと思います。

[2009年度入学、入江弥憲]

基本情報技術者（2010年取得）

私が基本情報技術者試験を受けようと思ったきっかけは、自分の技術を資格という形に残したいという気持ちからでした。試験3ヶ月前から電車の中や授業の合間といった、空いた時間を利用して参考書を読みました。参考書は分かりやすい解説が記載されているものを選びました。試験1ヶ月前から過去問を解き始め、分からなかった問題を重点的に復習しました。気をつける点ですが、すべての範囲を完全に理解しなければならないことはありません。試験は6割正解すれば合格ですから、過去問が9割程度理解できれば十分といった印象です。

資格や免許は就活でアピールポイントになります。私が行ったIT関係の企業の面接では、必ず基本情報を持っていることについて聞かれ、アピールする機会が与えられました。

このように、資格や免許は持っていて損はありません。ですが就活中は忙しく、試験勉強の時間は少なくなりますから、それまでに取っておくと良いと思います。

[2009年度入学、福島正之]

11. キャリア入門

1 年次前期

1.1. キャリア入門

1. 目的

「キャリア入門」の目的は、皆さんが大学生活を一層有意義にする手がかりを得ることにあります。そのために自己を見つめ、本大学の豊かな資源を知り、社会に向けての関心を深めながら、なぜ専門的知識と技能を習得することが必要であるかなど、週に一度、皆で問い直してみることにしましょう。

本授業の目的を達成するには、皆さん一人ひとりの、主体的かつ積極的な授業態度が必要不可欠です。全15回のそれぞれの目標を達成するために、毎回の授業に、是非意欲的に取り組んで下さい。

2. 内容・目標

- 第1回 無人島での生活を想像する。
- 第2回 自分を知る(1) 今の自分について考えてみよう。
- 第3回 大学を知る(1) 大阪電気通信大学を知ろう(学内ツアー)。
- 第4回 自分を知る(2) これからの自分についてキーワードをもとにして考えよう。
- 第5回 自分を知る(3) 自分のことをアピールしよう。
- 第6回 自分を知る(4) 自分を取り巻く社会について調べよう。
- 第7回 大学を知る(2-1) 大学について調べたことを発表しよう。
- 第8回 大学を知る(2-2) 大学について調べたことを発表しよう。
- 第9回 自分を知る(5) 生涯をかけて大切にしたいこと(価値観)を知ろう。
- 第10回 社会を知る(1) (働くことの意味とは)
- 第11回 社会を知る(2) (労働状況の変化) 正規雇用/非正規雇用
- 第12回 企業の方から学ぶ(1)
- 第13回 企業の方から学ぶ(2)
- 第14回 企業の方から学ぶ(3)
- 第15回 「将来したい仕事」を決めてから、遡って「今すべきこと」を考える。

目標

- (1) 自己の強み、弱みを知っており、将来に対する基本的な考え方を持っている。
- (2) 大学の種々の組織とその活用法を理解している。
- (3) 社会で活躍するためには、専門的知識と技能を習得することが必要であることを理解している。

第1回 無人島での生活を想像する。

キャリア入門の第一回では、グループディスカッションに慣れてもらうために、それぞれの人生観を確認する禅問答、「無人島問題」を議論してみましょう。

1. 「あなたが一人で無人島に行く時、何か一つ持っていけるとしたら何を持って行きますか?」。じっくり考えて下の空欄にその一つを書き、なぜそれを選んだのかを記して下さい。

2. グループでそれぞれの意見を発表しましょう。

まずはグループの誰が何を、どのような理由で持って行くと言ったかについて下の空欄にメモし、次にその人が重視しているのは何なのかを互いに議論して下さい。議論した内容についても記して下さい。

3. 「無人島問題」を話し合っただけで気づかされたことなど、何でも結構ですから今日経験したことについて書いて下さい。またグループディスカッションには慣れが必要ですが、意見を出し合うことの意義について、何か発見があれば記しておきましょう。

第2回 自分を知る(1) 今の自分について考えてみよう。

1. あなたはどのような目的のために、大阪電気通信大学に入学したのですか？



2. あなたが大学の4年間に挑戦してみたいことは何ですか？



3. あなたの将来の夢は何ですか？



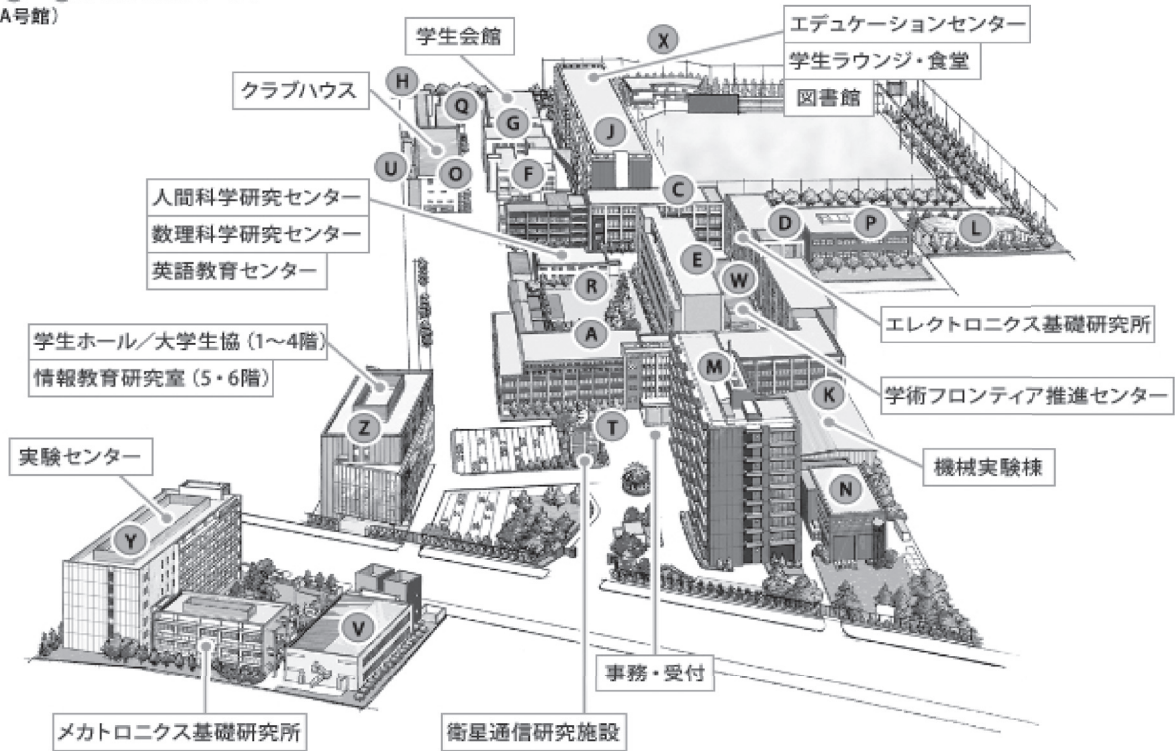
第3回 大学を知る(1) 大阪電気通信大学を知ろう(学内ツアー)。

大学には皆さんが専門的知識に関心を持ち、また学びを深めることのできる機会が豊富に用意されています。グループ単位で寝屋川キャンパスを歩き、どこにどのような資源があるのか、実際に調べてみましょう。

第7回・第8回に調べてきたことを発表してもらいます。

☆寝屋川キャンパスマップ

図中のA～Zは号館を表しています
(A→A号館)



1. 図書館、学生部、教務部、就職部、自由工房、コラボカフェ、学生相談室、ラーニングcommons、資格学習支援センターに関する情報をメモしておきましょう。

.....

.....

.....

.....

2. 関心を持ったことについてメモしておきましょう。

.....

.....

.....

.....

第4回 自分を知る(2) これからの自分について考えてみよう。

大阪電気通信大学在学中にやりたいことを、キーワードを参考にして、具体的に書いてみましょう。

(キーワード)

社会貢献 留学 ものづくり体験 生協活動 旅行 ゲームをつくる
自動車免許取得 実験を楽しむ 企業研究 図書館を活用する
自治会活動 やりがい探し 技術に触れる 電子回路制作 教育実習
アルバイト 恋人探し クラブ活動 他大学との交流 パソコン技術の習得
友達づくり ボランティア活動

<大学4年間でやりたいこと>

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6

1. 優先順位をつけて、簡単な文章にまとめて下さい。

2. 他の学生から聞いた話のなかで、共感したことや面白いと思ったことを書いておきましょう。

3. 話し合ったことも考え合わせ、学年別に今後の計画を立てて下さい。

第5回 自分を知る(3) 自分をアピールしよう。

自分をアピールすることは、あなたがこれから社会生活を送る上で極めて重要です。親しい友人や担任の先生のような、あなたの長所をみつけてくれる人はごく僅かです。むしろ知らない人に対して、積極的に自分の長所をアピールしていくことによって、新たなチャンスが生まれるのです。また自分の得意なことを考えていくなかで、やりたいことが新たに見つかることも珍しくありません。

1. 以下のキーワードを参考にして、自分の特徴をあらわす言葉を書き出していきましょう。

(キーワード)

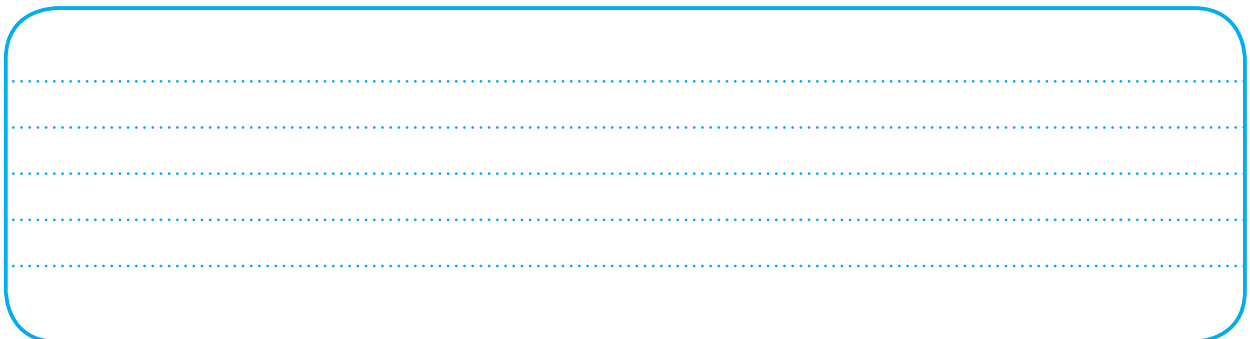
チャレンジ精神 正義感 リーダーシップ (指導力) 思いやりがある
親切 誠実 責任感 優柔不断 気が多い 会話力 想像力
プレゼンテーション力 没頭する まじめ 根気 集中力 協調性



2. それらのキーワードを選んだのはなぜかを考えよう。
あなたがこれまでに熱中したことややりとげたことを、3つ書き出して下さい。



3. 自己アピール文をまとめてみましょう。



第6回 自分を知る(4) 自分を取り巻く社会について調べよう。

私たちを取り巻く社会は、大きく変化し続けています。社会に関心を持ち続けることは、皆さんが大学生活を有意義に送るのみならず、実社会で活躍していく上でも、極めて重要であることはいまでもありません。皆さんは新聞等に目を通す習慣が身についているでしょうか？

まず新聞をひろげ、興味を持つことのできる記事を探して、なぜそこに関心を持ったのか、グループで発表してみましょう。次に意見を交換して、問題意識を深めましょう。最後に自分の意見をしっかりとまとめて下さい。

1. 予習：あなたが関心を持った新聞記事について、あなた自身の考えを交えて、自分の言葉でその概略を以下にまとめましょう。

.....

.....

.....

2. グループの人の意見についてメモしましょう。

.....

.....

.....

3. 議論を通して深めた考察を、書き記しましょう。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....


.....

.....

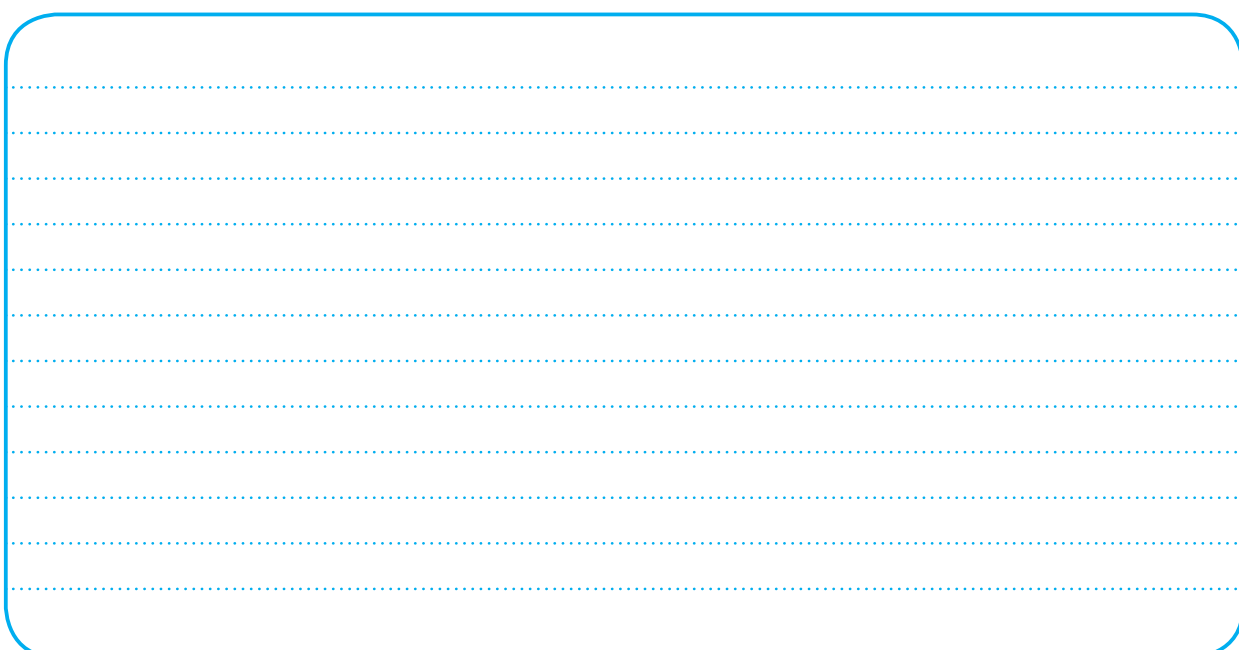
第7回、第8回 大学を知る(2) 大学について調べたことを発表しよう。

大学には皆さんが学びを深めるために、さまざまなチャンスが用意されています。しかし自分から積極的に利用しようとしなければ、そのチャンスを生かすことはできません。つまり、あなた次第なのです。コラボカフェ、ラーニングcommons、自由工房、学生相談室、資格学習支援センター等、後でそれぞれが調べてきた情報を持ち寄り、共有することが大切です。そのために、調べてきたことを発表しましょう。

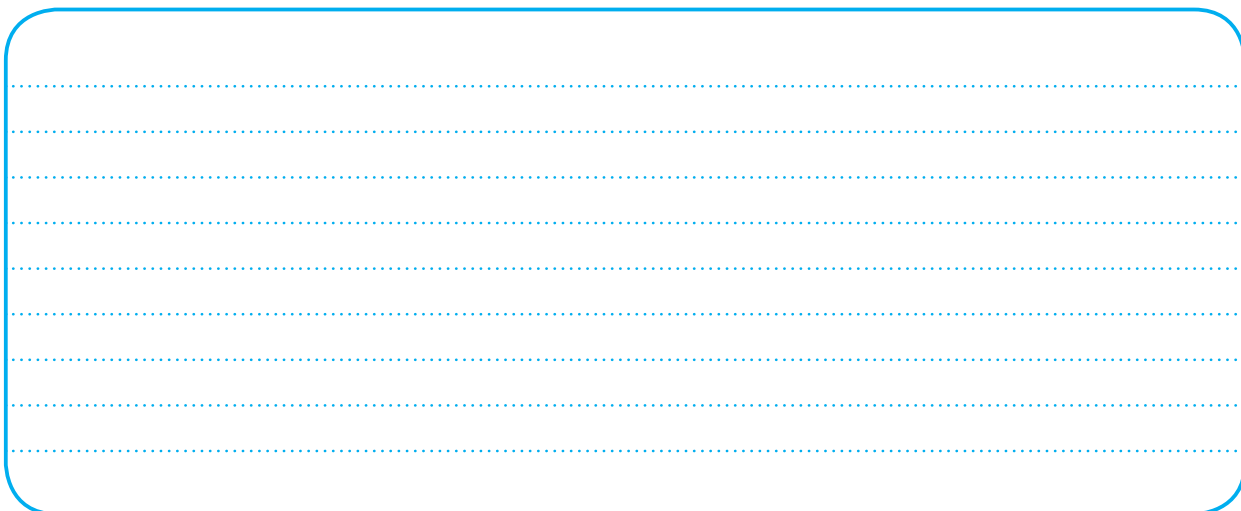
1. 予習：発表するための構成をまず考えましょう。他人にわかりやすく伝えるためには、起承転結を意識して、筋道をつける必要があります。話の流れを考えて下さい。



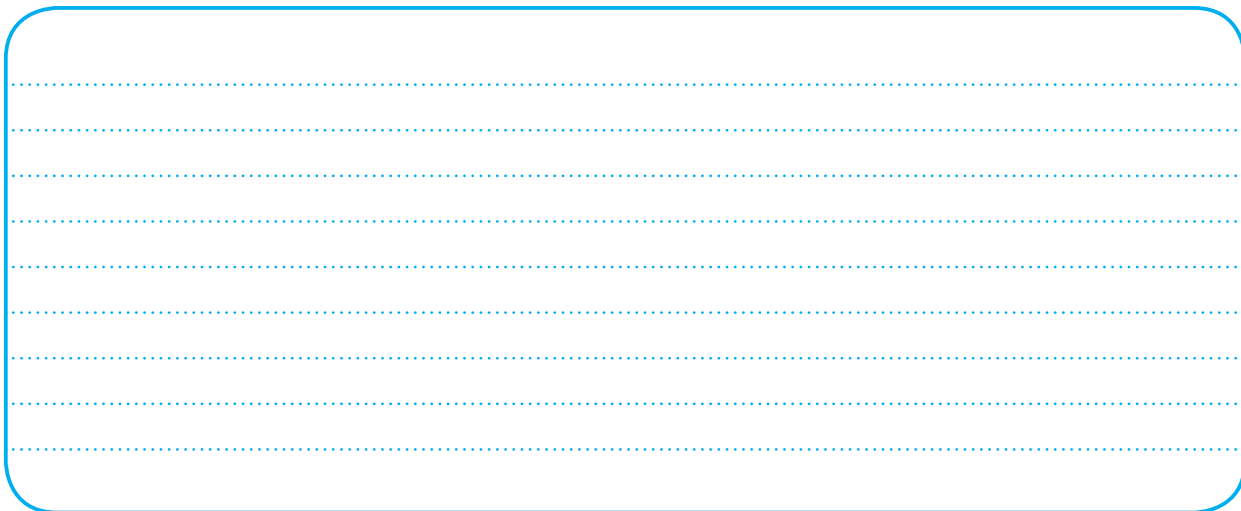
- 2-1. 他のグループによる発表から何が分かりましたか？キーワードを書いておきましょう。そして積極的に質問しましょう。



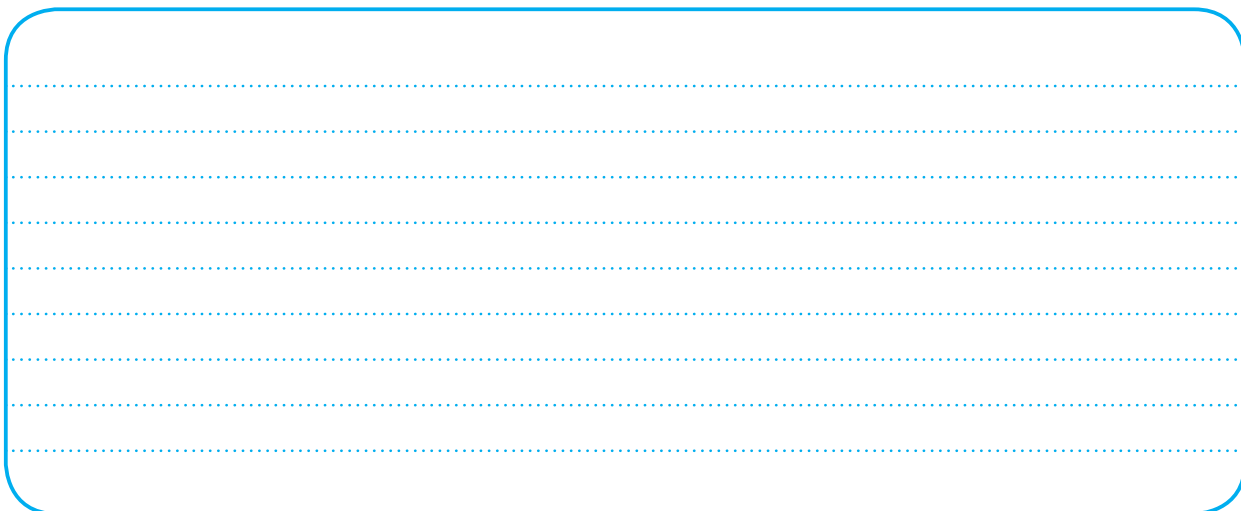
2-2. 他のグループによる発表から何が分かりました？キーワードを書きしておきましょう。そして積極的に質問しましょう。



2-3. 他のグループによる発表から何が分かりましたか？キーワードを書きしておきましょう。そして積極的に質問しましょう。



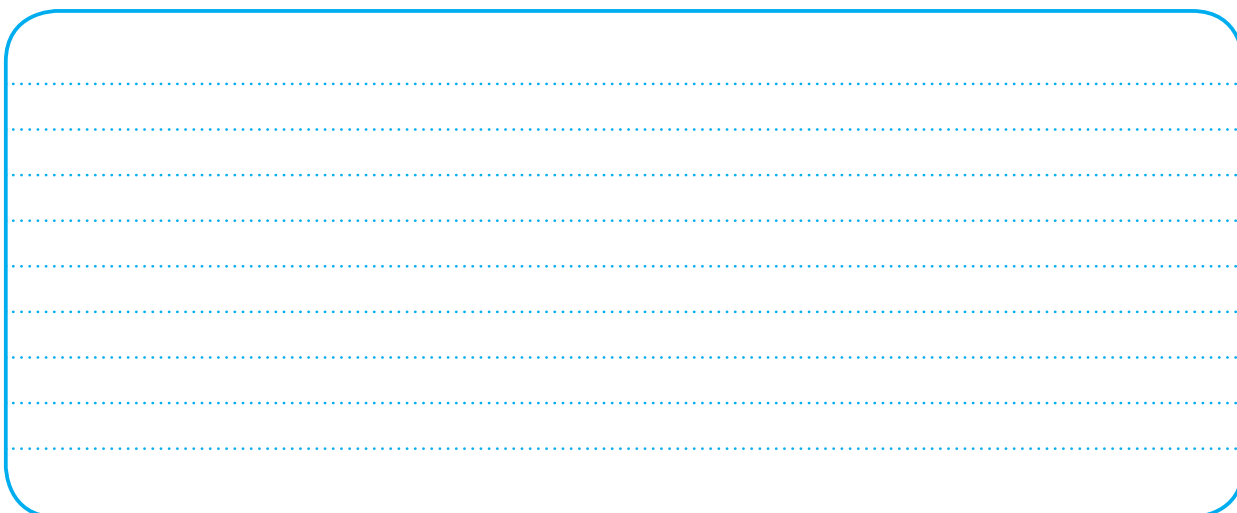
2-4. 他のグループによる発表から何が分かりました？キーワードを書きしておきましょう。そして積極的に質問しましょう。



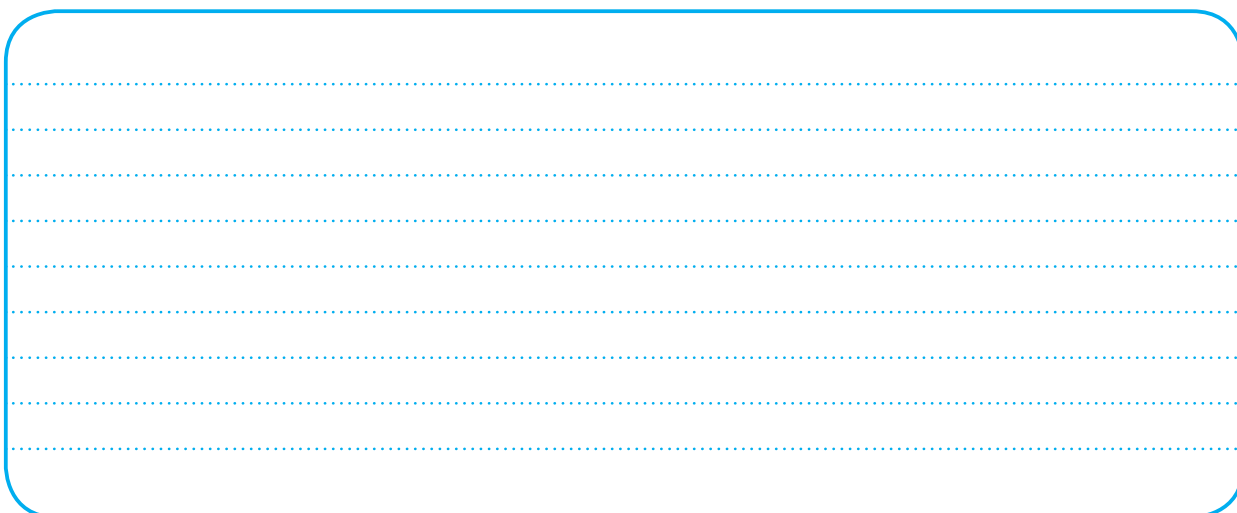
2-5. 他のグループによる発表から何が分かりました？キーワードを書きしておきましょう。そして積極的に質問しましょう。



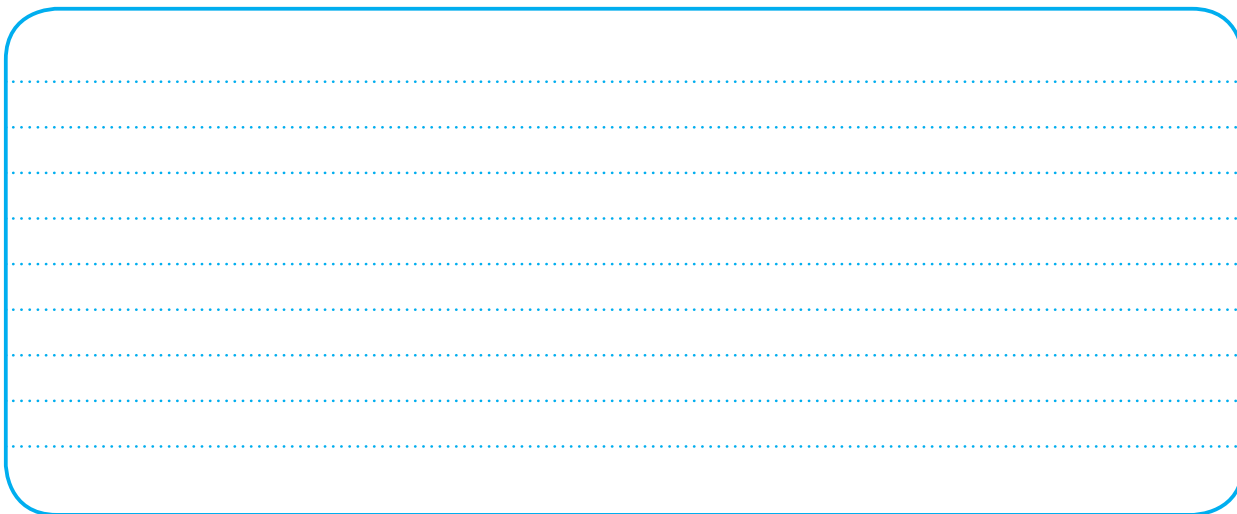
2-6. 他のグループによる発表から何が分かりました？キーワードを残しておきましょう。そして積極的に質問しましょう。




2-7. 他のグループによる発表から何が分かりましたか？キーワードを書きしておきましょう。そして積極的に質問しましょう。



2-8. 他のグループによる発表から何が分かりましたか？キーワードを書きおきましょう。そして積極的に質問しましょう。



3. 宿題：自由工房など、いずれかに実際に足を運んでみましょう。行った日と感想をメモしておきましょう。



第9回 自分を知る(5) 生涯をかけて大切にしたいこと(価値観)を知ろう。

これまで何度かあなた自身のことについて考えてきましたね。ここではもっと深く、あなたの価値観を探求してみましょう。価値観とはあなた自身の言動の核になっているところです。あなたの価値観に気付けば、今後の目標を立てる上で必ず役立つはずです。

1. 過去にあなたが行ったことで、
 - (a) 人に自慢できること、
 - (b) 人の役に立ったこと、
 - (c) 人に褒められたことをそれぞれ3つ以上書いてみましょう。

(a) 人に自慢できること (3つ以上)

(b) 人の役に立ったこと (3つ以上)

(c) 人に褒められたこと (3つ以上)

2. 先に書いたいくつかのことについて、なぜあなたはそのような行動をしたのか、理由を説明してみましょう。

3. 自分が生涯をかけて大切にしたいことを文章で表して下さい。

第10回 社会を知る(1) 働くことの意義とは

－視聴覚教材使用（NHKプロジェクトX ローターリー 47士の闘い）

1. 社会の現場で働く人々の姿から、働くことの意義について考えてみましょう。今日の授業では、技術者の仕事を上げます。

200年もの間「夢のエンジン」といわれながらも、実用化に至らなかったロータリーエンジンの量産化に世界で初めて成功したのは、マツダ（当時・東洋工業）の設計部エース・山本健一氏と、彼が率いたチームでした。DVDで再現された彼らの努力の軌跡を観て、関心を持ったこと、印象に残ったことを下の欄に記して下さい。

2. 「ロータリー 47士」は、幾つもの大きな困難に直面しても、挑戦続けました。ではなぜ、諦めなかったのでしょうか。メモをとりながら、グループ単位で話し合ってみましょう。

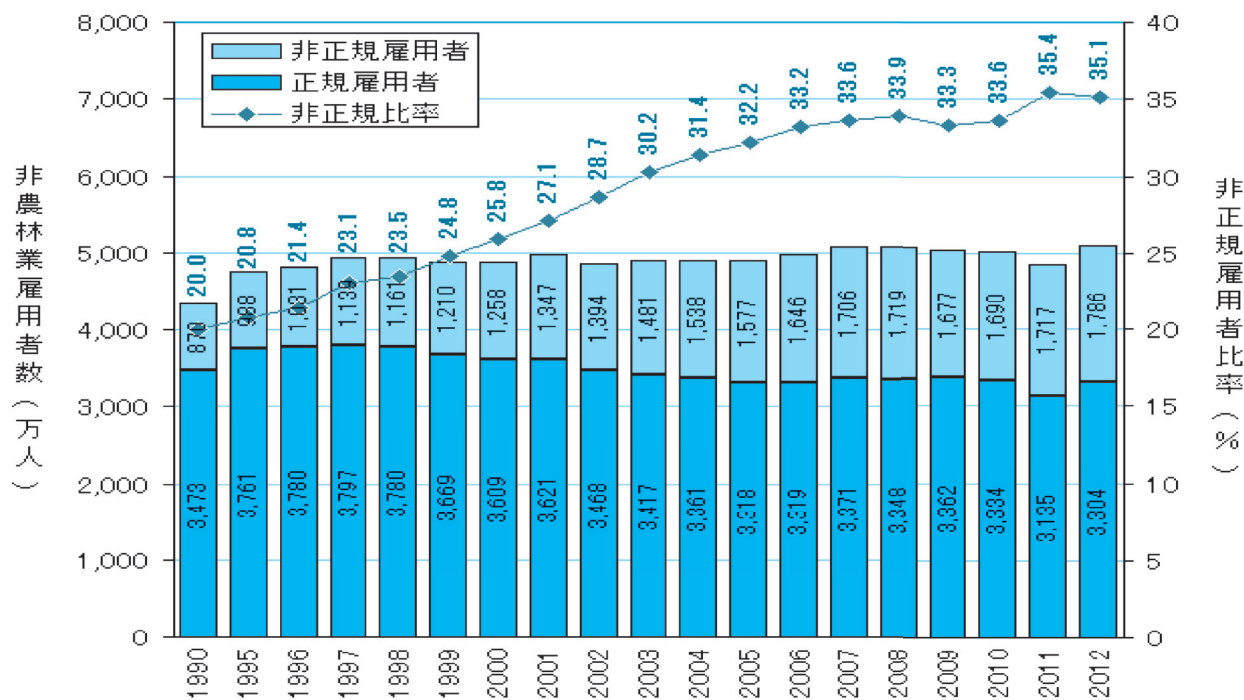
3. DVDでは、原爆投下直後の社会的・歴史的背景にも、光をあてています。この戦後日本の背景をも視野に入れつつ、あなたはこの授業を通して学んだことを下の欄にまとめて下さい。

第11回 社会を知る(2) (労働状況の変化) 正規雇用／非正規雇用

労働者の雇用形態は、大きく分けて正規雇用と非正規雇用に分類されます。正規雇用者は1997年までは増加していましたが、それ以降2006年まで減少し、2007年以降はほぼ横ばいとなっています。これに対して非正規雇用者は今日までほぼ一貫して増加しました。

その結果、非正規雇用者比率は1990年の20.0%から2011年の35.4%へと大きく上昇し、いまや3人に1人以上が非正規雇用者となっています。

正規雇用者と非正規雇用者の推移



(注) 非農林業雇用者(役員を除く)が対象。1～3月平均(2001年以前は2月)。非正規雇用者にはパート・アルバイトの他、派遣社員、契約社員、嘱託などが含まれる。2011年は岩手・宮城・福島を除く。

(資料) 労働力調査

◎非正規雇用の特徴は、次のような点が挙げられます。

- 正規雇用に対し、時間給も総収入も低く、仮にフルタイムで正社員並みに働いたとしても生活保護水準にも満たない収入しか得られない場合が多い。昇給や昇進の機会もほとんどない(ワーキングプア、最低賃金制度)。
- 正社員に比べて解雇や契約の打ち切りが容易で、企業側にとっていつでも取り替え可能で、かつ、必要な時にだけ雇用できる安い労働力として利用される傾向が強い。したがって、働く者にとっては常に仕事を失うリスクがあり、失業と離転職を繰り返す不安定な働き方を余儀なくされる場合が多い(日雇い派遣、派遣切り、フリーター、ネットカフェ難民、ニート)。
- 仕事内容が単純でルーティーンなものが多く、また訓練や研修など技能・技術の習得の機会が乏しい。そのため技能・技術が蓄積・向上しないため、後の正社員や安定した仕事への移行がきわめて困難になる。

- d. 健康保険や雇用保険、年金保険などが適用されない場合が多く、病気や解雇、老後など、いざという時に社会保障が利用できない。また、家族手当などの基本給以外の諸手当、有給休暇、社員寮や住宅融資など、正社員には利用可能な福利厚生が利用できない場合がほとんどである。

1. 予習：以下のことばの意味を調べてみましょう。(宿題)

ことば	意 味
ワーキングプア	
最低賃金制度	
日雇い派遣	
派遣切り	
フリーター	
ネットカフェ難民	
ニート	

2. 非正規雇用者が増えているのはなぜでしょうか。グループで意見を出し合い、グループとしての意見をまとめましょう。

.....

.....

.....

.....

3. グループ発表を通して、共感できること／できないことをメモして下さい。

.....

.....

.....

.....

第 12 / 13 / 14 回 企業の方から学ぶ(1)(2)(3)

様々な企業の現場で活躍されておられる方から、仕事のことや社会のことについて学びましょう。そして将来皆さんがどのような道を選ぶのか、そのためには大学生活で、どのような専門的能力を身につけておくことが必要なのか考えて下さい。具体的な自分の将来を描く契機として、この機会を活かしてもらうことを目的としています。

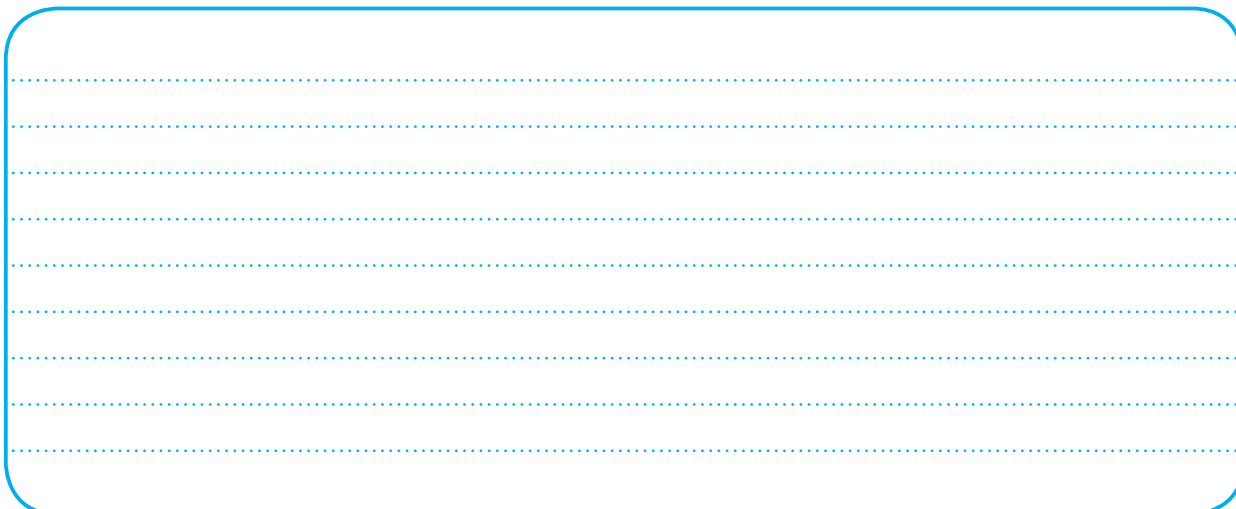
ただ受動的に話を聞いているだけでは、不十分です。積極的に質問する習慣を身につけましょう。今日は、必ず一つは質問するつもりで、メモを取りましょう。

1-1. 講師のお名前と所属

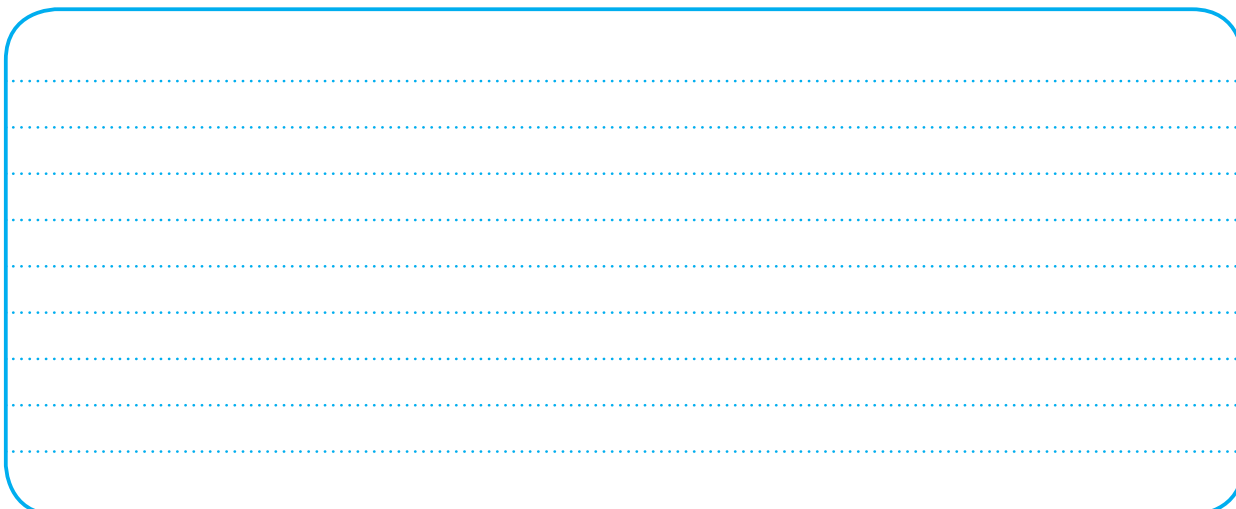


1-2. メモ


理解したこと／わからなかったこと



1-3. 質問したいこと



2-1. 講師のお名前と所属

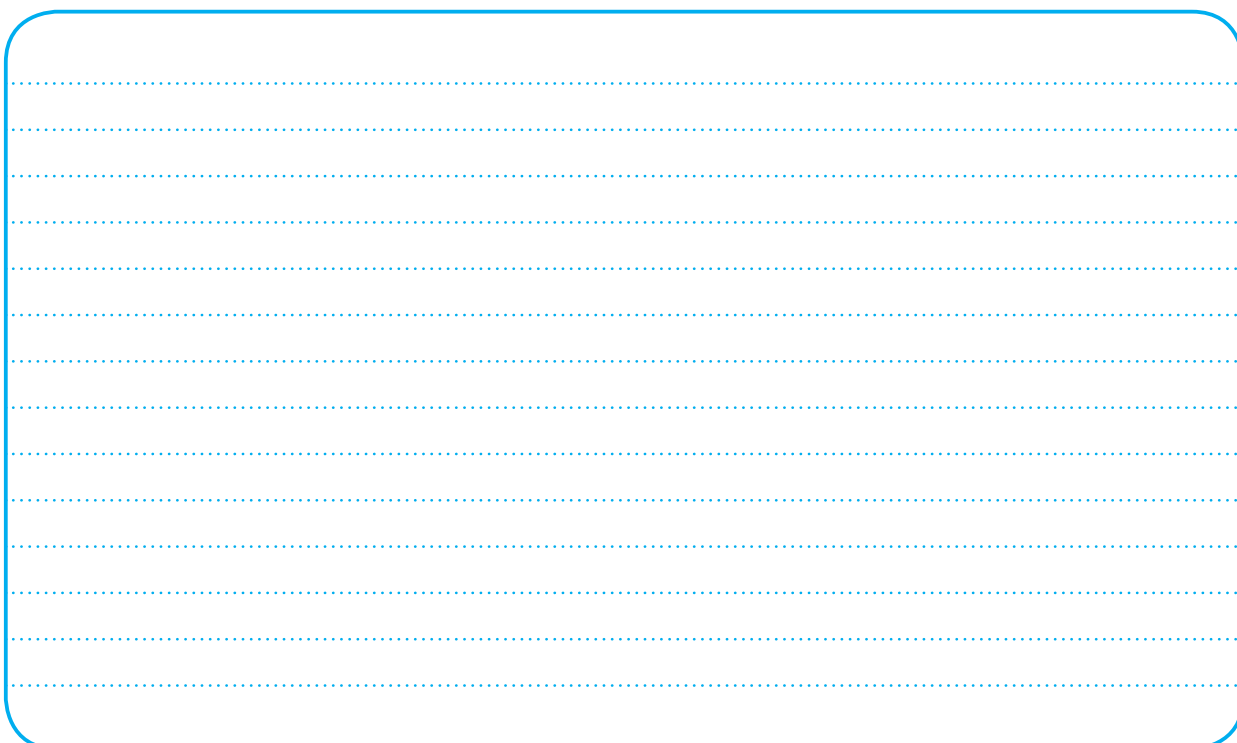


2-2. メモ

理解したこと／わからなかったこと



2-3. 質問したいこと



3-1. 講師のお名前と所属

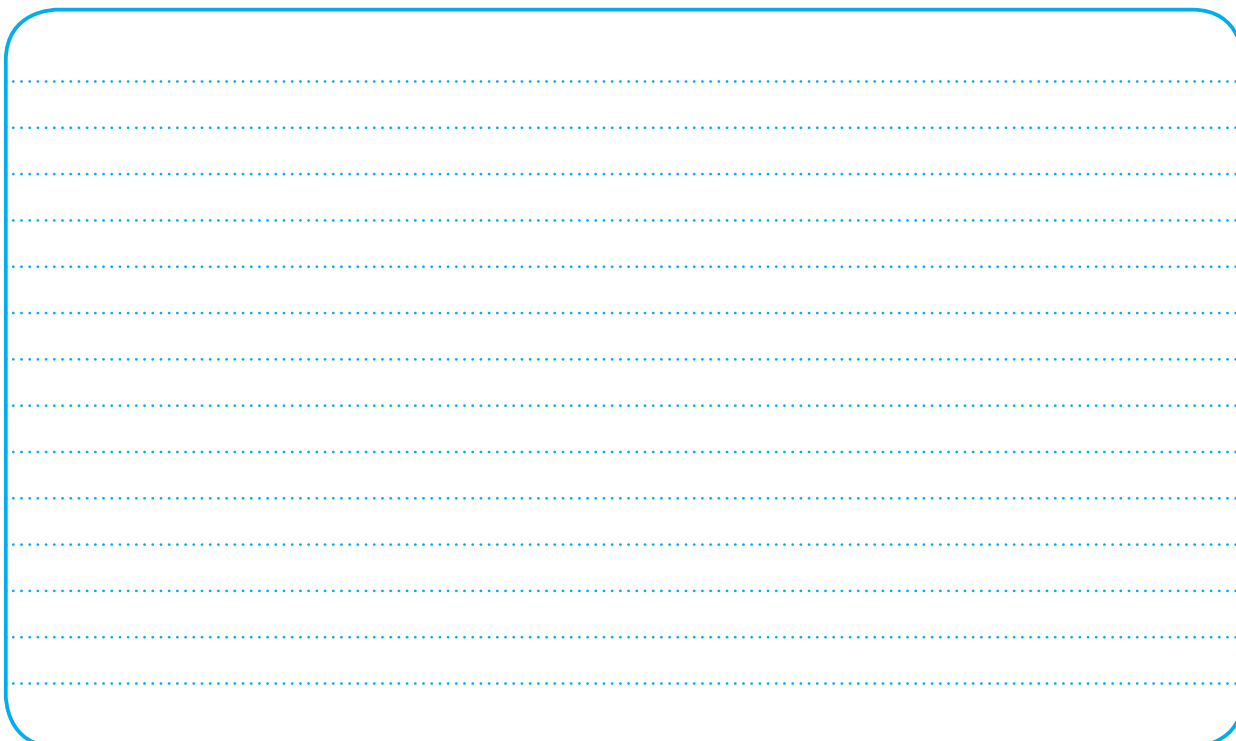


3-2. メモ

理解したこと／わからなかったこと



3-3. 質問したいこと



第 15 回 「将来したい仕事」を決めてから、遡って「今すべきこと」を考える。

将来どんな仕事をしたいですか？（経営者、研究者、技術者、教育者、起業家等）

活かしたい長所は？

	目 標	目標達成に必要な事（資格・経験など）
□ 年後		
□ 年後		
1 年後		

今すべきこと



12. キャリア概論

2年次前期

12. キャリア概論

1. 目的

本大学のキャリア教育の目的は、本学の理念である「実学」の力をつけることにあります。

- ①「手が動かせる＝（主体的に課題に向かう）」
- ②「絵が描ける＝（文章や絵、図を使い、頭の中にあることを表現する）」
- ③「コミュニケーションができる＝（協働して学ぶ態度を身につける）」

「キャリア概論」ではこれら三原則の基礎を身につけるため、五人程度からなるグループでのワークを通し、教員が与える課題について、どのようにしたらその課題を解くことができるのか、問題解決のための様々な手段、方法を試行錯誤しながら、考え、調べ、話し合い、計画を立て、行動し、さらに結果を発表・活用することに挑戦します。そしてそれまでの授業で得た力を発揮し、自己アピールの練習も行い、その課題を明らかにしてゆきます。

2. 内容・目標

- 第1回 1年次生の中に頑張ったことを振り返り、2年次生の中にやりたいことを考えよう。
- 第2回 大学のホームページから自己の所属する学科について調べる。
(宿題：先輩や先生から学科の「強み」をインタビュー調査しよう)
- 第3回 労働者の権利と義務について学ぶ。
- 第4回 所属する学科について、グループで発表する①。
- 第5回 所属する学科について、グループで発表する②。
- 第6回 4年次生の先輩から、「キャリア戦略」を学ぶ。
- 第7回 「社会人基礎力」について調べる。
- 第8回 「社会人基礎力」について、グループで発表し、自己の課題についてまとめる①。
- 第9回 「社会人基礎力」について、グループで発表し、自己の課題についてまとめる②。
- 第10回 「グローバル人材」について学ぶ。
- 第11回 就職部からのガイダンス
- 第12回 「エントリーシート」の「強み」についての文章を書く。
- 第13回 前回の授業をもとにして、自己を売り込むプレゼンテーションをする。
- 第14回 自己のライフキャリアを描き、これからの大学生活における課題をまとめ、優先順位をつける。
- 第15回 【キャリア概論】は自分にどのように役立ったかについての批判的検討および発表をする。

目標

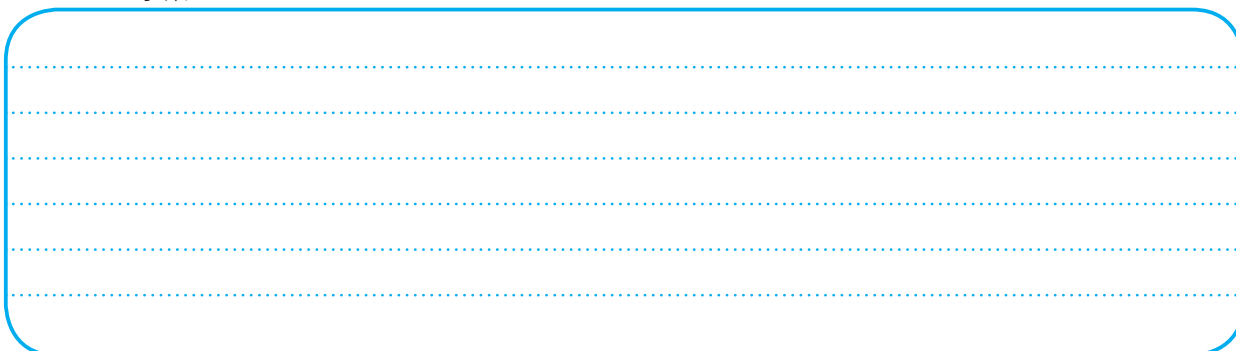
仕事の世界をより詳しく知り、自分のライフキャリアとのマッチングを図る。

第1回 1年次生の中に頑張ったことを振り返り、2年次生の中にやりたいことを考えよう。

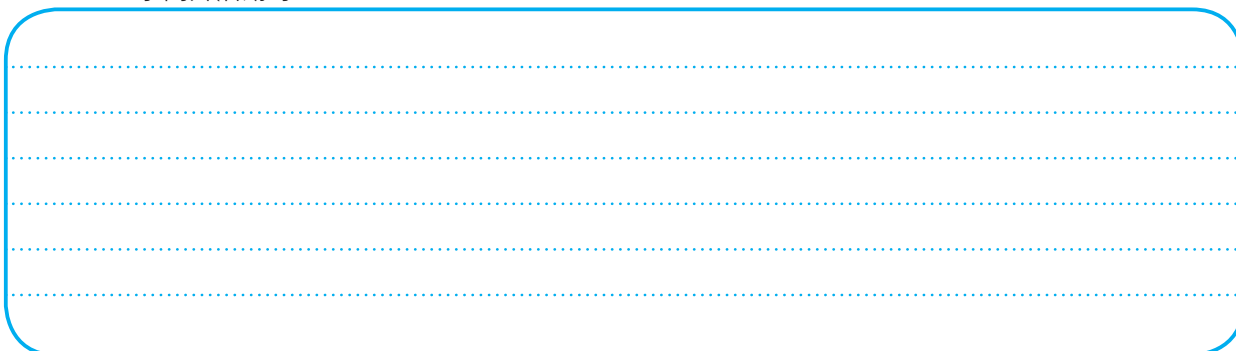
「キャリア概論」の授業を受けるにあたって、次のことを考えて下さい。

1. 1年次生の中に努力したこと

1-1. 学業

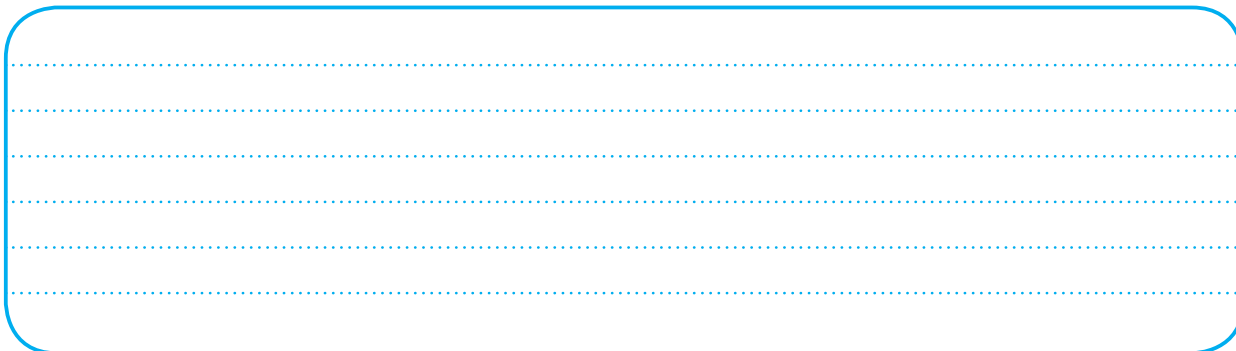


1-2. 学内外活動等

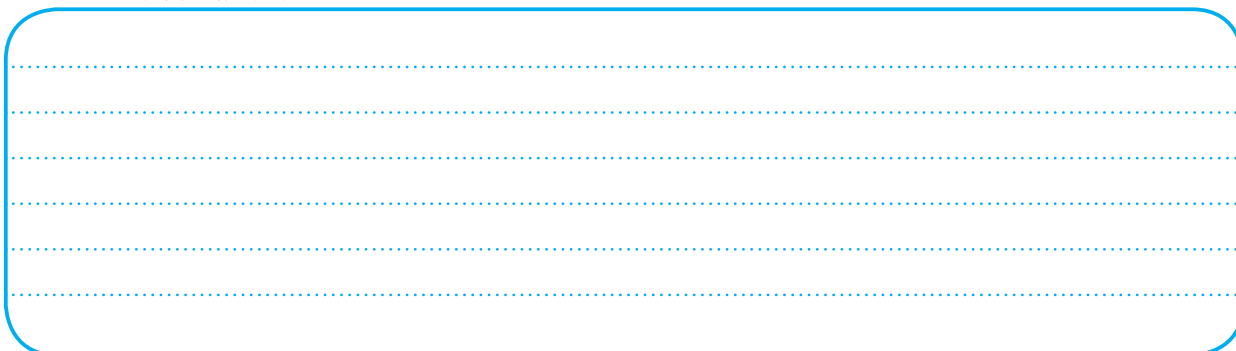


2. 2年次生の中にやりたいこと

2-1. 学業



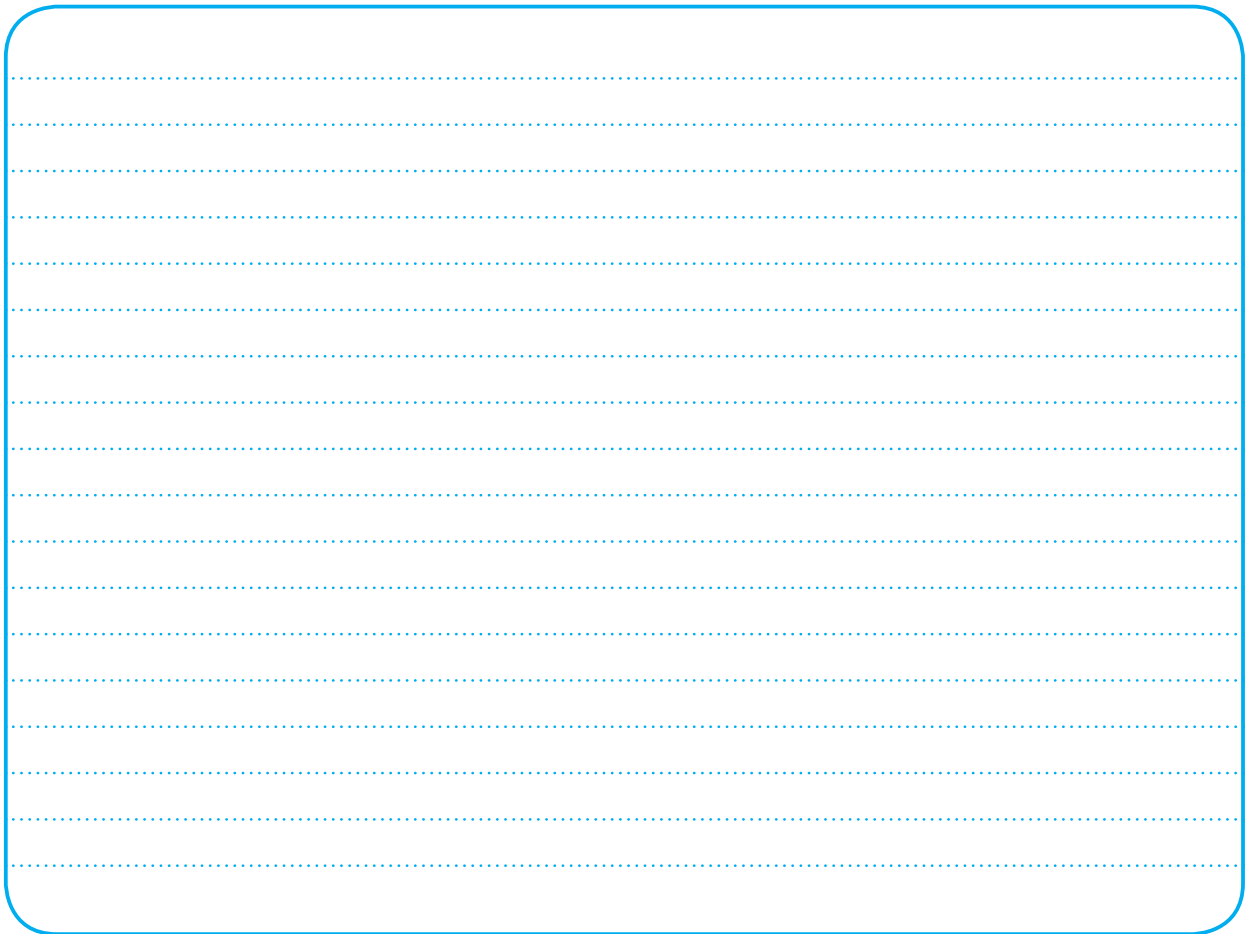
2-2. 学内外活動等



3. 1年次生の中に気付いた自分の「強み」



4. 1年次生の中に気付いた自分の「弱み」



第2回 大学のホームページから自己の所属する学科について調べる。

(宿題：先輩や先生から学科の「強み」をインタビュー調査しよう)

大阪電気通信大学では、いずれの学科も「実学」に力を入れている点においては共通ですが、各学科の独立性が高く、それぞれに優れた特徴を備えています。

皆さんがこの大学での学生生活をより有意義なものとするためにも、二年次の初めのうちに、自ら学科について調べ、仲間と協働してより深く調査しておくことは極めて重要です。この機会に先生方や先輩たちからしっかりと直接情報を得て、これからの生活を一層実りあるものとしましょう。

1. あなたは自分の所属する学科について、どの位知っていますか？

できる範囲で説明してみてください。



- 2-1. 大学のホームページを開き、学科に関わることであなたが興味を持った点を、項目別にご記入ください。

(項目例)「学びのポイント」、「資格」、「先輩たちの声」、「専門性」、「将来性」、「先生が開設されているホームページ」等



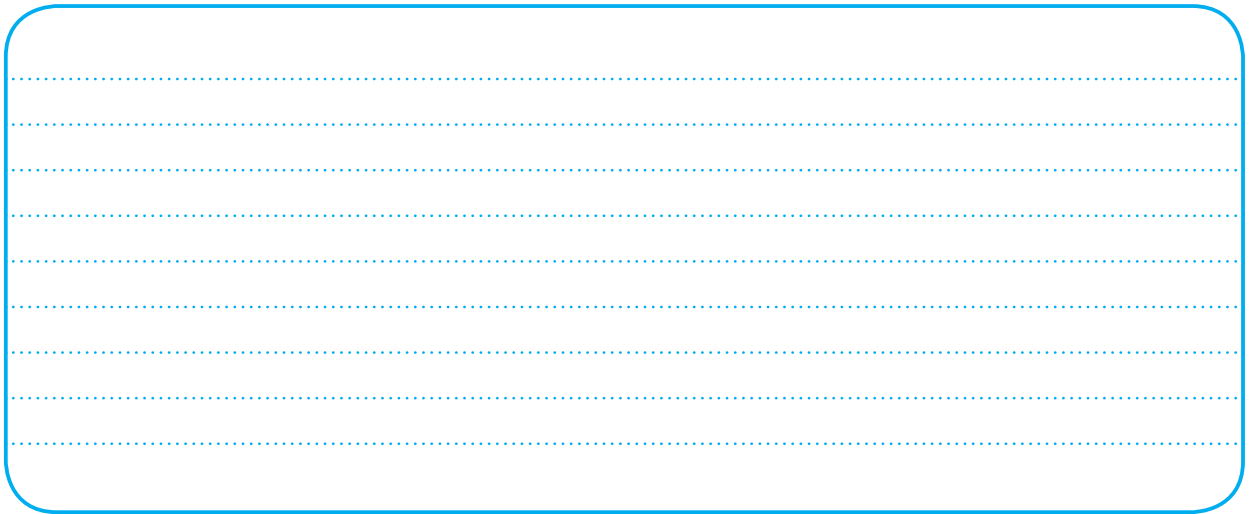
2-2. もっと知りたいことを、項目別にまとめてみましょう。



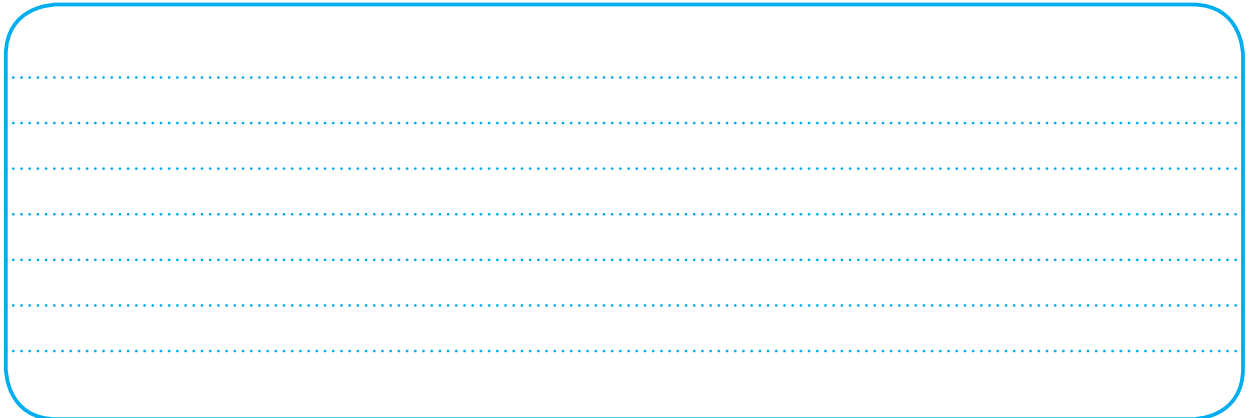
3. インタビュー調査の調査項目をグループで話し合う。

いつ、誰に、誰が、何について、どのようにインタビューしますか？

インタビューする側とされる側の立場に身を置き、実演してみましょう。



4. 発表（パワーポイント）までの役割分担をする。



第3回 労働者の権利と義務について学ぶ。

1-1. 労働の定義には、何がありますか？



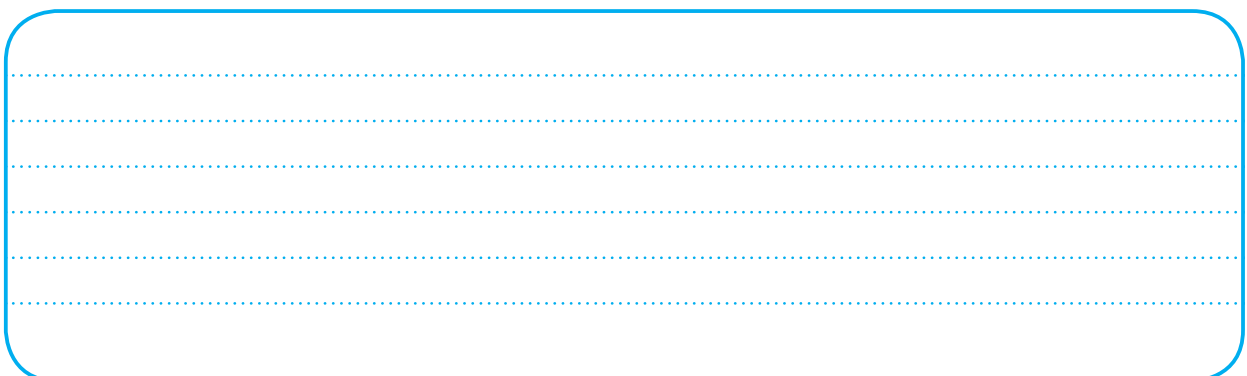
1-2. 労働の定義から、大学生活について何か新しい考え方は生まれましたか。



2. ディーセント・ワークについてまとめ、日本の課題を考えましょう。



3. 労働者の義務とは何でしょうか。



第4回、第5回 所属する学科について、グループ単位で発表する。

宿題で調べ、パワーポイントにまとめた内容を、グループ単位で発表します。15分という決められた時間で聴衆にうまく伝えることは、案外難しいものです。自分たちの発表を面白くする上でどんなことに工夫したのか、また他の発表グループと比較して、もう一度発表する機会があればどこを取り入れるかなど、まとめておきましょう。

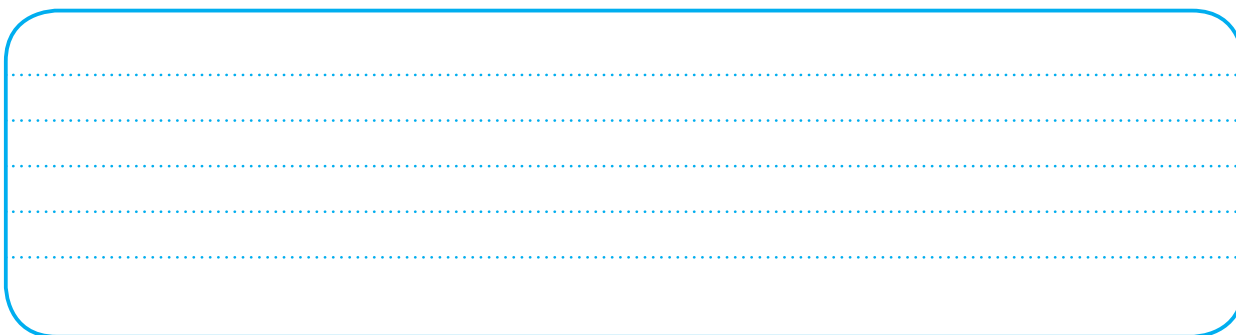
1. プレゼンテーションについて、良かった点と反省すべき点



2. 発表内容について、良かった点と反省すべき点



3. グループワークについて、良かった点と反省すべき点



4. その他




第6回 4年次生の先輩から、「キャリア戦略」を学ぶ。

4年次生の先輩は、たとえ所属する学科が異なるとしても、皆さんにとって最も身近な将来像と言えるでしょう。一足先に大学生活を送ってこられた先輩に、少しでも大学生活を充実したものとするためには、いかなる態度で臨むべきなのかといった心構え、あるいはより具体的な秘訣、例えば卒業論文や就職活動に向け、どのような準備が必要なのか、卒業単位を確実に取得する上で心がけるべきことは何かを直接尋ねてみたいと思いませんか。

まずはメモを取りながら先輩のお話を傾聴しましょう。そしてどのようなことでも構いませんので、必ず一つは質問しましょう。

1-1. 講師のお名前と所属



1-2. メモ

理解したこと／わからなかったこと



1-3. 質問したいこと



第7回 「社会人基礎力」について調べる。

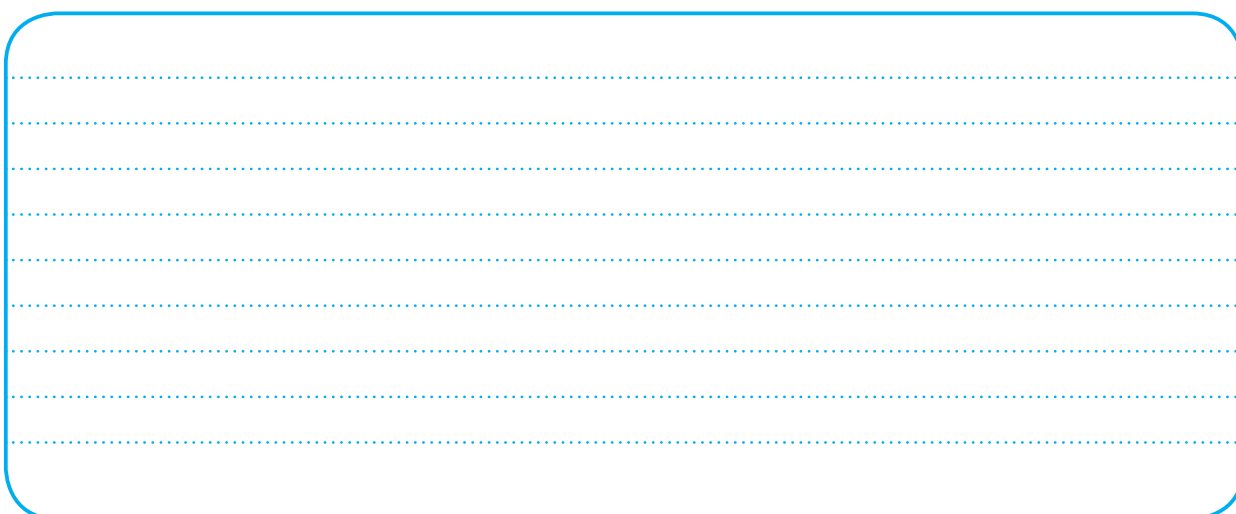
「社会人基礎力」は経済産業省が提唱している概念です。では「社会人基礎力」とは何でしょうか。社会人として通用するために、身につけておかなければならない力ですが、大学生活を有意義にするためにもこの力は必要です。そこでそれぞれが主体的に「社会人基礎力」についてよく理解するためにも、グループで意見をまとめ、パワーポイントで発表しましょう。

1. インターネット他から「社会人基礎力」について調べましょう。

・ 3つの能力、12の能力要素とは



・ なぜこれらの能力が必要だとされるのか。



2. グループで情報を整理し、パワーポイントにまとめましょう。



第8回、第9回 「社会人基礎力」をグループで発表し、自己の課題についてまとめる。

パワーポイントにまとめた内容を、グループ単位で発表します。発表された内容を踏まえ、「社会人基礎力」に照らし、自分の持つ能力を評価してみましょう。

1-1. プレゼンテーションについて、良かった点と反省すべき点



1-2. 発表内容について、良かった点と反省すべき点



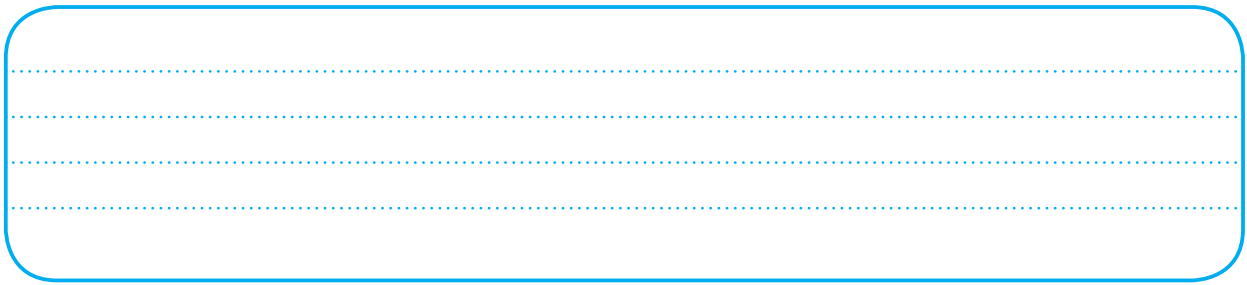
1-3. グループワークについて、良かった点と反省すべき点



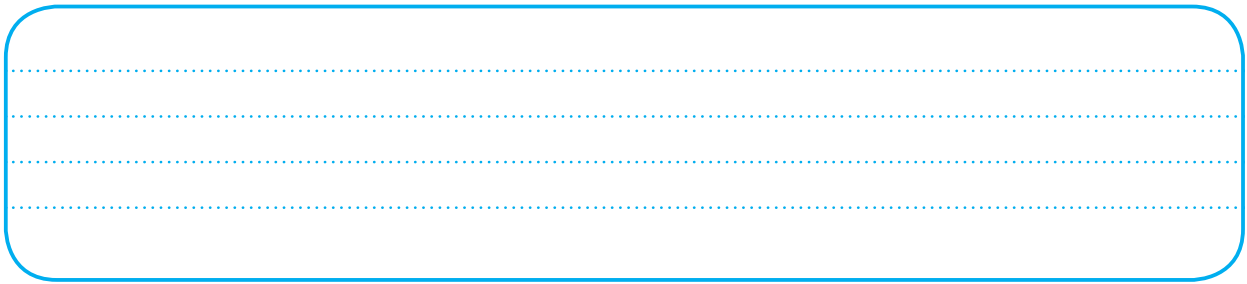
1-4. その他



2-1. プレゼンテーションについて、良かった点と反省すべき点



2-2. 発表内容について、良かった点と反省すべき点



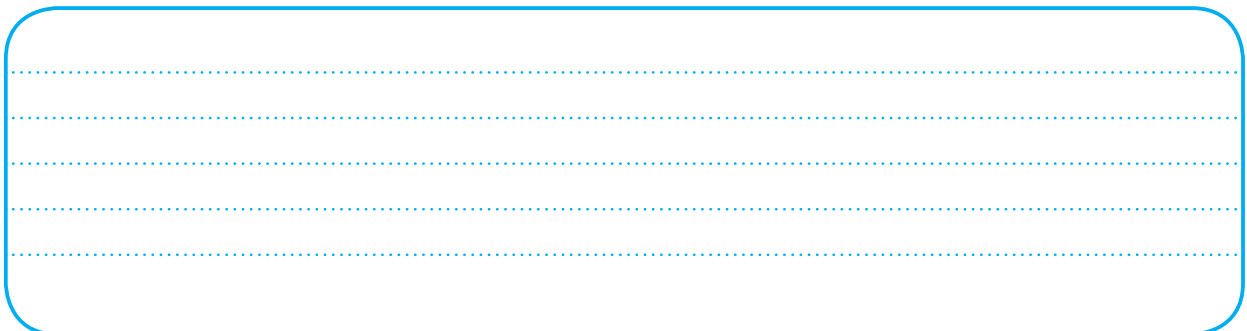
2-3. グループワークについて、良かった点と反省すべき点



2-4. その他



3. 「社会人基礎力」を踏まえ、自分の克服すべき課題が何であるのか、また克服するために、明日からでもすぐに取り組めることをまとめましょう。



第10回 「グローバル人材」について学ぶ。

1. 「グローバル人材」とは何でしょうか。



2. 日本経済を取り巻く環境はどのように変化していますか。



3. 「グローバル人材」のニーズが高まっているのはなぜですか。



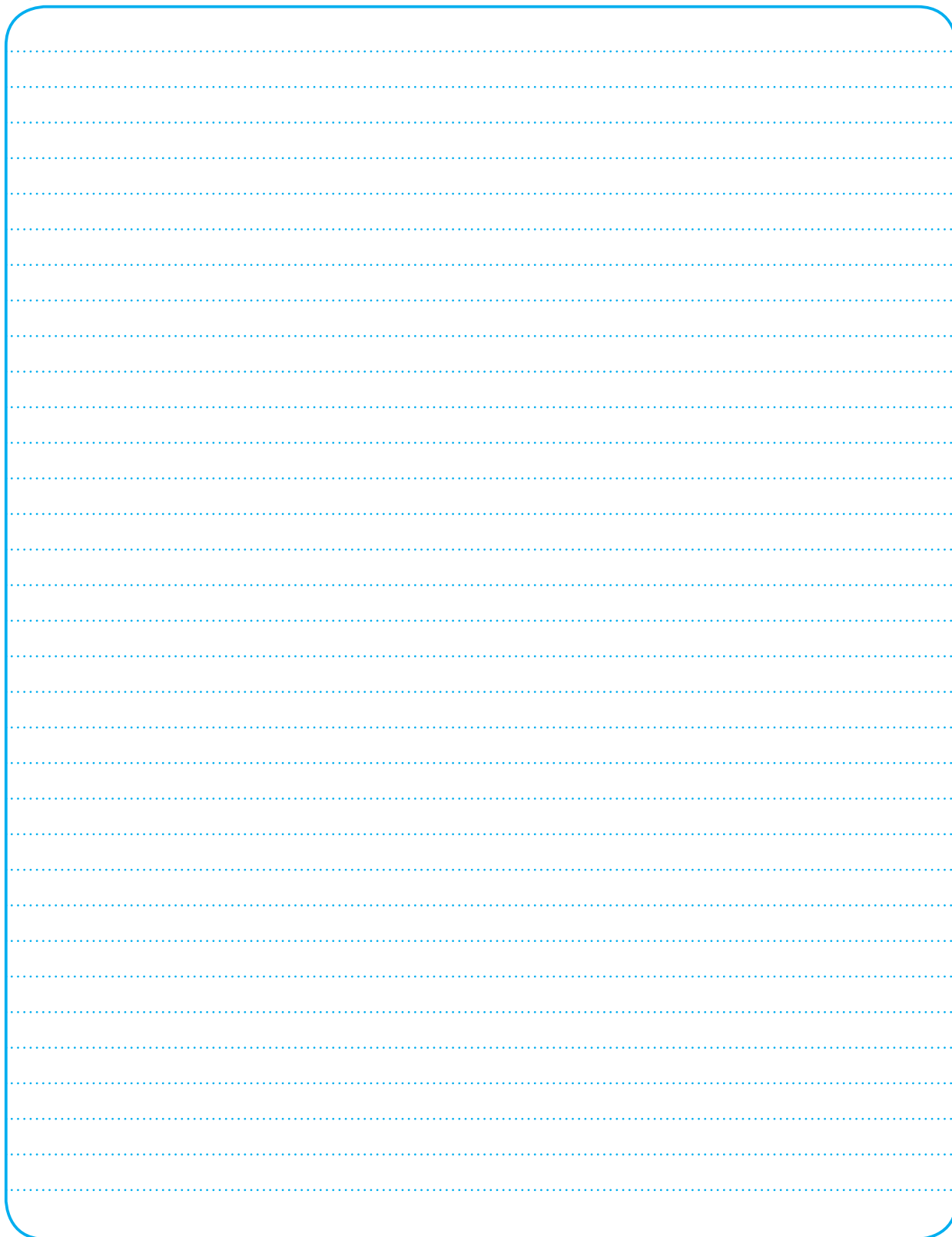
4. 日本における「グローバル人材」育成の現状についてまとめましょう。



第12回 「エントリーシート」の「強み」についての文章を書く。

自分の長所を知り、アピールできることは、就活のみならず様々な場面で役立ちます。例えば指導して頂く先生方に自分を売り込めば、積極的・主体的に学修をすすめることにつながるでしょう。ここでは「エントリーシート」を書くことを想定し、自己アピール文をパソコンで下書きし、ノートに完成させましょう。

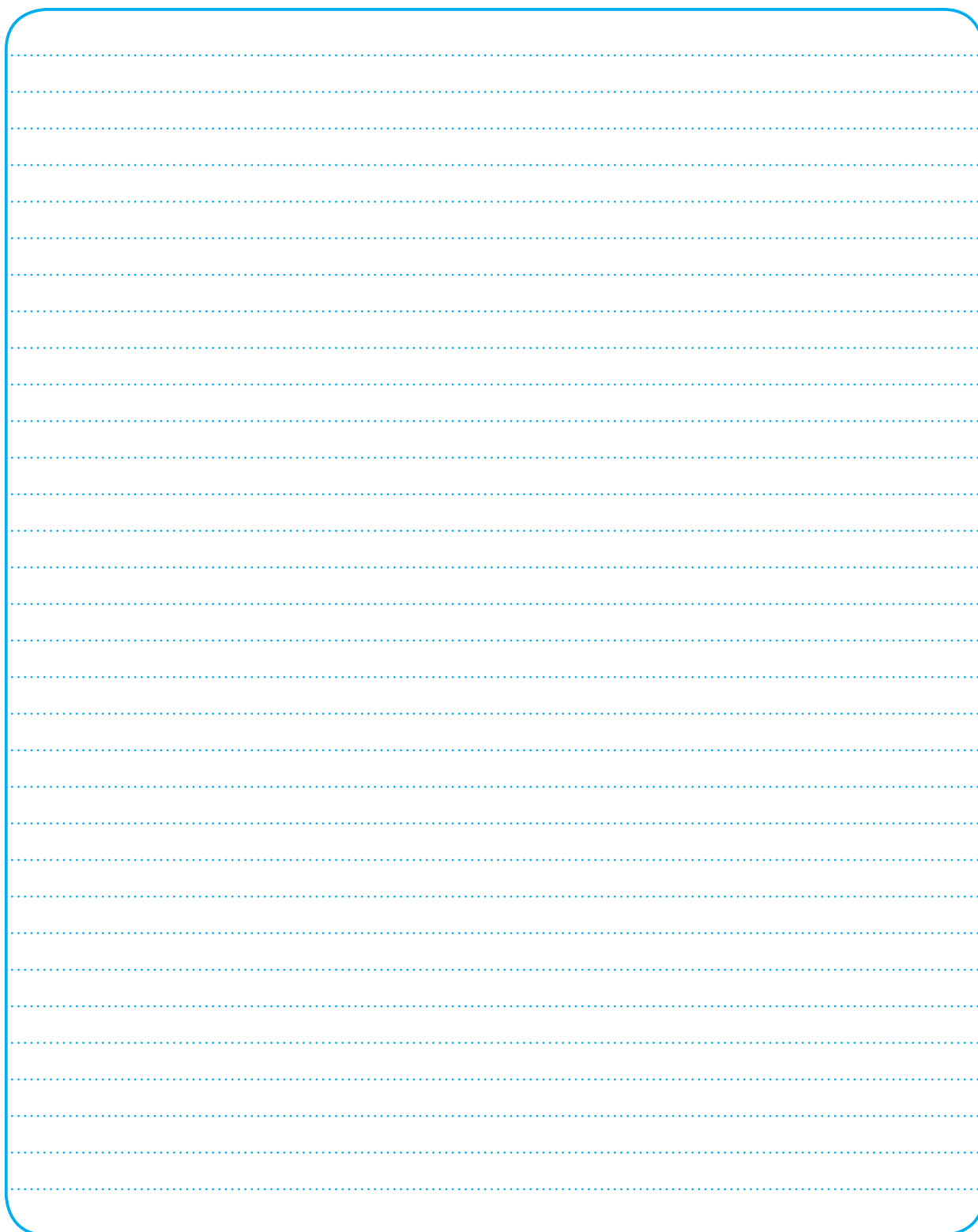
<私の強み>



第13回 前回の授業をもとにして、自己を売り込むプレゼンテーションをする。

重要な点は、「他の誰でもない自分」をアピールすることです。人事部の方々の間ではよく笑い話として語られるのですが、大学での経験を尋ねると同じエピソードが何人からも出てくるそうです。どうも合格者の話を、そのまま自己の経験としてアピールしているようなのです。

第12回で考えた自己アピール文をもとにして、二人一組で互いに自己紹介してみましょう。相手に印象よくアピールできているか、相互にチェックして下さい。



第 14 回 自己のライフキャリアを描き、これからの大学生活における課題をまとめ、優先順位をつける。

将来どんな仕事をしたいですか？（経営者、研究者、技術者、教育者、起業家等）

活かしたい長所は？

	目 標	目標達成に必要な事（資格・経験など）
□ 年後		
□ 年後		
1 年後		

今すべきこと

今

.....

.....

.....

.....

第15回 【キャリア概論】は自分にどのように役立ったかについての批判的検討および発表をする。

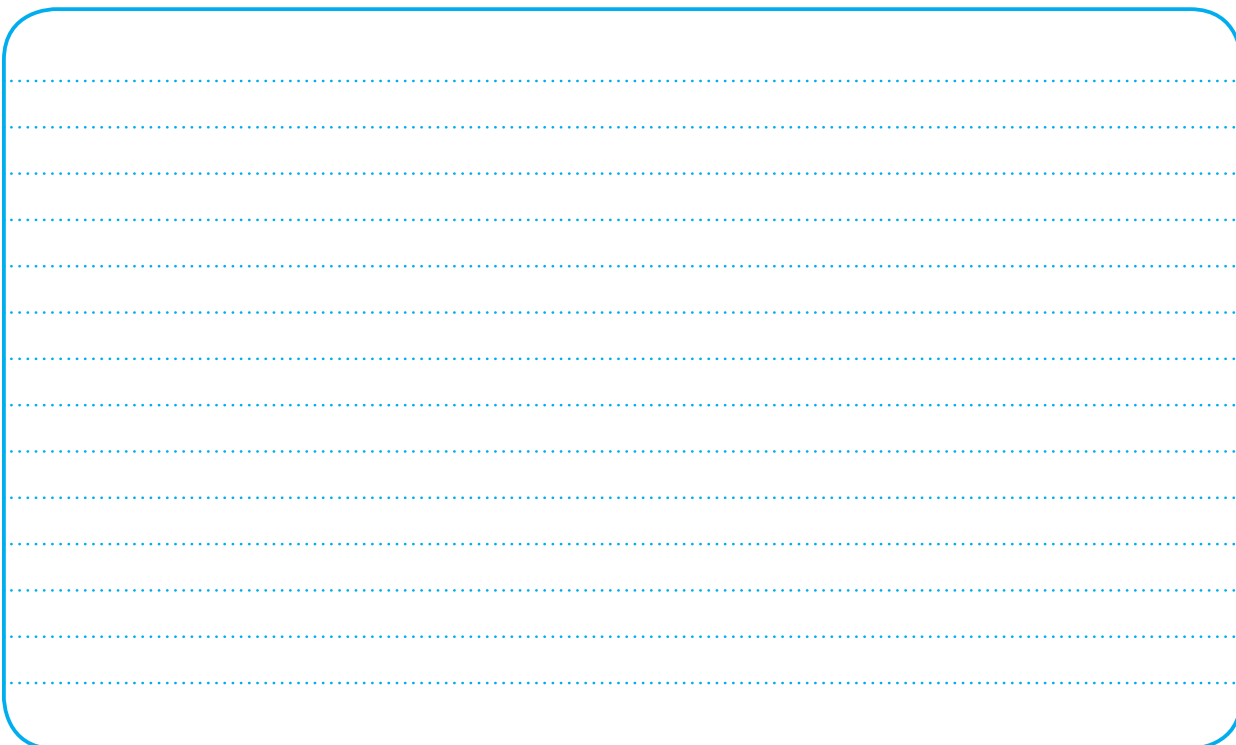
皆さんはこの授業から何を学びましたか？さまざまな自己像、大学像、社会像を描いたことと思います。授業から何を学んだかについては、レポートにまとめましたね。

今日はレポートの内容のうち、自分が特に強調したい点を一分にまとめて話せるように準備をし、実際にスピーチを試みましょう。

1. 話すことを箇条書きにしてまとめましょう。



2. 他の人の意見で参考になったこと、共感できたことをメモしましょう。



13.

キャリアデザイン演習

2年次後期

13. キャリアデザイン演習

1. 目的

「キャリアデザイン演習」の目的は、卒業後の自分の人生をどのように生きていくかをデザインすることによって、卒業時の進路決定の準備をすることにあります。そのためには、自分自身をより深く知り、職業をはじめとして広く社会を知り、卒業後の人生を展望することが重要となります。この講義が、学生諸君にとって自らの人生を考える機会となることを期待します。

2. 内容・目標

- 第1回 オリエンテーション（授業のすすめ方について）
- 第2回 自分自身を知る（1）（自分の良いところ探し）
- 第3回 自分自身を知る（2）（エゴグラム性格検査）
- 第4回 自分自身を知る（3）（職業適性検査と自分の夢）
- 第5回 社会を知る（1）（将来予想）
- 第6回 社会を知る（2）（わが家の家計調査）
- 第7回 社会を知る（3）（暮らしを支える社会の仕組み）
- 第8回 社会を知る（4）（職業の種類と資格）
- 第9回 社会を知る（5）（労働者の権利とブラック企業）
- 第10回 社会を知る（6）（世界を知る－海外青年協力隊経験者の講話）
- 第11回 将来への展望（1）（人生のパートナー）
- 第12回 将来への展望（2）（ライフキャリアレインボー）
- 第13回 将来への展望（3）（ライフキャリアマインドマップー下書き）
- 第14回 将来への展望（4）（ライフキャリアマインドマップー完成）
- 第15回 まとめ

目標

- （1）これまでの自分の人生のライフラインを描き、自分の成長（発達）を確認する。
- （2）自分の適性や夢、社会との関わりを知り、将来の社会における自分の役割を理解する。
- （3）卒業後のキャリアデザインをマインドマップとして描くことができる。
- （4）自分のライフキャリアデザインを文字で表し、意識づけ、次年度のキャリア設計の授業に繋げる。

14. キャリア設計

3年次前期

14. キャリア設計

1. 目的

就職活動に向けた助走期間として、トレーニングを行います。実際にどのような流れで就職活動を行うのか、そのためには「いつまでに」「何を」「どうやって」準備しておくべきなのかを学びます。その上で、社会に出るための基本スキルを養います。

2. 内容・目標

- 第1回 就職活動に向けて
- 第2回 就職活動におけるSPIの重要性
- 第3回 就職活動における専門の基礎科目の重要性
- 第4回 オリエンテーション、キャリアアプローチ受検（能力検査、適性検査、アンケート）
- 第5回 職場のマナー（挨拶の基本、言葉づかいと敬語、服装・態度）
- 第6回 就職活動の流れ、注意点（いつごろ、何を始めるべきか）
- 第7回 就職活動のための自己分析（キャリアアプローチの結果報告書を利用）
- 第8回 エントリーシートの書き方
- 第9回 社会で活躍する自分を考える
- 第10回 集団面接（グループ面接を実践）
- 第11回 個人面接（様々な質問で実践トレーニングを行う）
- 第12回 OB・OG講演 企業の方による模擬面接、企業人の心構えなど講話
- 第13回 企業研究 実際の企業について調査する
- 第14回 卒業研究について
- 第15回 まとめ（理解度チェックを含む）

目標

- (1) 就職活動の流れや実態を知り、行動するために必要な基本スキルを身につける。
- (2) 就職活動の過程で求められる実践的な力や技術を知り、身につける。
- (3) グループでトレーニングに取り組むことで、社会で求められるコミュニケーション能力を身につける。

3. その他

※3年次後期「インターンシップ」の履修はこの科目の合格を前提とする。

※第2回の講義の後、e-LearningでいつでもSPIの練習ができるので、積極的に利用すること。

これから就職活動をするにあたって、次のことを考えて下さい。

1. 将来やってみたいこと

Blank writing area with horizontal dotted lines for notes.

2. 得意分野

Blank writing area with horizontal dotted lines for notes.

3. 得意分野や将来やりたいことを就職につなぐために必要なこと

Blank writing area with horizontal dotted lines for notes.

4. 就職したい分野

Blank writing area with horizontal dotted lines for notes.

5. 就職したい企業

Blank writing area with horizontal dotted lines for notes.

6. 就職活動をするのに必要と思うこと



7. 就職活動に必要な「自分の強み」



8. 就職試験の筆記で必要なこと



9. 就職試験の面接で必要なこと



就職活動をするための資料

A. 就職活動をするに当たって

1. これからの採用環境
2. 正社員として働く
3. 「派遣社員として働く」って、どういうこと？
4. 企業の求める人材像に変化
5. 就職活動の重要なポイント
6. ご存じですか？＜社会人基礎力＞
7. ミスマッチを防ぐ会社選びの基準
8. 3年生から始まる内定までの長い道
9. 選考について【SPI対策と論作文】
10. 人事担当者インタビュー
11. 就職試験担当者からのコメント

B. 先輩からの一言

C. 就職部のサポート

1. みなさんの就職活動をサポートします！！
2. 求人票から読み取ろう！企業情報
3. 就職試験の流れ
4. 就職活動に必要な書類

A. 就職活動をするに当たって

1. これからの採用環境

大手企業の業績回復を受け、従業員規模が大きくなるほど採用人数が上向き始めました。ただ、依然として景気は低迷しており、しばらくは厳しい就職環境が続くと予測されます。**採用市場は、やはり「質」を優先する厳選採用が基本**と考えられます。

採用人数が回復する兆しはあるが、本格的な回復は景気の先行き次第か

新興国需要の拡大などが追い風となり、大手企業を中心に一部の企業では業績が上向きつつあります。しかし日本経済は最悪期を脱したように見えるものの、急速に景気が回復する局面ではないようです。

2013年3月卒業予定者等の採用活動に関する調査では、「増減なし」が41.4%と4割を占めました。一方、「増加」と回答した企業は32.1%で全体の3割近くにのぼり、「減少」の12.8%を20ポイント近く上回りました。従業員規模別で見ると、増加傾向はとりわけ1000人以上の大手企業で顕著で、38.8%と4割近くの企業が「増加」予定と回答しました。新卒採用マーケットは大手企業に牽引される格好で回復していると言えます。(株式会社ディスコ『採用活動に関する企業調査』)

ただし、「採用予定なし」と回答した企業も5.5%にのぼります。景気の先行き次第ではありますが、企業全体としては本格的な採用市場の回復は、まだまだ先の話となりそうです。視野を広げて、企業選択に幅を持って下さい。

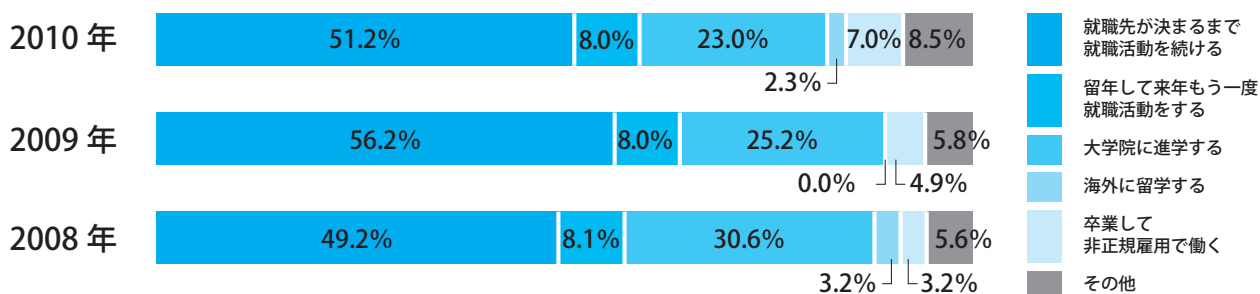
2. 正社員として働く

景気が良いときは、派遣社員やフリーターなどの非正規労働者も簡単に仕事が見つかり、収入も安定し、かつ「自由さ」も楽しめます。しかし、景気が低迷している昨今、さらなる悪化が進めば真っ先に企業の雇用調整の対象となるのは非正規労働者です。これらさまざまなリスクを認識して下さい。

2010年10月現在で内定を得ていない人は、「就職先が決まるまで就職活動を続ける」が半数超えです。「留年や大学院進学で1・2年先延ばしにしても状況は変わらないと思う」など、あくまで卒業時の正社員としての就職にこだわる姿勢が見られます(下図)。

独立行政法人労働政策研究・研修機構の調査によると、男性大卒の標準的な生涯賃金は約3億円です。フリーターなどの場合、年齢に関係なく横ばいで月収20万円として、22歳から60歳までの38年間をそのまま過ごしたとすれば、正社員との年収格差は、男性では2億880万円になります。その他、各種社会保険、福利厚生も正社員でなければ受けられない場合がほとんどです。

4年次生の10月になっても正社員にこだわる学生が大半



資料出所：株式会社ディスコ「日経就職ナビ学生モニター調査」(各年10月)

3年度以内なら新卒の扱いも、企業の壁は厚いのが実情

内定が取れなかった人やフリーターの道を選んだ人たちが、翌年に就職活動をスタートさせた場合、既卒として扱われます。政府の要請により、卒業後3年以内は新卒者として扱う企業が増えつつありますが、既卒に対する企業の壁は厚いのが現状のようです。

中途採用の場合も、企業は他社で正社員として何をやってきたかを問います。したがって大学卒業後のフリーター期間は、何もしていない「ブランク（空白）」としか判断されず、一度フリーターになるとそのままフリーターをし続ける傾向にある、と言われていています。また最近では、派遣社員などの割合も増えています。待遇面では、派遣社員もフリーターと大差はありません。そうならないためにも新卒で就職できるように、低学年次より意識・努力して下さい。

3. 「派遣社員として働く」って、どういうこと？

「働きやすさ」が魅力の派遣社員

社会に出て会社員として働くには、正社員として企業に就職する他に、契約社員や派遣社員として働く方法もあります。特に、派遣社員については、「希望の職種を選びやすい」「仕事の範囲が明確」「休みが取りやすい」など、融通がきくため、働き方のひとつとして人気があります。賃金も20代前半であれば、大卒の正社員と変わらない水準か、むしろ高い場合もあるでしょう。こう聞くと、派遣社員で働くのは、正社員よりメリットがあるように見えますが、はたして本当にそうでしょうか？

雇用の不安定さがつきまとう

派遣社員として働く際は、まず人材派遣会社に登録するのが一般的です。そして、派遣先が決まった段階で人材派遣会社との雇用契約が結ばれます。つまり、派遣先が決まるまでは労働契約をしていないため、給料は出ません。その後、人材派遣会社のスタッフとして派遣先企業に出向き、短期間の労働契約を細かく更新していきます。

ここで問題なのが、派遣先企業の都合で契約終了になると、「自分に合った仕事なので続けたい」と思っても願いはかないません。サブプライムローン問題に端を発した2008年末の経済不況の際、メーカー系企業が派遣契約を一時的に解除したことが「派遣切り」として話題になりました。近年、長びく景気低迷の影響を受け、派遣社員や契約社員の採用を拡大する企業が増えています。しかし、肩書きこそ「社員」ですが、派遣社員・契約社員の実態は非正規雇用者です。雇用条件は安定しているとは言えないものがあります。

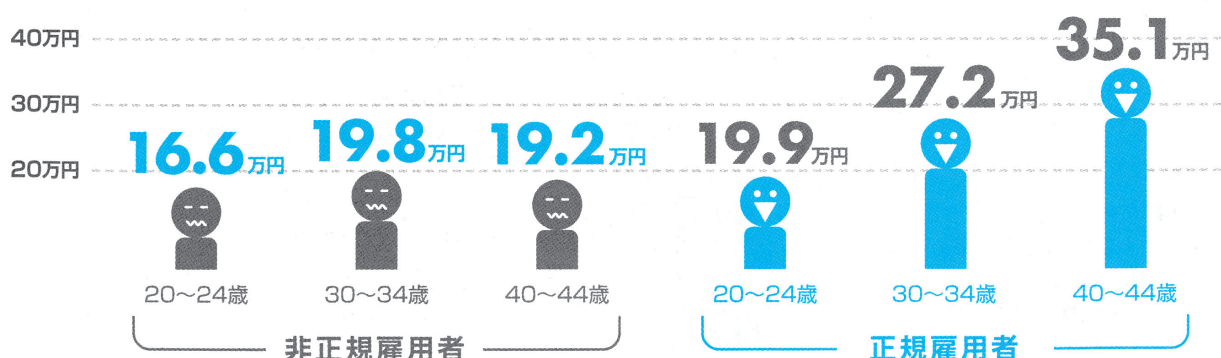
将来を見据えた就職を

「派遣社員・契約社員なら多くの仕事を経験できる」と思う人もいるでしょう。確かに、多くの職場で働くことはできますが、仕事内容は定型的・補助的な業務に限定される傾向があります。これでは、いずれ正社員になるためのスキルアップの場と捉えるには、少し頼りないかもしれません。

賃金の面でも、正社員である「正規雇用者」と契約社員やフリーターが含まれる「非正規雇用者」とでは、大きな違いが出てきます。20代前半では、ほぼ変わらない両者の賃金ですが、30代、40代と年齢が上がるにつれて格差は拡大します。正規雇用者は定期的な賃金アップが期待できるのに対し、非正規雇用者は20代の賃金水準のまま横ばい状態が続きます。そのため、生涯賃金に換算すると、2倍以上の差が出るという統計データもあります。

目先の賃金に惑わされず、10年後、20年後を見据えて、将来の仕事を考えていきましょう。

■雇用形態別の平均月収



出典：厚生労働省 平成22年 賃金構造基本統計調査より作成。数値はひと月あたりの賃金概算

4. 企業の求める人材像に変化

「いったん就職してしまえば、あとは定年までひと安心」という時代は今は昔のことです。会社のポスト不足や昇給制の停滞、リストラなどが当たり前となっています。それにともない、企業の求める人物像にも変化が起こっています。

サラリーマンも公務員も、「自ら考え、行動する力」が必要な時代に

最近、企業の求める人材像で最も多いのが「自ら考え、行動できる人」です。この言葉にこれからの働き方が集約されています。

現在の厳しい経済環境のもと、ますますし烈になる国際競争に生き残るためには、サラリーマンも公務員も、仕事に必要な知識・技術を自ら習得する姿勢が必要です。また、会社や組織が与えてくれる仕事を待つのではなく、自分からやるべきことを考え、行動に移さなければなりません。

では、「自ら考え、行動できる人」になるには、何をすれば良いのでしょうか。

本学では、日々の学生生活、例えば実験・演習や、クラブ活動・課外活動に対し、積極的に取り組むことが何よりのトレーニングになると考えています。「就職活動の時期になればできる」「社会人になって仕事を始めたら積極的に行動できる」と考えているかもしれませんが、「自ら考え、行動できる力」は、ある日突然身につく力ではありません。日々の学生生活を通して、少しずつコツコツとトレーニングする以外に近道はありません。ぜひ、日々の学生生活を有意義な時間にするための努力をして下さい。

《人生・仕事の結果＝考え方×熱意×能力》

これは、京セラ・KDDIなどを創業した稲盛和夫氏の有名な経営哲学です。

「能力とは、頭脳のみならず健康や運動神経も含まれますが、多分に先天的なものです。しかし、熱意は、自分の意志で決められます。この能力と熱意はそれぞれ0点から100点まであり、それがかけ算になると考えると、自分の能力を鼻にかけ、努力を怠った人よりも、自分には頭抜けた能力がないと思って誰よりも情熱を燃やして努力した人の方が、はるかに素晴らしい結果を残すことができるのです。

そして、これに考え方が加わります。考え方とは、人間としての生きる姿勢であり、マイナス100点からプラス100点まであります。つまり、世をすね、世を恨み、まともな生き様を否定するような生き方をすれば、マイナスがかり、人生や仕事の結果は、能力があればあるだけ、熱意が強ければ強いだけ、大きなマイナスとなります。素晴らしい考え方、つまり人生哲学を持つか持たないかで、人生は大きく変わってくるのです。（『心を高める、経営を伸ばす』より）」

5. 就職活動の重要ポイントをチェック

近年の採用試験では、SPI、CABなどの基礎力適性を見る筆記テストが行われています。提出書類の主流も履歴書からエントリーシートへと変わりました。また、面接試験も多様な形態になりました。これから取り組む、就職活動の重要ポイントを見てみましょう。

■ インターンシップ：「働く」ということを体験し、企業と仕事を知る

在学中に企業での就業を体験できる制度がインターンシップです。3年次の夏休みを中心に、1～2週間程度の期間で行われています。社会人の中で仕事を体験する事により職業意識や将来への目標意識が高まるだけでなく、企業や仕事への理解を深める絶好の機会となっています。

■ エントリー：本格的な就職活動の幕開けとなる「資料請求」

エントリーとは、その企業への関心を示す一種の意思表示兼資料請求のことです。インターネット上で氏名や在籍学校などの基礎情報を登録することにより、企業からパンフレットや説明会の案内などが届けられます。エントリーは主に就職情報サイトや企業のWebサイトから行い、これが本格的な就職活動の幕開けとなります。

■ 説明会・セミナー：志望企業の絞り込みに向けて情報を収集

企業が事業内容や将来の展望、期待する人材像などを学生に対して直接語りかける場です。学生にとっては志望企業を絞り込むための情報収集の場となります。会場である会社に足を運び、社員の日頃の様子を垣間見ることなどから、雰囲気や社風をつかむこともできます。

■ エントリーシート：入社に向けた正式な意思表示であり、最初の選考

情報登録であるエントリーに対し、エントリーシートは「入社試験を受けます」という正式な意思表示です。基礎情報のほかに、志望動機や自己PRなども記入します。選考の第一関門となり、面接時の資料にも使用される重要なものです。記載内容を充実させるには「自己分析」は欠かせません。

■ 筆記・WEB試験：学力ではなく思考力を問い、適性を確かめる

多くの企業は筆記試験にSPIを利用してしています。SPIは多角的に適性を検査する試験で、現在、SPI2シリーズが使われています。また、業界や職種によってはその他のテストも利用されています。最近ではWEB上で受ける試験も実施されており、試験にはしっかりと問題集を解き、対策を練っておくことが重要となります。

■ 面接：人柄や性格など心情的側面や専門的能力を判断する面接

面接では、応募した学生の人柄や性格など心情的側面を見極めるものと、特に理系において専門的能力を見極めるものと、主にこの2つの内容が問われます。個人面接、グループ面接、グループディスカッションなどの形式がありますが、2次、3次と段階が進むに従って個人面接の割合が増えていきます。また近年では「コンピテンシー」という考え方を取り入れる企業も増えてつつあります。

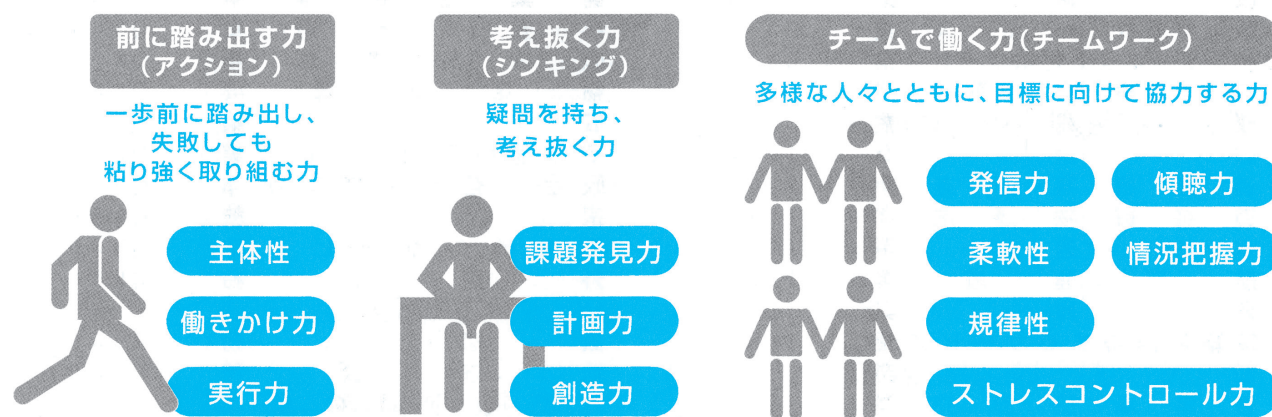
6. ご存知ですか？〈社会人基礎力〉

企業が学生に求めるものを理解する

人生の多くの時間を費やす「仕事」において、自分の強みを発揮し、活躍するのはとてもやりがいのあることです。しかし、自分が納得のいく仕事を見つけるのは簡単なことではありません。就職活動においては、自分がやりたいことだけでなく、企業が学生に何を求めているのかを理解することが大切です。

では、企業が求める能力とは、どのようなものでしょうか。働く上で必要な能力について企業・学生・大学が共通認識を持つことを目的に、経済産業省が中心になって、3つの能力・12の能力を定義しました。そこでは、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」が挙げられます。この3つは「社会人基礎力」といって、職場や地域社会のなかで多様な人々とともに仕事を行っていくうえで必要な能力として経済産業省が定義づけたものです。近年、企業から注目されている「社会人基礎力」を詳しく見ていきましょう。

■3つの能力と12の能力要素



まず、「前に踏み出す力」は、積極的に行動を起こし、失敗しても粘り強く取り組む力を指します。具体的には、指示を待つのではなく自らやるべきことを見つける「主体性」や、「一緒にやろう」と周囲の人を巻き込む「働きかけ力」、目標に向かって確実に行動する「実行力」などのことです。実社会の仕事は、マニュアル通りにいかないこともあります。失敗を恐れず、自ら一步前に進む行動が求められます。

「考え抜く力」は、疑問を持ち、解決に向けて考える力のことです。課題を明らかにする「課題発見力」や、課題解決のための「計画力」、新たな価値を生み出す「創造力」などです。常に問題意識を持ち、課題を発見することが求められます。その上で、解決策を納得いくまで考えることが必要です。

「チームで働く力」は、いろいろな人と一緒に目標に向けて協力する力です。自分が考えていることを相手にわかりやすく伝える「発信力」、相手の意見を聞く「傾聴力」、そして意見の違いや立場の違いを理解する「柔軟性」などのことです。また、チームで仕事をするとき自分がどのような役割を果たすべきかを理解する「状況把握力」や、社会のルールや人との約束を守る「規律性」も必要です。そして、ストレスを感じることがあってもその発生源に自ら対応できる「ストレスコントロール力」も大切です。

業界によって重視する能力も違う

もちろん、業界や職種によって、求められるものは違うので、「社会人基礎力」のうちどの能力を重要視するかは企業によってさまざまです。これから企業説明会やOB・OG訪問が始まるにあたり、先輩社員に実際に求められる力はどのようなものか、踏み込んで聞いてみるのもいいでしょう。

7. ミスマッチを防ぐ会社選びの基準

半年から1年以上の時間をかけて就職活動をしたのに、入社後、たった1年で会社を辞めてしまう人もいます。長く安定して働くために、早期離職しないための会社選びについて考えてみましょう。

せっかく就職したのに、3割の人が3年以内に辞めてしまう

若者の離職率を表す言葉として、「七・五・三（しちごさん）」という言葉があります。入社3年以内に中卒者の7割、高卒者の5割、大卒者の3割が離職するという意味です。最近では大卒者の離職率は35%にもおよび、男子が30%、女子が45%前後とされています。

このような早期離職の大きな原因の一つと考えられているのが、企業が社員にしてほしい仕事と、社員がしたい仕事との不一致、すなわち「ミスマッチ」です。この現象には、下のような入社時の3つの要素が関連していると言われています。

ミスマッチ3つの原因

仕事への思い込み

入社前に膨らませていたイメージと入社後に知った現実とのギャップに悩み、辞めてしまう人がいます。会社選びには、十分な仕事理解と自身の適正とのマッチングが不可欠です。

人気企業へのこだわり

変化の激しい現代社会において、有名な会社であることは必ずしも仕事のやりがいとイコールにはなりません。会社名や規模にとらわれず、視野を広げた会社選びが大切です。

納得しないままの就職

面接が集中するのは4月。5月のGW前には内定のピークを迎えます。わずか1ヶ月足らずで就職先を決める必要があり、不安や理解不足を抱えたまま入社してしまう人もいます。

知名度やイメージではなく、自分の適性を理解したうえでの会社選びを

ミスマッチは、仕事への理解を深め、会社名や規模だけで選ばないことで防ぎやすくなります。したい仕事とその仕事内容を具体的に考え、それができる会社なのかを見極めるのです。そのためには、早くから仕事や働くことについて考えることが大切です。

また、「好き（したい）」「得意（できる）」を基点に仕事を探すこともいいでしょう。特に「できる」の視点は、ミスマッチ就職の防止に役立ちます。これらの視点を活用するためにも、自分の長所や能力を知るきっかけになる「自己分析」を、早い時期から行っておくことが大切になるのです。

8. 3年生から始まる内定までの長い道

現在の就職活動は、以前とは様変わりしています。現在の就職活動の様子を知っておきましょう。

3年生・春～秋

大学で就職関係のガイダンスが開催されます。それに合わせて、学生は自己分析を行います。自分はどういう仕事に興味があるのか、自分の得意なことは何か、漠然とでもいいですから、考えておく段階です。

3年生・夏

インターンシップが開始されます。これは長期休暇の時期などに学生を募集し、企業で働くことを体験するというものです。外側から見ただけでは分からない会社の素顔をうかがうことができるので、ぜひ参加して下さい。また、この時期に筆記試験の準備も始めましょう。

3年生・秋～冬

就職情報サイトや企業のホームページなどでエントリー受付が開始される時期です。エントリーとはその企業に対する資料請求や、説明会などに応募することです。少しでも興味を持った企業があればエントリーして幅広く資料請求し、その中から具体的に就職したい業界や職種を絞り込んでいきます。セミナーに申し込んで、出席できなくなってしまった場合は、事前に企業に連絡するのがマナーです。

エントリーした企業から次々と各種資料が届くにつれて、それまで漠然としていた就職活動がにわかに関心を持ってきます。どのような業界に進みたいか、といったイメージは具現化され、自分の興味や適性などの自己分析と照らし合わせて、「ではどの会社を目指すのか」という絞り込みの段階に入る時期です。

3年生・年末～3月

OB・OG訪問が行われる時期です。OB・OG訪問とは、志望する企業に勤める大学の先輩たちに出会うことで、会社の雰囲気や制度、仕事の内容などを聞かせてもらったり、応募する際のアドバイスをもらったりすることができます。家族や親戚などの知り合いを紹介された場合は、紹介していただいた方に相手への事前連絡を取っていただいた後、自分から紹介された相手へ直接電話するようにして下さい。

このころ、企業から選考試験の案内が届き始めます。それに応募することで、正式にその会社を受けることとなります。このときに提出するのがエントリーシートです。氏名、住所などの基本的な内容に加えて、自己PRや志望動機、学生時代に打ち込んだことなどを記入します。会社ごとに独自の形式で、企業が求める人材であるかどうかを判断するためのさまざまな質問が並び、面接の際の重要な資料として使用されます。ここでどれだけ自分をアピールし、面接官に興味を持ってもらうかが内定を勝ち取るための大切な一歩となります。

3年生・2～3月

会社説明会やセミナーが本格化する時期です。また、筆記試験の準備を済ませておくべき時期でもあります。常識問題や小論文などの試験に加え、最近多くの企業で取り入れられているのが、SPI2という総合適性検査です。同意語・反意語や長文読解などの言語問題と計算や図形などを中心とした非言語問題からなる能力検査と、「はい」「いいえ」で答えて意欲や性格などを判定する性格適正検査の二つに分かれています。SPI2以外にも、IT系の業界ではCAB、商社や証券、コンサルティングなどの業界ではGABといったテストが使用されることがあります。

4年生・4月

面接が開始されます。近年は「コンピテンシー面接」という面接が行われています。これは「自分がすべきことを的確に判断し、行動につなげていける力」を見るものです。成績優秀なだけでは通用しません。学生時代にどのような行動をし、どう対処してどんな成果を挙げたのかなど、具体的な行動と成果の説明を要求されます。行動する自分をアピールできるエピソードを選び、面接担当者の望む回答に結びつけられる判断力とコミュニケーション力が必要になります。

4年生・5月以降

残念ながら不合格になってしまった場合には、就職活動はまだ続きます。ゴールデンウィーク後に採用活動が続ける企業も少なくありませんし、年間を通して人材募集を行う通年採用の企業もあります。

内々定を一つももらえていないと、「自分の何がいけないのか」、「どこも採用してくれないのではないか」と落ち込み、多大なストレスを抱え、精神的に不安定な状態になることがあります。そんなときにも、常に

前向きに就職活動を行って下さい。大学側はいつも協力しますので、卒業研究担当の教員や就職部に相談して下さい。

9. 選考について【SPI 対策と論作文】

採用の選考方法は、時代とともに大きく変わってきました。現在はエントリーシートによる書類選考を行い、続いて学力や思考力を問う筆記試験が行われ、その後、人柄や性格など心情的側面を判断するために面接が実施されます。

問われるのは学力よりも思考力

現在、多くの企業が採用している筆記試験は「SPI (Synthetic Personality Inventory)」と呼ばれるテストです。これは「Synthetic (総合的) Personality (個性) Inventory (評価)」を測るもので、主に国語や数学などの基礎能力をみる能力検査と性格適性の2種類で構成された総合適性検査として活用されています。

SPIは現在、SPI2シリーズと呼ばれています。SPI2は、30年以上にわたって採用試験で活用されてきたSPIを基に、2005年12月から使用が始まりました。

言語問題と非言語問題の2ジャンルに分かれ、言語問題は「同意語・反意語」「二語の関係」「熟語の意味」「長文読解」といった国語の問題が中心です。実際に会社での書類作成や資料整理などの業務を行うのに必要とされる基礎的な語彙力、文書読解力などが問われます。

非言語問題は「計算問題」「不等式」「集合」「図表の読み取り」「推論」などの算数や数学の問題が出題され、業務を円滑に遂行するための基礎的な計算能力や論理的思考力が問われます。学力というより学生の思考力を測るものととらえられています。

例えば、SPI2シリーズの中でも、総合職や一般職の新卒採用試験で使われるSPI2-Uの「能力適正検査」(70分)の内訳は、言語問題が約40問で30分、非言語問題が約30問で40分となっています。限られた時間内で相当数を解答しなければならず、かなり手こずる学生が少なくありません。

一方、性格適性検査は「情緒的側面」「行動的側面」「意欲的側面」などを測るもので、集団で仕事を行う事に対する取り組みを見極めようとする内容になっています。

SPIは余裕をもって必ず事前の対策を

企業がSPIなどを使用する最大の目的は学生の絞り込みと言われており、こうした形式のテストで学生を選抜する傾向があります。ところが本学の学生はほとんどここでつまずきます。

対策は、事前に問題を解いておくことです。市販されている問題集などで、検査内容や出題形式を把握し、練習してスピードに慣れておくことが重要となります。

いくら社会人基礎力が整っていても、面接に臨めなければその力は発揮できません。SPIは事前対策(慣れ)で克服できる関門ですので、事前対策として今から十分取り組んで下さい。

論作文は練習が必要

その企業の属する業界について勉強しておかなければ書けないようなテーマから、下準備は不要だが抽象的で何をどう書いてよいか迷いそうなものまで、業界や企業によって論作文のテーマはさまざまです。いずれにしろ、論文を書く練習は必要です。過去の出題例を参考にして文章を書く練習をすることはもちろん、書いた文章を他人に読んでもらい評価してもらうことが、より重要な練習となるでしょう。友達同士で読み合いをするのもよいのですが、やはり経験を積んだ両親、教職員や大人の方に客観的な評価をしてもらうことが上達の近道です。

10. 人事担当者インタビュー

新卒採用を行っている企業では、どのような学生を求めているのでしょうか。ここでは、人事担当者の気になる本音をご紹介します。

Q 学生に求める人材像を教えてください。

前畑さん：新卒の方には、人と違った個性のある人、何かに打ち込んでいた人、主体的に学ぶ姿勢のある人を期待します。例えば寝食を忘れてロボットの研究に没頭していたとい

う学生は、学内・学外問わず積極的に勉強し、スキルを上げる努力を惜しみません。そういった学生は、社会人になってからも先輩や上司の力を借りて成長しそうだと感じます。

伏見さん：逆に、平日は大学と家の往復だけ、休日は家でのおんびりしていた、というのでは、仮に大学の成績が優秀であってもあまり魅力を感じません。

前畑さん：私たちは面接で、その人の持つ「生きる力」を見ています。最近印象に残った例では、自ら企画書を作成して企業に何度も提案・交渉し、iPhone向けの人気アプリケーションを開発した学生がいました。専門的なスキルに加えて、主体的に考え、行動する力を持っている人は魅力的ですね。

伏見さん：技術系の職種であっても、一人で仕事が完結することはまずありません。ですので、自ら考え他人に働きかける力、相手の意見をしっかり聴き、課題を発見して解決できる力、そしてチームで協力できる力は必要だと思います。

Q 学生生活で学生が経験しておくべきことは何でしょうか。

伏見さん：しっかり勉強し、好きなことを見つけてそれに打ち込んで欲しいですね。また、アルバイトなどもした方が良くと思います。

前畑さん：コミュニケーション能力を伸ばすような経験をして欲しいですね。コミュニケーション能力にもいろいろありますが、私たちは特に傾聴力、想像力、質問力を重視しています。また、仕事をする上でチームワークは欠かせません。学生のうちに チームで働く経験を積むのも良いと思います。

Q 将来、活躍できる社会人になるためのアドバイスをお願いします。

伏見さん：言われたことだけをやる人、与えられた課題をこなすだけの人は伸びません。自分で努力目標を決め、それを達成するために頑張ることができる人、先輩に早く追いつき追い越したいという負けず嫌いな人、自ら学ぼうとする向上心のある人は仕事での成長も早いものです。社会人になった時に持っている知識やスキルは同じでも、5年後に大きな差がついていると思います。

前畑さん：もし今、自分に特徴が何もないというなら、ぜひ学生の間に好きなことや夢中になれることを見つけて欲しいと思います。それは趣味でもアルバイトでも何でも構いません。これから社会人になる皆さんには、様々な経験から学び、貪欲に成長しようとする姿勢を期待したいですね。

お話をうかがった方々



伏見 仁志さん

島津エス・ディー株式会社 管理部 課長
総務・人事担当

前畑 佳史さん

島津エス・ディー株式会社 管理部
総務・人事担当 主任



島津エス・ディー株式会社

科学計測機器のパイオニアである株式会社島津製作所の開発する分析計測機器、医用機器、航空関連ソフトウェアの受託開発に加え、医療情報、物流、環境安全衛生関連の各分野において、自社ブランドのシステム製品を製造・販売。

11. 就職試験担当者からのコメント

(1) 筆記試験

- SPIに関して：専門の学習に忙しいとは思いますが、企業側としては基礎の算数、国語（漢字）、地理・歴史等の一般常識ができないのは見過ごせません。
- 問題をよく読まずに回答している方が多数います。引っ掛け問題ではありませんので、単純なミスをしないようにして下さい。

(2) 面接

- 就職試験での面接は、「**自分を売り込む場である**」という意識を強く持って下さい。
- 第一印象で良い印象を持って、途中でがっかりとする学生が多くいます。
- 自己紹介はできるようになって下さい。「自分がどのように歩んできたか」、「何をアピールしたいのか」を全く考えていないように思います。
- 素直に話すのは良いのですが、面接担当者にマイナスのイメージを与えるとわかることを平気で話すのが大変気になります。**前向きな物の言い方を身につけて下さい。**
- サークル、アルバイト、課外活動の経験の少ない学生が工学系には多くいます。各自事情はあると思いますが、ただでさえ、ゆとり教育・ネット世代と言われる中、面接担当者としては会社に溶け込めるかどうか非常に不安になります。

学生の本分は勉強ですが、社会人の一歩手前の段階であることには変わりませんので、社会との接点、集団活動の経験は持って下さい。そのためにも、インターンシップは活用して下さい。

B. 先輩からの一言



氏名：北野谷 征吾

卒業年度：学部 2009年度 大学院修士 2011年度 関西電力株式会社

A. 現在の仕事について

今は「外線設計」という仕事を担当しています。家が新しく建つ場合などで、新しく電気が必要になったとき、変電器を交換したり、新しい電柱を建て、お客さまが必要とする電気を届けるのが私の仕事です。変電器は、電柱のうえに付いているドラム缶のようなもので、電線を通る高圧の電気を、家庭や オフィスで使用できる電圧に変換するためのものです。変電器は機器によって変換できる電気の容量が決まっていますが、機器のことはもちろん、電柱を建てる場所や強度なども考えなければなりません。そのため、様々な知識や計算が必要です。今は自主的に勉強したり、先輩たちに教わりながら、仕事を覚えています。

B. これからの抱負

電気についての理解を深めるために、自動卓の操作業務に挑戦することが今の目標です。電気の世界も自動化やネットワークによる管理が進んでいて、現場に行かなくても電柱に付いている自動開閉器（スイッチのようなもの）を、営業所内の操作卓でコントロールすることができます。しかし、この自動卓を操作するには、広いエリアでの電気の供給や流れをわかっていなければなりません。私が現在の和歌山営業所に配属された年は、台風12号が和歌山に大きな被害をもたらした年でした。復旧の応援に駆けつけたときは大変な状況でしたが、同時に、とても意義のある仕事だと感じました。これからも、電気のプロとして、人々の生活を守っていきたいと思います。

C. 就職して感じたこと・思うこと

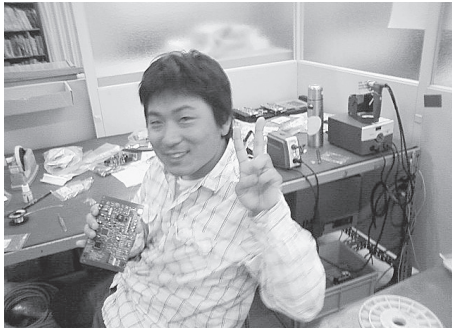
入社1年目のある日、雷で停電して電気が使えないというお客さまからの連絡を受けて、現場に緊急出動しました。激しい風雨の中、電柱での作業は思ったように進まず、時間ばかりが過ぎていきました。ようやく作業を終え、お客さまの元へ時間がかかってしまったことを謝りに行くと、「こんな悪天候の中、電気を使えるようにしてくれてありがとう」と、逆に感謝の言葉をいただいたのです。長時間の復旧作業で肉体的にも精神的にも疲れていましたが、そんな疲れも一瞬で吹き飛んだ嬉しい言葉でした。

D. 大学生活を振り返って感じたこと・思うこと

大学時代に教員免許を取得したのですが、そのとき、仲間たちと「教職を盛り上げていこう！」とサークルを立ち上げました。そのサークルでは、教育実習に行く前に自分たちで模擬授業を行ったり、意見を交換しあうことで自信をつけていきました。サークルのメンバーの中には、今教師として活躍している仲間がたくさんいます。このサークルの運営、そして後輩の指導に取り組んだことで、自ら考え実行していく力が身についたと思います。

関西電力株式会社

関西電力グループは、私たちの「安心・安全・快適」な暮らしを支えるために、「電気事業」、「総合エネルギー事業」、「情報通信事業」などの幅広い事業分野において、それぞれの専門性を活かした事業展開を行っています。



氏名：八木 宏行

卒業年度：学部 2008年度 株式会社 データ・テクノ

A. 現在の仕事について

測定機器開発・設計のハードウェア部に配属されています。主に仕様決めから納品までの一通りをしております。

流れとしては、実現できる仕様に作り上げる。ほとんどがここにかかっていると言ってもおかしくないかもしれません。タイムマシーンがないと出来ないような仕様にはしないのはもちろん、取引先

の考えていることを出来るだけ詰め込み、形にする事が重要です。

形にするためには回路やICに関する豊富な知識のうえに導かれるこうすればできるだろうという見積もりが必要だと思います。この業界（機器の開発）を目指すのであれば、電通大では回路や基本的に使う素子やIC（抵抗、コンデンサ、コイル、オペアンプ、トランジスタ、ダイオードなど）に関する知識を出来るだけ広げる事を勧めます。また、実際に組んでみたりして自分の物にすることも大切だと思います。

仕様が決まった後は、回路を設計して、気になるところを実験してみて思い通りの動作になるかテストをし、回路変更を繰り返しつつ仕上げていきます。基板設計は外注になり、基板が出来上がり送られてくると部品を実装し、動作検査を行い、問題なければ納品となります。

B. これからの抱負

現在、上司に聞いて仕様を決めないと実現できない仕様を作り上げてしまうことがあったり、仕様は決まったものの実現方法が分からないと言う事になったりしているため、早く自立が出来ればと考えています。まだまだ、技術者として半人前ですので一人前になれるよう努力中です。

C. 就職して感じたこと・思うこと

周りの技術が日々進歩しているので、勉強を止めてしまうと周りに取り残されるような感じになります。日々勉強、日々情報集めです。学校では受け身の勉強が大半だったために社会に出ると周りに劣っているという自覚があるものの「自分には何が足りないのか」、「どんな情報を集めれば優位になるのか」がイマイチ分からない日々になり、やみくもに集めていたりします。追いつくために必要な情報が膨大過ぎてどれから手を付けてよいのかパニックになっているような感じです。社会に出ると必要とされる知識が授業の中に山のようにあることが学生時代に気付いていればと思います。

D. 大学生生活を振り返って感じたこと・思うこと

大学生活ではバイトや遊び等好きなことが出来ると思います。スマホ等で情報が簡単に取れる時代になり、勉強したい人は昔より簡単に情報を手にし、身に付けられる時代です。バイトでの社会経験も大切ですが、今では大体みんなが経験しているため差が付きません。

今、就職に一番役立ったと感じられるのはバイトではなく、研究室で電卓をC++と言われるソフトで作ったことです。他の人は就職活動の合間に電卓を作っていたので四則演算で止まったものの私は留年してしまい時間が十分にあったために、乗数のボタン、数値を記憶するボタン等簡単なものからルート、ログ、三角関数等今ではプログラム見て「よくここまでしたよな」と思えるところまで作りました。ここまでしているとかなりの自信になりますし、周りとも大きく差をつけた状態で面接に臨めることになります。

また、エクセルでの情報整理です。去年の情報整理の方法を改善できないかと考え、ネットを調べることにより情報整理を楽にしました。また、さらに勉強をし、いろいろな方面で手間だと思える事の改善に役立ったと思っています。

学生生活でもなんか手間だな、改善できないかと思える事が溢れているはずですが。こんなものだ、こうするしかないのだと思う前にどうにか出来ないかと考える事は社会に出るときにきっと役立つと思います。

基本は教えてもらわないと自分で応用することは出来ませんが、基本を教えてもらった後は、他のところ

にどう生かせるのか考えてみる。大学で教えてもらえることは基礎だけ、会社に入って役立てるためにはそんな基礎だけでは話にならないと言うものもありますので、日々勉強に取り組んで下さい。



氏名：井口 大蔵

卒業年度：学部 2004年度 大阪府公立高等学校

A. 現在の仕事について

大阪公立高校（工業）の教員8年目、電気・電子分野の授業を担当、2年生の担任です。

B. これからの抱負

新しい工業の学校をつくっていきたいです。ナノテクノロジーやメカトロニクスなど、従来からある電気・電子・機械・化学などの枠を越えた分野が現れてきています。

生徒が卒業し社会に進出したとき、学校で学んだことがより生かされるような新しい学問体系が求められていると思います。

C. 就職して感じたこと・思うこと

物事に取り組むためには基礎知識とコミュニケーション能力が必要だと感じました。

新任でもプロとして見られるので、基礎的なことが分かっていなければ大変恥ずかしい思いをします。基礎知識を働きながら学ぶことは大変です。

仕事ができるようになるには、他人から技術を学び仲間を増やしていくことが必要です。それらができなければ、重要で専門的な仕事は任せてもらえず、多くの人に迷惑をかけることになります。

また、真面目なだけでは仕事できません。過労やストレスに負けないよう工夫することも必要です。そして、将来を見据えた大局観を養うことが大切だと感じました。

D. 大学生活を振り返って感じたこと・思うこと

たくさん勉強してきて良かったと思いました。大学では、学問体系の概念を構築することや、物理公式の持つ本質的な意味を追求してきました。特に、卒業研究には全力で挑戦しました。物事を理解するための力が高まったと感じました。

クラブ活動、体育会本部、ボランティア活動などに積極的に参加して良かったと思いました。礼を学び、人との関わりあいにおいて大切なことを知ることができました。

追記

目標達成に向かって共に挑戦する友人を得たときは、とても心強かったことを覚えています。努力すること自体が楽しく、達成できたときの喜びもひとしおでした。現在でも仲良くしているその友人達は、一生の宝だと感じています。

氏名：藤井 崇裕

卒業年度：学部 2010年度 大学院修士 2012年度 日本電設工業 株式会社

A. 現在の仕事について

建築工事の中の電気工事の積算業務を行っています。建物を建てる際の電気工事にかかる金額、人員を見積もる仕事です。見積もった値段が高いとライバル会社との取り合いに負けて受注できず、安いと自社の工事チームが赤字で工事をするようになります。

儲けがでる金額を提示することが重要であり、自分の仕事によって会社の売上が左右されます。責任はかかりますが、その分、やりがいのある仕事だと感じています。

B. これからの抱負

とにかく経験を積むことです。建築業界ではあたりまえなことが、まだわからないので、仕事の数をこなすことで、身に着けていきたいです。

目の前の目標は、会社から取得を命じられている、消防設備士甲種第4類、第2種電気主任技術者の合格です。

C. 就職して感じたこと・思うこと

「社名を背負う」という責任感です。もし、問題を起こしてニュースになったら、会社の大きな損害になるというプレッシャーは、「大学名を背負う」のときにはなかった重圧があります。

同期の人達の中でも、「もう社会人（大人）」と、「まだ学生（子供）」の差があると感じました。その差は、同期の人達と話をしていく中で、研究室や、クラブ活動、アルバイトなどで社会に深く関わった（苦労した）かどうかの差だと感じました。

D. 大学生生活を振り返って感じたこと・思うこと

ここでは、私が大学時代を振り返って、後悔していないことを紹介します。私が社会人になって7か月、学生時代にやってきたことで、自信になっていることがいくつもあります。

①アルバイト（書店で、仕入れ、陳列、広報（ポスター、看板づくり）など）

アルバイト2年目の頃から自分の売り場をまかされ、その売上を上げるために奔走していました。様々な売上アップ作戦を考えては提案をし、店長や、社員の人と意見交換をする機会も多かったです。この頃、社内メールや、社外に対する文章のマナーなども教えてもらいました。半分社員みたいな仕事をしてきたことが、今、大いに自信になっていると感じます。

5年目に入ってきた新しい店長とは反りが合わず、嫌がらせを受けた（シフトを極端にけずられるなど）あげく、大ゲンカしてクビになりました。この経験も、会社は上に嫌われたら終わり、いくら自分が正しくても刃向うのはタブーということが身をもってわかり非常に勉強になりました。

②研究活動

実験（仕事） → 問題が発生 → 自分で解決策を考える →

→ 教授（上司）に現状と、今後の方針（解決策）を報告・相談する

の繰り返しで、常に上司に対して、報告・連絡・相談を怠らないこと、それに加えて、自分の（筋の通った）意見を持っていること、この2つを守っていれば、少々のことでは困ったことにはならないと、大学4年生～大学院2年間～社会人7か月間、実行してきて感じます。

私が大学時代、いつも頭にあったのは、「社会人になるための準備」ということでした。それは、私にとっては、アルバイトの仕事で、売上を上げるために思考錯誤すること、また、研究室で、教授や、学外の会社の人、といった社会人とやりとり（仕事の会話、メール）をすることでした。

大学生の間は、”まだ”「学生だから」である程度は許されます。自分が正しいと思ったことをやってみて下さい。それが間違っていたなら、社会に出たときに同じことをしなければいいだけ、褒められたら、自分に自信を持ちましょう。

20歳で成人になったら「半歩」だけ社会人になることを意識してみてください。就職したら、もう「半歩」踏み出して、「大人な」社会人になって下さい。4年後、6年後に良い後輩と出会えることを期待しています。

氏名：八木 幸恵

卒業年度：学部 2005年度 関西電子工業 株式会社

A. 現在の仕事について

現在は主に、電気部品の在庫管理及び発注・検収業務を行っております。また、回路設計・C言語を用いたプログラミング・HDLを用いたFPGA設計にも携っております。

B. これからの抱負

電気分野の技術は日々進歩しているので、スキルアップを心掛けて、業務に取り組んでいきたいと考えております。また、自分なりに目標を設定して、その目標を達成できるように努めたいと考えております。

C. 就職して感じたこと・思うこと

何事に対しても責任が伴うということを改めて感じました。また、当たり前のことように感じますが、報連相（報告・連絡・相談）の重要性、すなわちコミュニケーションの大切さも改めて感じました。

D. 大学生活を振り返って感じたこと・思うこと

大学3、4年生になってから就職に対して、色々考える場面が増えたように思いますが、今考えると漠然と大学生活を送るのではなく、少しでも早く将来や就職に対して、目標等を設定できれば良かったと思います。大学生活で学んだことは、将来活かせるチャンスは、どういう形であれあると思うので、それを意識するかしないかで日々の大学生活がかわってくるのではないかと思います。

氏名：新川 直史

卒業年度：学部 2006年度卒業 株式会社 フジ技術

A. 現在の仕事について

現在私は、プリント基板設計の仕事に携わっております。学生の皆さんには基板設計というのは、聞き慣れない仕事かもしれません。電子機器（携帯電話やゲーム機等）の本体の中に、緑色の板が入っているのですが、これを基盤と言います。この基盤を製作するための、図面を描く仕事が基板設計です。この基板設計は専門的な分野で、誰でもできると言った職種ではないので、私は誇りを持ってこの仕事を行っております。

B. これからの抱負

この業界は、5年経ってやっと一人前になると言われています。私は入社して8年目になりますが、ようやく自信を持って仕事ができるようになりました。今後は、お客様から「ぜひ新川さんに設計をお願いしたい」と言われるように、また、同僚、上司からも新川に任せれば間違いないと言われるような設計者を目指し、日々の仕事に励んでいきたいと思っています。

C. 就職して感じたこと・思うこと

就職してすぐに感じ、学んだことは大きく分けて二つあります。一つ目は、挨拶がとても重要だということです。朝の挨拶や退社する際の挨拶等で、その人の印象がすべて決まってしまうと言っても過言ではありません。そのくらい、大きく元気な声で挨拶することが大事なのです。新入社員は、仕事ができなくて当然です。上司や先輩に、こいつは俺が一人前に育ててやろうと、思ってもらうにはやはり、挨拶や返事です。ぼそぼそと聞き取りにくい声では、「何だこいつは！」と、思われてしまう可能性大です。今から変えろと言われても、なかなか難しいことだと思います。ですから、就職はまだ先の話だとは思いますが、今の学生生活のうちから、少しずつ心がけてもらえれば、将来の自分に必ず良い結果が返ってくるはずです。

二つ目は、学生と社会人との違いです。その違いというのは、学生はお金払って学びます。対して社会人は、お金をもらって学びます。これはとてつもなく大きな違いです。先生に怒られることもあるでしょうが、それは学生の皆さんに成長してもらいたいと思う気持ちの表れによるものなのです。悪く言えば、先生方は学生の皆さんに注意する義務はないのです。学生の皆さんがお金を払っているのですから、その後は本人の自由なのです。ですが、社会人となるとまったくそれは当てはまりません。就職して仕事をすると、入社してすぐは勉強の日々になるでしょう。しかしその日々にも当然給料は発生しています。会社は、数年後にその人が会社に利益を貢献してもらうために、お金（給料）を払っているわけです。ですので、勉強をしてすべてを身につけなければなりません。

社会で出れば、アルバイトと違い、個人に大きな責任が伴います。ミスしても誰かがカバーしてくれるという様な甘い考えは捨てなければなりません。脅しているわけではありませんが、今からその心積もりをしてもらえれば日々の生活も変わってくると思います。

D. 大学生生活を振り返って感じたこと・思うこと

正直に申し上げますと、私は大学生生活に遊んでばかりでした。もちろん社会に出れば遊ぶ時間は極端に少なくなるので、遊んでいてよかったとは思いますが。しかし、社会に出て改めて思うことは、もう少し自分と向き合い、自己分析をして、就職に向けての準備を早くからしておけばよかったということです。1回生のうちから就職のことまで考えるのはなかなか難しいことだと思います。私もそうですが、自分がどんな仕事に就きたいなどと少しも考えていませんでした。ですが、何もしていないのに、自分がどんな仕事がしたい等わかるはずもありませんし、考えられないと思います。重要なのは、色々な経験をしたり、経験者の話を聞いたりすることです。そうすると面白そうだな、自分に出来そうだなと思えるようになって、就職への道が少しずつ開けてくると思います。

自分のしたい仕事をしている人は、現実少ないと思います。私もしたい仕事に就いているかと言われればそうではないかもしれません。しかし、やりがいを感じて充実した社会人生活を送っています。これが、自分のやりたい仕事であれば、もっと大きなやりがいを感じていたはずだと思っています。学生の皆さんはまだまだいろんな未来が広がっています。より良い社会人生活を送れるかどうかは、皆さん次第です。今からでも早すぎることはありませんので、少しでも未来の自分を想像して、日々の学生生活を頑張ってください。

氏名： 蓑原 伸正

卒業年度： 学部 2005年度、大学院修士 2007年度 株式会社 三社電機製作所

A. 現在の仕事について

就職当初は半導体モジュールの製品開発を行っていましたが、今では半導体を使う側の機器製品開発を行っています。

今流行りである太陽光パネルで作られた電力を、家庭・施設で使用できる電力に変換する「太陽光パワーコンディショナ」の開発に携わっています。

B. これからの抱負

自身が手掛ける製品が、多くの人に使用してもらえる事を考えています。また、クリーンエネルギーが求められる世の中に少しでも貢献できる事を目指しています。

C. 就職して感じたこと・思うこと

社会に出ると学生の時よりも人との関わりが多くなり、自身の行動・思想が善悪関係なく多少なりとも会社に影響を与えます。大学生の時から人との関わりを意識し、就職する前に「これから社会人になる」との自覚を持つ事が必要であると思いました。

また何をするに於いても制限時間があり、自分の計画をきっちり立てる事が必要となることを感じました。

D. 大学生活を振り返って感じたこと・思うこと

大学時代は勉強やバイト、趣味に充実した生活を送っていたと感じています。中でも研究室での経験は課題に対する考え方を養う事ができ、今でも仕事を行う上での基盤になっています。ただ、上述の様に時間の使い方をもっと考えていれば、と思う事があります。

在校生の方々には自身で目標と時間ルールを決めた上で、より充実した大学生活を送って頂きたいと考えています。



氏名：角田 慎一

卒業年度：学部 2008年度 大学院修士 2010年度 株式会社 ルネサスデザイン

A. 現在の仕事について

現在、株式会社ルネサスデザインに勤めており、RH850マイコンの開発を担当業務としています。RH850マイコンは、世界でトップシェアを誇るルネサスの自動車の制御用マイコンの中でも、最新のプロセスを用いた高性能、高機能な製品です。

業務では、夜遅くまで残業が必要な時もありますが、最新の技術と知識を得ることが出来る場面が多くあり、エンジニアとして日々成長する事が出来る仕事であると思います。

B. これからの抱負

最近、入社から4年間担当してきた業務から新しい業務へと変わりましたので、仕事内容を覚えること、これまで経験していなかった技術についての知識を習得することが一番にあります。特に、これまで主な業務としてきた機能（RTL）設計に加えて、新たに担当することになる論理（Gate）設計のための知識の習得を意識したいと思っています。

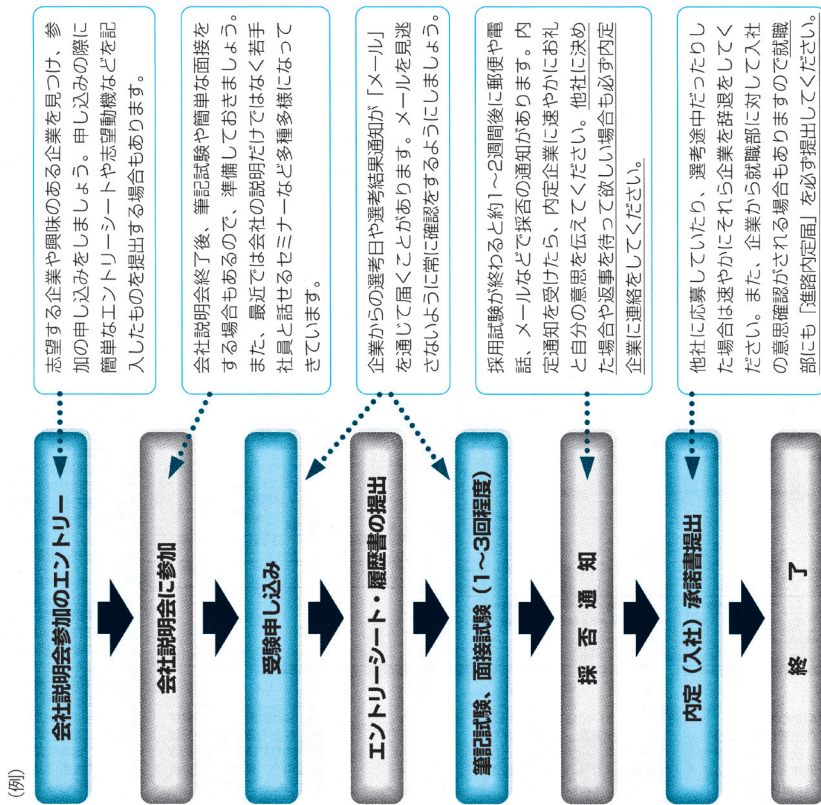
C. 就職して感じたこと・思うこと

就職してから、一番に意識するようになった事はスケジュールリングをきちりとする事です。どんな業務をする場合でも、納期厳守のための進め方の方針を明示する事（行程管理）が重要となります。「別の業務の割り込みがあった場合に対応可能か?」、「インプットが遅れた場合にどれだけ負荷が増加するのか?」などの日々変化する業務に対応するために必要なものの1つであり、その中でも最も重要なことであると思います。

D. 大学生活を振り返って感じたこと・思うこと

自由な時間が多くありましたので、新しい事にチャレンジして、いろいろな経験を積むことができました。就職してからは、技術的なことよりも基礎的な能力（文章力、コミュニケーション力、論理的な思考）の方が必要となる機会が多くあります。その能力を磨くためにも大学の内外に限らず、新しい経験が出来る機会はとても大事であったと思います。

3. 就職試験の流れ



内定承諾書について

就職内定をもらうと多くの企業は「内定承諾書」(名称等は企業により多少異なる)の提出を求めます。これは内定者の意思確認として求められるもので、提出した以上は卒業後必ず入社するという誓約書です。したがって、その会社に就職する義務を負ったことになることを十分に考えて提出してください。提出した時点で就職活動は終了です。

就職活動スケジュール

- 就職活動のスケジュールとして、10月~1月は就職活動の準備期、2月以降は実践期といえます。
- 月ごとに記した就職活動のポイントは必ずしもその月にしなければいけないものではなく、目安です。業界や企業によってはセミナーやエントリーが早い場合もありますので、注意してください。
- 表中に記したアンダーラインは、みなさん(卒業・修了予定者)が必ず行わなければならない手続きですので、忘れることのないように！！
- 公務員は、2012年度日程が現時点では未定のため2011年度現行の日程です。

	活動のポイント	本学就職活動行事	公務員
10月	就職活動の下準備 1. 自己分析(第2章「自分を知る」) 2. 仕事研究(第3章「社会を知る」) 3. 就職試験対策 (SPI、一般常識など) →第5章「副試験を知る」 4. クリエイティブ関連を志望する場合は作品制作と整理 ◎求職登録書を必ず全員提出してください。	・9月下旬 「就職の手引」配布 第3回就職ガイダンス ・10月下旬 就職適性検査 ・11月上旬 第4回就職ガイダンス ・11月下旬 第4回就職ガイダンス ・10月中旬~12月中旬 業界研究セミナー ・10~2月 就職支援講座 ・1月上旬 第5回就職ガイダンス	
2月	就職活動の実践 (第4章~第5章を参考にしよう！)	・2月中旬~5月 卒内企業説明会 (合同または個別) 大阪府・大阪市・堺市 教員採用試験説明会	
3月	1. 具体的な企業の情報収集 2. 就職部での情報収集 3. 会社説明会等に参加 (予定の場合は就職部へ！)		・上旬 国家I種願書受付開始、 教育委員会願書受付開始 ・中旬 国家I種願書受付開始
4月	4. 応募書類の作成/発行 (履歴書、各種証明書) 5. 採用選考(4月から本格化) ・抽選はこまめにチェック!! ・リターン希望者は連休を利用して地元での情報収集を ・スケジュール管理はしっかりと!	・5月下旬 大学院内が入試	・上旬 国家I種1次試験 ・中旬 国家I種1次合格発表 ・下旬 国家I種2次試験
6月	採用内定後 ◎就職先・進学先等、連絡が決定したら速やかに「連絡内定届」を就職部まで提出! ・未決定者は積極的に就職部へ相談を! ◎後輩のために「就職試験報告書」を! ・お世話になった方には礼状を!		・中旬 国家II種1次試験 ・下旬 国家II種最終合格発表
7月			・中旬 国家II種1次合格発表 ・下旬 国家II種2次試験、 教育委員会1次試験
8月		・下旬 大学院一般入試	・中旬 教育委員会1次合格発表 ・下旬 教育委員会2次試験、 国家II種最終合格発表
9月			・下旬 教育委員会2次試験合格発表
10月		・就職(進路)に関する状況調査	

4. 就職活動で必要な書類

就職活動を始める前に



求職登録書 (巻末に添付)

「職業紹介」という業務は、とても重要な業務です。誰もが許可されるものではありません。就職部がみなさんに就職の紹介・指導を行ったり相談に応じたりすることができるとは、「職業安定法」に基づき監督官庁に届け出ているからです。

求職登録書は、この法律で提出が義務付けられている書類です。提出がなければ、就職部では就職の紹介はもちろんなること、学業成績卒業(修了)見込証明書の発行もできません。必ず指定の期日までに提出してください。

また、進学や専門学校、自営を希望する人、就職を希望しない人も同様です。みなさんの進路は文部科学省に報告する義務がありますので必ず提出してください。

「就職の手引」を受け取る

必要事項を記入して、就職部に提出する

※ 提出時期は、第3回就職ガイダンス、提示、大学HPで案内します。
※ 空欄を残さないようにしてください。

就職活動中に必要な書類



1 履歴書

大学生協で本学指定の履歴書が販売されているので各自購入し、記入例(P8~10)を参考に作成してください。就職部では添削も実施しているので、一度相談してみましょう。

履歴書に必要な写真のサイズは30mm×40mmです。インスタント写真、スナップ写真、あるいはカギユアルな剪頭写真をもつ写真は絶対に不可。スーツをきちんと着用すること。裏面には大学名・学科名・氏名を必ず記入してください。できるだけ早くから用意してください。



2 学業成績及び卒業(修了)見込証明書

就職部で申込用紙に必要事項を記入する

就職部窓口で学生証を提示し、申込用紙を提出する

教務課 / 1号館事務室前の証明書自動発行機で各自発行

受験企業や受験日など申込用紙に必要事項を記入する「手続さ」を行ってください。この手続さを行わないと、証明書は発行されません。なお、受験企業などに変更が生じた場合は、速やかに「証明書等提出先変更」を提出してください。



3 健康診断証明書

証明書の発行は、事前の手続さなしに直接「証明書自動発行機」で発行できますが、3月に実施する健康診断を受診しなければ発行されません(証明データがありません)。必ず受診してください。

名称	発行場所		発行開始	手続さ
	環 居 川	四 條 畷		
学業成績及び卒業(修了)見込証明書	教務課 証明書自動発行機	1号館事務室前 証明書自動発行機	4月初旬	申込用紙を記入し、学生証を持参して就職部で申し込み
健康診断証明書			5月上旬	申し込み不要

※詳細については、第5回就職ガイダンスで説明します。発行時期については掲示版及び大学HPで案内します。



4 推薦状

推薦状は、自分が所属する卒研・ゼミ指導教員に依頼して作成していただくこと。急を要する場合指導教員に作成してもらうのが不可能な時や、卒研・ゼミに所属していない場合は、各学科の就職対策委員に作成を依頼します。いずれにしても、前もって指導教員にも自分の進路について相談・報告すること加心です。



推薦状発行 内定辞退不可

卒研・ゼミ指導教員ならびに就職対策委員が作成する推薦状をもって「学校推薦」扱いとなります。したがって、内定辞退はできません。推薦状とは、大学があなたを保證する意味をもつものです。安易に応募し、後日辞退するようならおれは辞退先に迷惑をかけるのみならず、大学の信用も失墜し、在職中の先輩たちも肩身の狭い思いをすることになるのだから心して提出してください。

推薦状をともなう受験については、その結果が出るまで推薦状の提出を必要とする受験の重複受験はできません。推薦状を提出して受験した結果が合格であった場合は、その企業の内定辞退はできませんので、結果を受け取った時点で就職活動は終了ということになります。



5 作品

ゲームのキャラクターデザインやCGデザイナーなどのクリエイター系を受験する場合は、企業からポトフオリオ(作品集)の提出を求められることがあります。志望する学生は今の段階から作品制作をしておきましょう。



採用不採用報告票・受験結果報告書

受験した企業の可否を必ず報告してください。状況に応じ、企業にお礼を伝えたり、未内定者には新たな求人情報をお知らせするなど適切な支援に必要となりますので、必ず報告してください。



就職試験報告書

受験した企業の試験内容や貴重な体験談を後輩のために残してあげてください。

注意! 差別につながる質問を受けた場合は、速やかに就職部に報告してください。
(質問例) 籍の職業について、募集構成について、宗教について、尊敬する人物について

就職活動が終わったら



進路内定届

進路先が決定したら「進路内定届」を必ず提出してください。就職以外も同様です。

就 職 大学院進学 自 営 専門学校 その他

また、希望進路に就けず卒業を迎えた場合でも、一旦現状を報告する義務がありますので、必ず提出してください。

「履歴書・自己紹介書」の記入のしかた

第一印象が大切。スピード写真は不可。裏面には大学、学部、氏名を記入。

記入日の日付。

朱肉を使う印鑑。まっすぐはっざりと押す。

添付ファイルなどを送ってくる場合もあるので、できればパソコンのメールアドレスを記入。

自宅通学なら「同上」。それ以外は美家の連絡先を記入。

高校からの学歴。高校の学歴も書くこと。予備校などは書かない。

文字数の多い学歴は2行を使用しても良い。

職歴 正社員のみ。経験のない場合でも「なし」と必ず記入。

履歴書・自己紹介書		西暦 2012 年 ○ 月 △ 日現在	
写真貼付 30mm × 40mm <small>写真裏面に大学、学部、氏名記入のこと</small>	性別 男	氏名 電通 太郎	電話番号 824-1131
でんぷう たろう	生年(西暦) 1990年10月1日(漢字)	E-mail Den@isc.osakac.ac.jp	携帯電話番号 072-824-1131
電通 太郎	〒 572-8530	大阪府後援屋川市初町18番8号A号棟	携帯電話番号 090-XXXX-XXXX
休職中 の連絡先	同上	同上	同上
西暦	月	学歴・職歴	学歴
2006年	4月	大阪電気通信大学高等学校普通科入学	大阪電気通信大学高等学校普通科卒業
2009年	3月	大阪電気通信大学工学部電気電子工学科入学	大阪電気通信大学工学部電気電子工学科卒業
2009年	4月	大阪電気通信大学工学部電気電子工学科入学	大阪電気通信大学工学部電気電子工学科卒業
2013年	3月	大阪電気通信大学工学部電気電子工学科入学	大阪電気通信大学工学部電気電子工学科卒業
		職歴	なし
			以上

※ 県イテック、備前、備前東高等学校から記入してください。
※ 「学歴」は高等学校から記入してください。

例1

免許・資格・特長・記録・賞など ・ 2008年4月 第2級陸上無線技術士取得 ・ 2009年8月 中期自動車第一種運転免許取得 ・ 2013年3月 高等学校教諭1種免許「工業」取得見込	卒業研究・卒業制作・ゼミ テーマ：水冷式 MBE 装置による GaSb 系半導体レーザの作製と評価 指導教員：初田 和夫 教授 内容：GaSb 蒸気法による AlGaAsSb/InGaAsSb を水冷式 MBE で作製し、発振波長 1.9μm をはじめ、最終目的としては、2.8μm を目指す。 得意科目：得意分野 LSI 設計：LSI について「回路設計」と「物理設計」の両面から学び、電子機器の設計や半導体技術に必要な LSI 設計技術を身につけました。	趣味 水泳：気分転換と身体を鍛えるために、週に1・2回プールで泳いでいます。毎年夏には海に行きダイビングを楽しんでいます。	志望動機 開発会社に携わってこそそのものづくりの楽しさを堪能できると考えています。貴社の「安心」をテーマにした開発設計から製造までの一貫生産体制によりとことんものづくりに打ち込み、自信をもってユーザーに商品を提供できると思い、志望致しました。電気、電子回路の知識を活かし、エンジニアとして人々が安心して使える便利な通信技術を提供し、世界市場で活躍したいと思っています。	自己PR (性格や能力について、学生生活を通して得たことなど) 私の強みは、何事にも果敢に取り組むチャレンジ精神です。大学でラグロス部に所属しています。ラグロスは初めてでしたが、毎日2時間基礎的なことから練習を積み重ねた結果、速いパス回しもできるようになり、試合に出場するまでに上達しました。経験のないことでも積極的に取り組み努力をすれば結果がでることを知り、電気主任技術者の資格取得の勉強も始め、専門的な知識を深める楽しさを感じています。今後も、新しいことに挑戦し努力を尽くすという姿勢を実行していきます。
---	--	--	---	---

免許や資格は正式名称で記入。取得見込みも書くこと。

指導教員が「教授」か「准教授」か調べておく。わからなければ「先生」としておく。

できるだけ詳しく。

面接で必ず聞かれる。
1) なぜその会社を選ぶのか
2) その会社で何をしたいのかを考えてまとめる。

会社が求める人物像にあてはめながら具体的な内容を書く。エピソードを入れたり、なぜそう思うのかを書いたりする。

大阪電気通信大学

過去の主な出題例

面接 会社などに関する出題例

志望動機
 残業・転勤についてどう思うか
 海外勤務は大丈夫か
 企業選びで重視していることは何か
 新入社員に必要なものは何か
 5年後、10年後の将来像
 どのようなエンジニアになりたいか
 説明会での企業の印象や工場の感想
 もし、希望している部署に配属されなかった場合
 どうするか
 自分の仕事のイメージとマッチしていたか

筆記 自己・学生生活などに関する出題例

自分の性格について（長所、短所）
 趣味は
 学生時代に力を入れたこと
 挫折したときにどう乗り越えたか
 人生で一番努力したこと
 これまで一番失敗してしまっしたこと
 チームワークをどう作るか
 友達の数や友達にどう思われているか
 新聞や本を読んでいるか。気になった内容は。
 スポーツはしているか
 アルバイト経験
 休日の過ごし方
 ストレスがたまったらどのように解消するか
 将来の夢は
 あなたの10年後のビジョン

面接 意表をつく出題例

自分を表す単語3つ
 仕事を引退したときにあなたの中で何が残るか
 あなたの人生は例えるなら何色か

面接 グループディスカッションに関する出題例

幸せになるために必要なものの順位
 新しく休日を作るとしたら、いつでどんな日
 社会人として必要な3つの能力について
 日本人のコミュニケーションについて
 日本のゲーム業界が海外のゲーム業界に勝つ方法

筆記 専門分野に関する出題例

合成抵抗、キルヒホッフの計算問題
 オームの法則
 2進数、10進数、16進数の変換問題
 オシロスコープの使い方
 プリッジ回路、三相交流
 ビット演算、論理和、論理積、排他的論理和
 自分の手をデッサン
 会社をイメージしたキャラクターを描く
 透視に関する問題（血液浄化の種類、透透圧の計算）

筆記 作文出題例

社会人としての夢と志
 あなたが会社を求めること
 技術と人間のかわりについて
 私の挑戦
 あなたの生きがい
 今一番感謝したいできごと、または人について
 学生時代を振り返り
 理想の理学療法士像
 臨床工学技士の使命
 自由と責任
 色

面接 学業成績に関する出題例

学部・学科の選択理由
 得意科目・不得意科目
 英語力
 卒業研究・卒業制作の目的及びその内容

例2

免許や資格は正式名称で記入。取得見込みも書くこと。

指導教員が「教授」か「准教授」か調べておく。わかれば「先生」としておく。

テーマや暗号が決まっていなければ「未定」とする。ただし、できるだけ前もって先生に聞いておくこと。

できるだけ詳しく。

面接で必ず聞かれる。
 1) なぜその会社を選んだのか
 2) その会社で何したいのかを考えてまとめる。

会社が求める人物像にあてはめながら具体的な内容を書く。エピソードを入れたり、なぜそう思うのかを書いたりする。

免許・資格・特長・記録・賞など ・ 2009年10月 中間自動車第一種運転免許 取得 ・ 2010年5月 基本情報技術者試験 合格 ・ 2010年度 学業優秀賞 受賞 卒業研究・卒業制作・ゼミ テーマ：ポータブルゲーム機における3Dゲームソフトの考察について 指導教員：山田 太郎 教授 内容：現在入手できるポータブルゲーム機における3Dゲームソフトを検証し「ゲーム」におけるより効果的な3D表現とは何か」を分析し、3DSゲームソフトの企画の完成を目標とします。	得意科目・得意分野 プログラミング：高校1年次から独学で始め、現在ではC++、ActionScript、Java を使うことができます。 趣味 サイクリング：月に2回くらい天気の良い日には近所の川沿いのサイクリングコースに出かけます。季節ごとに変化する景色を見ながら走ることは新しい発見や発想の転換になり、企画のアイデアが浮かんできます。	志望動機 貴社の世界最先端の開発体制の下、良い製品を創るために様々な手法に取り組むチャレンジ精神と新人にも仕事を任せてもらえる自由闊達な企業風土に強く興味を持ちました。プランナーとして貴社が積極的に展開されているモバイルコンテンツビジネスに関わり、海外に挑戦して世界中の人々に幸せを届けるエンジニアになりたいと思います。 自己PR（性格や能力について、学生生活を通して得たことなど） 好奇心が旺盛です。大学入学時から常にネットワークを持ち歩き、デザイン、言葉風景など、気になったことは書き留め、今ではノート8冊になりました。ノートを元に企画書を作成し、4名の友人と制作したゲームは、学内コンペを勝ち抜き、東京ゲーム賞2011の出版作品に選ばれました。制作過程では、自分の意見を他者に理解させ、同意を得るためのコミュニケーションの仕方も身に付けたと自負しています。今後も、多方面にアンテナを張り巡らしながら、積極的に取組む姿勢を貫いていきます。
--	--	--

大阪電気通信大学

就職活動において企業は見ています！

－ SNS へのあなたの幼稚なコメントを－

Facebook、MiXi、TwitterなどのSNS（Social Networking Service）は社会的に大流行し、様々な人が様々なカタチで利用し、情報の発信・収集・交換などを行っています。

しかし、SNSは手軽で楽しいツールである反面、落とし穴もいっぱいあります。SNSはインターネットを使ったサービスです。インターネットはその特性上、一度書き込みされた内容は取り消すことは出来ません。（自分では取り消したつもりでも、一度でも誰かが転送等すると、それは二度と止められません。）不用意な一言がトラブルに巻き込まれたり、知らぬ内に犯罪に巻き込まれるといったケースも少なくありません。これらは日常茶飯事に起こるため、ニュースにもならず、世の中には何もなかったように映っていますが、決してそうではないことを覚えておきましょう。

SNSは誰が見ているか分かりません。例えば、自分のしたイタズラの成果を自慢のつもりで書き込みしても、ある人は「なんて幼稚だ」とバカにしているかも知れません。イタズラの度合いにもよりますが、警察により内容が精査され摘発を受けることもあります。飲酒運転や喧嘩、他人への誹謗中傷などの書き込みは一般常識の程度だけでなく、人柄までも見られます。

そしてこれらは一時的なハプニングで終わることはありません。最近耳にする言葉に「ソー活」という言葉があります。これはSNSを利用して就職活動を行うということです。このソー活は学生だけが行うものではありません。企業も行っています。**企業は、SNSを使って受験する学生の情報を過去に遡って調べ出し、合否の判定に利用しています。**

SNSは手軽で便利なコミュニティーツールとして広く利用されていますが、今一度、いつ・どこで・だれが見ているかわからないという現状をしっかりと認識し、楽しく利用しましょう。

15. インターンシップ

3年次後期

15. インターンシップ

1. 目的

3年次前期までに学んできた電気電子工学の知識を活かし、企業の研究、開発、製造部門における実習体験を通し、現実の電気電子工学分野をより深く認識することにより、電気電子工学への探究心を養うとともに、将来の一般企業への就職、大学院進学への足がかりを得ることを目的とする。

2. 内容・目標

3年次の前期に担当教員による指導（エントリーシート作成個別指導、模擬面接の指導）を受ける。夏季休暇を利用して、2～3週間の実習を行う。報告書を提出するとともに、パワーポイントをもちいて発表資料を作成し、実習報告会で報告する。

履修条件：

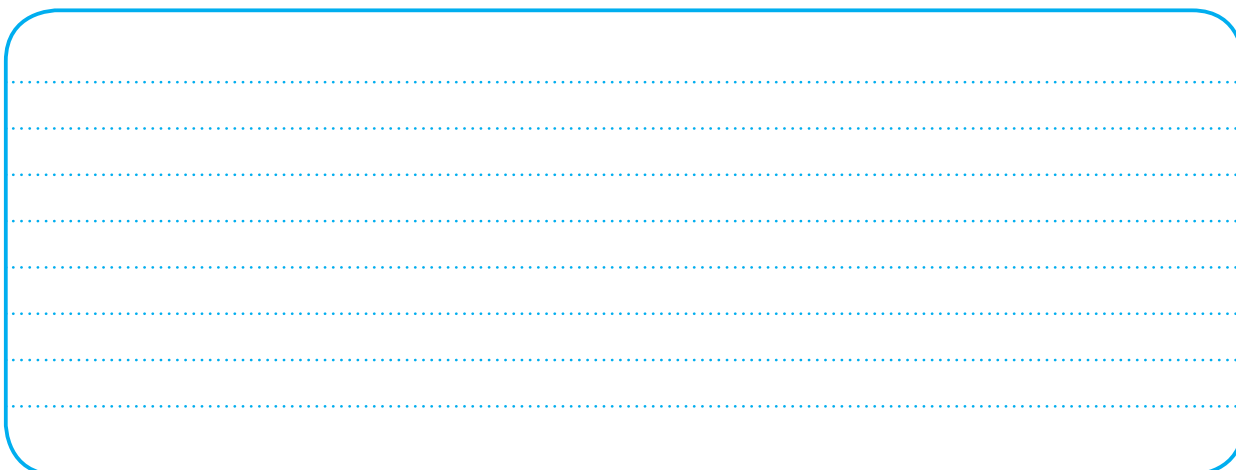
- (1) 実習先決定に当たって、学科ならびに実習希望先企業との面談がある。面談で実習不可となる場合もあり、その場合は履修できない。
- (2) 前期配当の「キャリア設計」を必ず履修すること。

3. その他

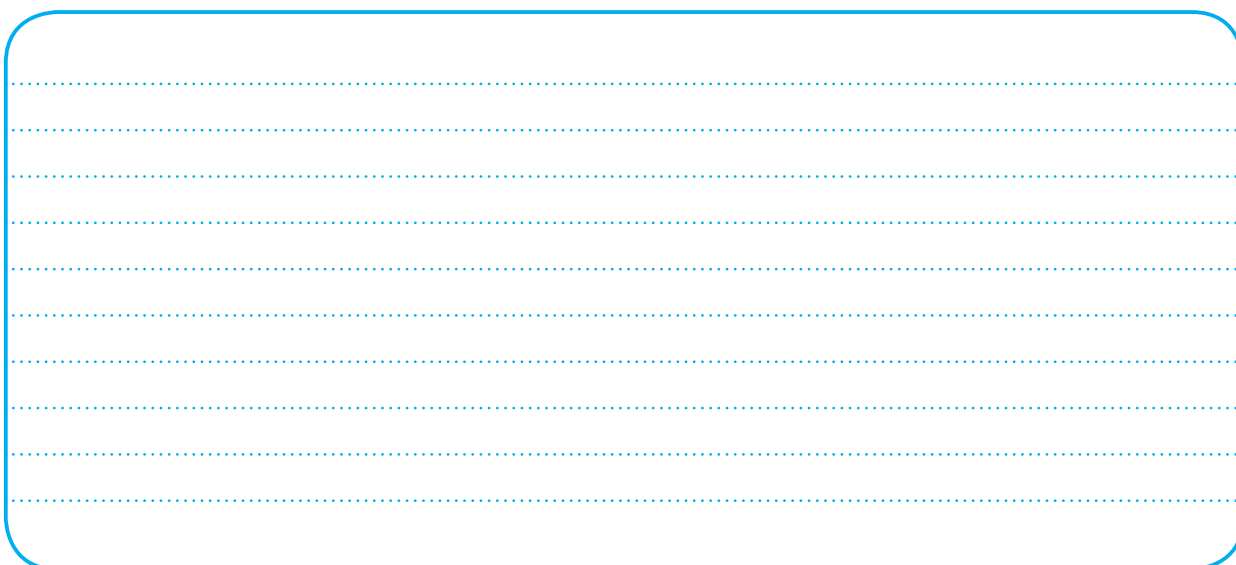
- ・「キャリア設計」で修得したマナー、コミュニケーション法などのポイントを再確認し、実習先企業での実習に臨むこと。
- ・実習先企業の事業内容など会社概要について事前に会社HPなどで調べておくこと。
夏季休暇中に実習を行うので、前期期間中に実習先を決定することとなる。

インターンシップ実習にあたって考えてみよう！

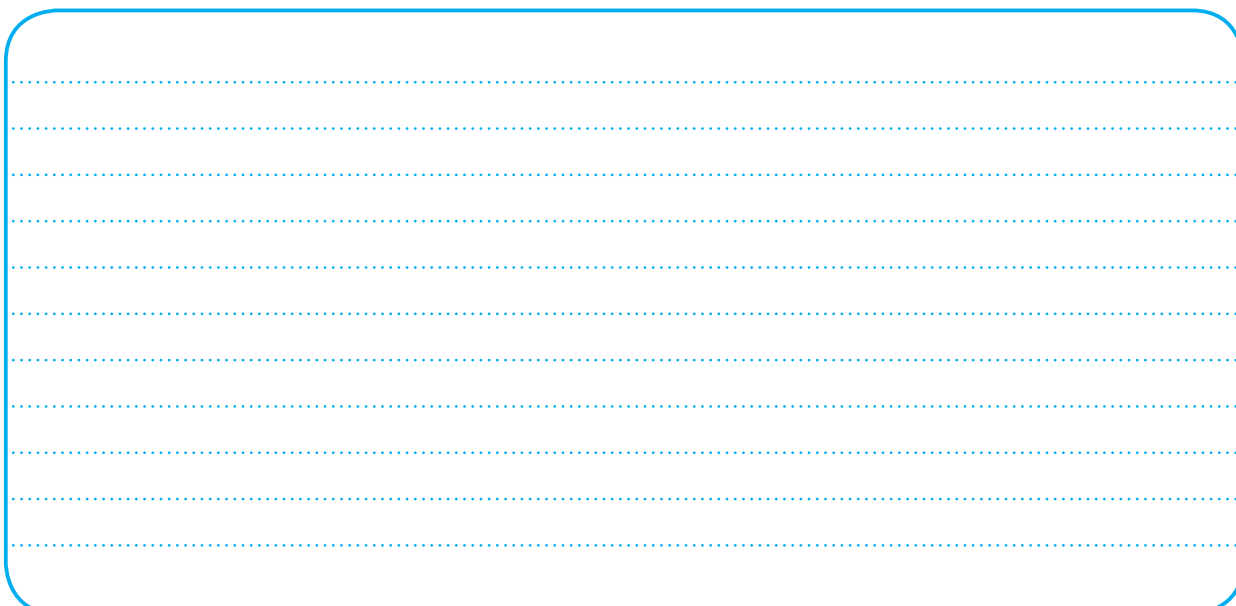
1. インターンシップ実習で学びたいこと



2. インターンシップ実習で行きたい業種と理由



3. インターンシップ実習で行きたい企業と実習内容



電気電子工学科

インターンシップについて

■インターンシップとは？

「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」で大学と企業等との連携によって学生が短期間、企業等において実習・研修的な就業体験を受ける制度のことです。

工学部 電気電子工学科 シラバスより抜粋

■インターンシップ（2単位）配当年次3年次

3年次前期までに学んできた電気電子工学の知識を活かし、企業の研究、開発、製造部門における実習体験を通し、現実の電気電子工学分野をより深く認識することにより、電気電子工学への探求心を養うとともに、将来の一般企業への就職、大学院進学への足がかりを得ることを目的とする。3年次前期「キャリア設計」の単位取得を条件とし、夏季休暇を利用して、2～3週間の実習を行う。実習報告書を提出し、パワーポイントを用いて発表資料を作成し、実習報告会で報告する必要がある、2単位を授与する。

■インターンシップの流れ

インターンシップは次の「事前研修」→「実習」→「事後研修」から構成されています。

□事前研修：実習に先立って、実習の目的意識・学習目標を明確にして、実習が有意義なものとなるように万全を期すためのプログラムです。職業について、ビジネスマナーなどを受講します。

マッチング

希望実習先への
調整・面談

□実習：夏休み期間中の2週間以上。（原則実質10日以上）実習を受けます。実習先において正（準）社員・職員と同じ意識をもった就業体験ができるよう、各受け入れ先でプログラムを用意していただきます。もちろん実習期間中は遅刻・欠席は原則的にできません。

□事後研修：実習参加の目標と実習参加によって得たことなどの検証を行います。全員が実習のまとめを報告会で発表しなければなりません。

留意事項：事前研修・マッチングを行いますので、全員が実習まで参加できるとは限りません。

□評価方法 大学指定のレポートの他、実習先での日誌、実習全体を通しての実習先からの「実習評価票」、事前・事後研修状況に基づき評価します。

■インターンシップ実習内容の例

製品や対象は各受入れ先企業等により様々ですが、下記のような実習内容実績があります。インターンシップ実習生は企業活動の実習や業務の補助を体験させていただくわけですが、短期間とはいえ会社組織の一員として活動させていただきますので、会社概要の説明や経営理念・社風の説明、会社全体の見学などを企画していただいた受入れ先企業等が多くありました。

電気系製造業	機械系製造業	情報等サービス業
ケーブル製作、はんだ付け実習 回路設計実習、プリント回路基板の 配線設計実習、CADを用いた配線 設計実習	CADによる機械設計実習、電気回 路の設計製作実習、組立作業実習、 出荷前調整業務補助、出荷前検査業 務補助	PC組立・セットアップ、LAN 構築業務補助、Webコンテンツ制 作、Webアプリケーションの作成、 Web入力フォーム、ニュースバー の作成
回路製作実習、入力装置製作実習、 制御盤製作実習、基板組立実習、装 置組立実習、製品の分解・組立作業 実習、部品交換作業実習	金属系製造業 切断加工実習、切削加工実習、 鍛造加工実習、機械加工実習、 組立作業実習、品質保証業務実習、 出荷・梱包業務実習	Windowsアプリケーション開発、 プログラム開発、業務フローの作成 (標準化業務補助)、EXCELフォ ームの作成(プログラム管理台帳、工 事台帳等標準化業務補助)、アプリ ケーション動作テスト、ソフトウェ アドキュメント作成、機器のメンテ ナンス作業補助
プログラム開発実習、マイコンプロ グラム開発実習	共通・その他	電気通信建設業 電設工事補助、電気工事補助
製品の信頼性実証試験実習、電気性 能試験、製品目視検査実習、出荷前 装置検査作業実習、製品試作検査	自社ホームページの作成・改良、広 告・PR資料の作成、LANケーブ ルの作製、売り上げ管理実習、技術 営業業務補助、実証実験補助、管理 業務補助、棚卸作業補助、在庫管 理業務補助、工場見学・社内見学、 ISOへの取り組み研修	
装置施設・取付業務補助、出荷・梱 包業務実習		

■業種別体験例

□実習先：電気機械器具製造業（船舶用システム部門）

大学ではデータを計測して実験を行う実習形式が多いため、自分の手で実際に物を組み立てて作動させることは非常に新鮮だった。また、多くの方々と接することで、コミュニケーション能力が以前より向上したことも大きな収穫だと感じている。

□実習先：システム制御機器製造業（品質保証部門）

製造業はものを作る仕事であるが、一口に「作る」と言っても様々な部署があり、相互に協力しながら発注から製造・販売まで行っていることを知ることができた。仕事には決まったやり方がない場合もあり、どのように行っていくか自分達で決めて、その結果を締切日までに仕上げ報告するなど、業務の重要さを体験できた。

□実習先：情報サービス業（ソフトウェア開発部門）

今回の実習では、あるプロジェクトのミーティングに参加する機会を与えられた。その中で、参加者全員で進捗状況を報告し合い、次になすべきことを決めていく様子を見て、仕事は1人でするものではないということを学んだ。全員で分担して業務をこなしていくことの大切さと難しさを肌で感じる事が出来た。加えて、顧客からの要望をうまく汲み取り、ソフトウェアに組み上げていくためには、視野が狭くてはいけない、ということも知ることができた。

□実習先：電気機械器具製造販売業（産業システム事業部）

実習を通して、礼儀がいかに大切なものであるかということに改めて気づかされた。電話の対応一つとっても、まともに受け継ぎができなければ、お客様のみならず会社にまで損害を与えることになる。電話の対応は会社の顔であり、電話の受け継ぎができない会社の製品が良いわけがない。「品質」は「人質」に比例するのだということをお教えられ、マナーの重要性を再認識することができた。

3年次のインターンシップの受講生からの一言

氏名：前田 和慶 学籍番号：EE10A089

(1) インターンシップ実習を履修した理由

私は就職活動への準備の1つとしてインターンシップに申し込みました。

インターンシップを受けるためには、まずエントリーシートを書きます。エントリーシートには自己PRや志望動機などを書くのですが、「自分の強みは何か」、「自分はなぜこの会社を選んだのか」といった自己分析をしなければいけません。また、実習先企業が決めればその会社を訪問したり、マナー研修を受けたりします。そして、実習を受けることで「働くということなのか」、「自分のやりたい仕事は何か」といった事が分かります。これらはすべて就職活動をする上で活かされていくと思います。このような思いのもと私はインターンシップ実習を履修しました。

(2) インターンシップ実習で得られたこと

インターンシップで得られたことは人それぞれ違いますが、私の場合は「自分のやりたい仕事、合っている仕事は何なのか」を見極められたことです。

インターンシップ実習を受ける前は、将来自分が就職すると考えていた職種の中に「回路設計」がありました。しかし、本当に「回路設計」という仕事が自分に合っているのかは働いてみないとわかりません。なので、私は「回路設計」を体験させてもらえる会社をインターンシップの実習先を選びました。そして、実際に仕事を体験させていただくことで「自分には合っていない」と思いました。このような判断は実際に仕事を体験することでしかわからないことだと思います。



氏名：松井隆志 学籍番号：EE10A094

(1) インターンシップ実習を履修した理由

インターンシップ実習を履修した理由として、「就職活動の準備になる」と思ったからです。インターンシップ実習を受ける為には、実習を行いたい企業を選ぶためには、「なぜその企業に行きたいのか」と理由を考えることから始まるからです。そして、エントリーシートを書くためには、自己PRやインターンシップを受けた理由、何故この企業を受けたのかなどが必要です。「インターンシップ先を選ぶ」と「エントリーシートを書く」ことは、就職活動そのものだと思ったからです。はじめは、とても面倒だと思いましたが、インターンシップを始める事で誰よりも早く就職活動を始められると感じたからです。

(2) インターンシップ実習で得られたこと

インターンシップ実習では、技術実習や製造実習、提携企業見学などを行いました。技術実習では製品小型化の難しさや設計における重要点などを教えていただきました。見学を行ったときには、町工場の現状や工学部の大学生の就職に付いての独自の考えなどを聞かせていただきました。実習先では、製品とは1社だけで作られているわけではなく、多くの企業、社員が協力して初めて完成するものであると教えていただきました。休憩の間にこれからの私達の就職について話していただきました。さらに、新聞やニュースであった業界での出来事を分かった上で、私たちに話をされていました。そこでは、改めて業界の情報を知っておくことが社会人、働く者として必要なことだと知りました。

製造課で社員の方の仕事をしている所を見ると、納期が近く製造を急いでいる製品については、他の社員がその仕事を分担して製品を完成させていました。こういった所でチームワークが必要となっていて、同じ部署内で仕事を助け合うためにはすべての仕事を知っておくことが大事でした。私も仕事に就きたい分野の仕事だけでなく、部署が変わったとしても、どの仕事にでも対応できるように今から勉強を頑張っていきた

いと思いました。

氏名：溝端友樹 学籍番号：EE 10A099

(1) インターンシップ実習を履修した理由

私はインターンシップ実習での経験が勉学や就職活動で生かせると思ったので履修しました。大学では理想的な電気素子の特性や仕組みについて広く学びました。しかし、実際に製品を作る際には大学では学ぶことのなかった様々な問題が起こりうると思います。このような問題を解決する為にはどのような考え方や知識が必要なのかを実体験を通して学び、その知識を身につけるにはどのような科目を履修する必要があるのかを知るきっかけになればと考えたからです。また、就職活動の面接で実習での経験談を話すことができれば有利になるのではないかと考えたからです。これらの理由から私はインターンシップ実習を履修しました。

(2) インターンシップ実習で得られたこと

私は実習で社員様の製品に対する責任感を感じとることができました。実習では船舶に積み込まれる製品の検査をしました。「一つのミスが船員の命を奪うことになるかもしれない」という社員様のお言葉を聞き、製品に対する責任感を肌で強く感じました。ミスを減らす為に検査に取りこぼしが無いように、テストレポートと呼ばれる検査項目表を事前に作成しておく工夫を互いにしていました。私自身も製品の検査で気を引き締める実習になりました。またミスを無くすためには正しい知識が必要です。私は大学で履修している科目の内容についてしっかりと理解しておくことがミスを無くすことへ繋がるのではないかと強く感じました。

氏名：野坂 穰 学籍番号：EE10A074

(1) インターンシップ実習を履修した理由

私はこのインターンシップの体験を通して自分をまた一つスキルアップしたいと思い、履修しました。私は将来、就職するにあたって、今の自分に足りないことや自分は仕事に対してどんなことを考えているのかを考え直して、「働く」イメージを具体的に描くことが必要だと思っていました。それをインターンシップの実習を通して、出来るだろうと思いました。また、大学で学んできた知識が社会や仕事でどのような形で活かされているのかを知るとともに実際に働くということを知りたいと思っていました。

(2) インターンシップ実習で得られたこと

今回の実習では様々な部署を回らせていただきまして、部署ごとにどんな仕事をし、1つの製品が会社内でどのように動き、出荷されているのかを見学しました。そして、ものづくりの流れを感じとれたと思います。また、仕事をするにおいて、様々な部署が関わって、多くの人が協力をして仕事をしているのだなと学びました。

インターンシップでは事前研修から実習まで長い期間ありましたが、すべてが今後の就職活動だけでなく、就職してからの将来にも大切なことを学びとれたと思います。エントリーシートを書くために自己分析に取り組んだり、企業に電話をしたりすることは今後必要となることであり、良い経験になりました。実習中に感じたことや考えさせられたこと、指導者の方に頂いたコメントは心に留め、今後活かしていきたいと思っています。この実習は取り組んで本当に良かったと思える、最初に思っていた以上の大きな成果のある貴重な経験になったと思います。

氏名：今川 悟 学籍番号：EE10A008

(1) インターンシップ実習を履修した理由

学生の中に社会を知ろうと考えても、外側から社会について学ぶことはできますが、内側を知ることは難しいと思います。インターンシップ実習では、短い期間ですが、直接、社会の中に入り、身を以て体験し学ぶことができる。さらに実際の現場を見ることによって、自分の視野が広がり、いろいろなものが見えてくるのではないかと考え、インターンシップ実習の履修をしました。

(2) インターンシップ実習で得られたこと

インターンシップ実習では、目的であった「社会を知る」ということができました。その中でも社会人としてのコミュニケーションやマナーを学べたことは私にとって非常に大きく、一歩成長できたのではないかと考えています。「ありがとうございます」「ごめんなさい」そして、あいさつの言葉、これらの言葉の持つ力を感じました。あいさつは、何十回、何百回としましたが、あいさつは第一声であり、その人の印象が大きく左右されるものです。実習では同行営業をさせていただいたので、人と人のコミュニケーションを取るうえで、あいさつの重要性を強く感じました。インターンシップ実習に参加し、数多くのことが学べ、大変充実した時間を過ごすことができました。

氏名：佐藤 弘亮 学籍番号：EE10A041

(1) インターンシップ実習を履修した理由

私がインターンシップ実習に参加しようと思った理由は、大学の説明会に参加したときに貴重な体験ができるという先生の話聞き興味を持ったからです。実習を通して、社会人として働くために大切なことは何かを学びたいと思い、インターンシップに参加しました。

(2) インターンシップ実習で得られたこと

実習ではCADを用いて回路設計を行いました。

仕事でわからないことをそのままにして、いい加減な仕事をする会社全体に迷惑がかかるため、絶対にしてはいけないと教わりました。そのため実習中は多く質問するよう心がけました。回路設計には決まった形がないので、全て自分で考えることができます。最初は戸惑いましたが、慣れてくると楽しくなってきました。「自分で考える力」は社会人として必要な能力の1つだと感じました。今後はこの力を伸ばしていき、就職活動に活かせるよう努力したいです。

氏名：原 千慧 学籍番号：EE10A080

(1) インターンシップ実習を履修した理由

私がインターンシップに申し込んだ理由は、実際に働いている職場を見ることで働くことを自分の中で明確な形にし、また受け入れて下さった企業の皆様と接し話すことで社会での常識について学びたいと考えたからです。

(2) インターンシップ実習で得られたこと

私をインターンシップ生として受け入れて下さった企業は、主にシステム開発を行うソフトウェア会社でした。実習の内容としては簡単なプログラムを2人で1つ制作するというものでした。自らの手で1から作り上げたため苦労しました。さらに、一緒に制作した人の別のプログラムとを組み合わせるとうまく動作しないなどの問題の連続でした。このようにシステム制作では悩みがつづき、協力するというさまざまな過程を知り得たことが一番の収穫であったと考えています。

インターンシップエントリーシート

記入日 年 月 日

フリガナ			
氏名			
生年月日	西暦 年 月 日生	性別	
現住所	〒	() TEL -	
帰省先又は 休暇中連絡先	〒	() TEL -	
E-mail		携帯	- -
所属大学名	大阪電気通信大学	学生番号	
学部・学科	工学部 電気電子工学科 3年次生	担当教員名	®
得意科目		加入クラブ・ サークル	
将来の希望進路			
保有資格		パソコンの 習熟度	
インターンシップ に申し込んだ 動機			
インターンシップ に参加して 取組みたいこと、 学びたいこと			
自己PR			

写真
(のりづけ)

写真裏面に、大学名・
氏名を記入のこと。

(4.5×3.5)
カラー、スーツ着用のこと

インターンシップ論作文シート

記入日 年 月 日

学部	工学部	学科	応募先企業名
学生No.		氏名	
連絡先	TEL () -	携帯	- -
E-Mail			
現住所	〒		

◆インターンシップ参加にあたって、学びたいこと、実習先企業で興味をもったことを記入してください。

◆マッチング面談で実習希望先企業へ持参・提出します。

1	5	10	15	20
5				
10				
15				
20				

インターンシップ実習報告書

記入日 年 月 日

学部・学科	学部	学科	実習先企業名
学生No.		実習部署	
氏名		実習期間	年 月 日 ~ 月 日 日間

- ◆インターンシップ実習参加によって、学んだこと得たことなどを報告してください。 ◆ワープロ等で作成も可。
- ◆実習終了後1週間以内に完成させてください。 ◆資料がある場合は、資料を添付のこと。

1. 実習先企業について 200字程度

(実習先企業概要及び実習を受けた部署の概要)

5	
10	

2. 会社生活で得たこと 300字程度

(社会人としての就業体験で得たことを記入して下さい)

5	
10	
15	

学生No.		氏名	
-------	--	----	--

3. 実習内容 500字程度

(実習内容を記入してください。実習でのテーマ, 目標, なども含めて記入してください)

5	
10	
15	
20	
25	
30	

学生No.		氏名	
-------	--	----	--

4. 実習を通して技術的に得られたこと。 300字程度

(実習を通して技術的に得られたこと。学んだこと。工夫したこと。今後の学内での学習に対してなどを記入。)

5

10

15

5. インターンシップ実習を通して全体の感想。 300字程度

(事前研修から実際の就業体験までを含めた感想や、得たこと、今後の目標などを記入してください。)

5

10

15

16.

卒業研究

4 年次

16. 卒業研究

1. 目的

電気電子工学科では電子現象、回路理論、計測・制御、情報を柱としたカリキュラム編成を行っている。これらのカリキュラムを通じて学習した専攻科目を自ら吟味し、この分野のいずれかを選択するとともに、その領域について深く探求するため卒業研究を行う。

卒業研究は、師事した指導教員の下で研究テーマを定め、このテーマに対し、(1)文献調査、(2)実験計画の立案、(3)理論解析、(4)未知の領域に対する問題解決法の模索などを通じて、(5)新事実の発見へ結び付ける研究方法を修得することにある。

2. 内容・目標

平成25年度の卒業研究指導教員名（研究室名）研究テーマは下記のとおりである。

- (1) 生田 孝(応用画像計測研究室)
結像光学系3次元結像特性の評価・解析に関する研究
- (2) 伊與田 功(電力・エネルギー変換研究室)
電力系統及び電力用パワーエレクトロニクス機器の解析研究
- (3) 海老原 聡(地球電磁波計測工学研究室)
レーダシステム開発と信号処理法開発に関する研究
- (4) 岡崎 芳(集積回路工学研究室)
集積回路およびその設計技術に関する研究
- (5) 富岡 明宏(微小光学研究室)
半導体量子構造および導電性有機材料微小構造のナノサイエンス
- (6) 松浦 秀治(半導体電子デバイス研究室)
次世代半導体の電気測定・評価と可搬型蛍光X線検出器の研究開発
- (7) 渡邊 俊彦(知的システム研究室)
学習アルゴリズム、ソフトコンピューティング
- (8) 伊藤 義道(システム制御工学研究室)
制御系の解析・設計に関する研究

3. 評価基準・評価方法

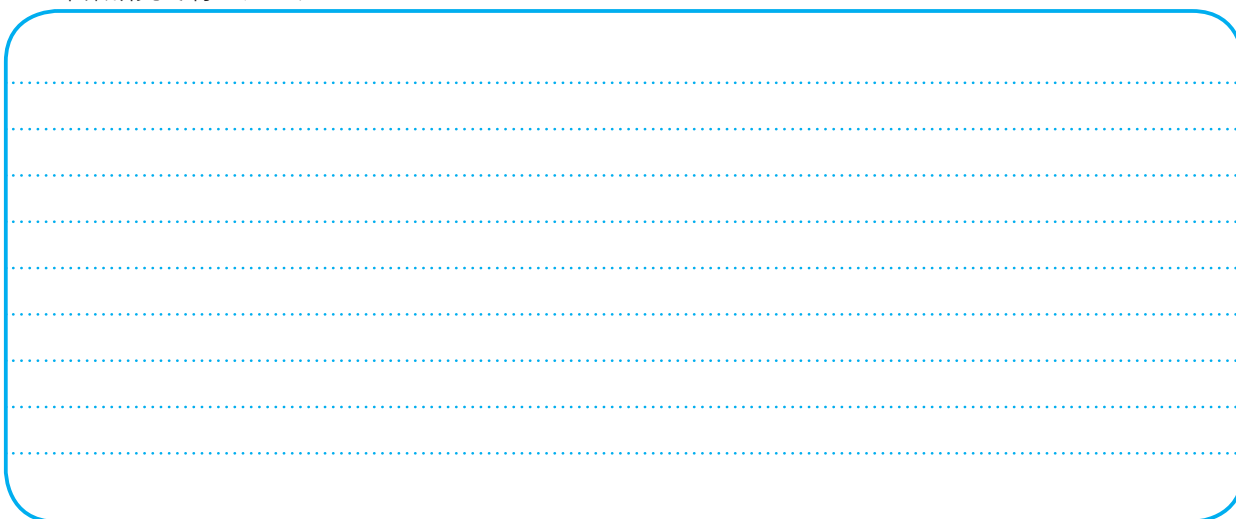
2月に卒業研究論文を提出させ、さらに卒業研究発表会で研究成果を発表させる。その結果を学科審査会で審査のうえ合否を判定する。

卒業研究をする研究室を決めるのにあたって考えてみよう！

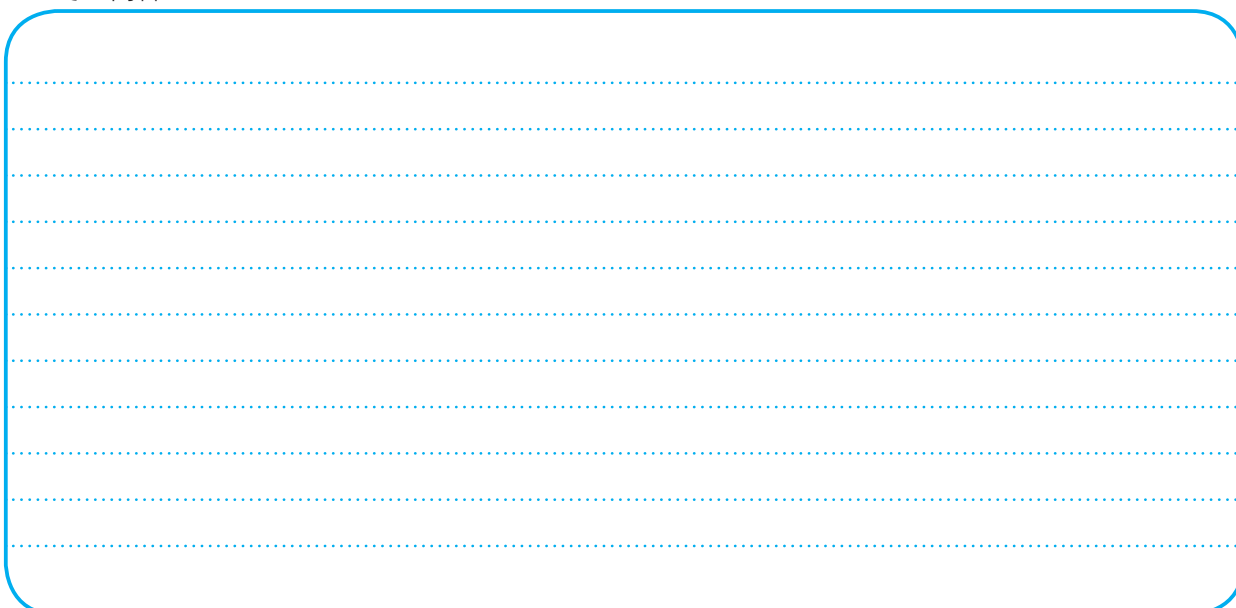
1. 興味のある研究テーマ



2. 卒業研究で行いたいテーマ



3. その内容とは？



研究室紹介



教員名：生田 孝 場所：M308号室 研究室名： 応用画像計測研究室

研究テーマ：

1. 顕微鏡・電子顕微鏡の波動光学的結像と能動型画像処理方式に関する研究
2. コンピュータ応用物理計測手法に関する研究
3. マルチメディア音声・画像のデジタル処理に関する研究

研究内容：

顕微鏡の分解能（どれだけ小さいものが見えるか）は、照明光の波長に関係します。光の波長よりずっと小さいウイルスや分子、原子は、光学顕微鏡ではまったく見えません。光でなく波長の短い電子線を照明として用いた電子顕微鏡では、原子の大きさに近い1オングストローム程度の分解能が実現されています。しかし電子顕微鏡の電子レンズには「球面収差」という、結像レンズとして良くない性質があり、それが解決できればより小さなものが見えるはずです。

研究室では、従来の画像処理とは原理的に異なった「能動型画像処理」を開発して電子レンズ鏡球面収差の影響を取り除くことを行って来ました。さらに「傾斜照明」と「8の字フィルタリング処理」を利用して、従来コントラストが付かなかった位相物体にコントラストを付ける、新しい無収差位相顕微鏡法を開発、光学顕微鏡や電子顕微鏡への応用を試みています。

求める学生像： 卒業研究では基礎となる数学、物理、電気、電子、情報の勉強をみっちり行った上で、研究対象の勉強を行います。もちろん疑問点がたくさん出て来ます。皆さんにはぜひとも筋道の立った質問が出来る、「聞き上手」になってほしいと願っています。



教員名：伊與(与)田 功 場所：M601号室 研究室名：電力・エネルギー変換研究室

研究テーマ：

1. パワーエレクトロニクス機器と電力システムのモデル化と解析の研究
2. 風力・太陽光発電を含む電力システムのデジタルリアルタイムシミュレーションの研究
3. 将来の電力システムの予測と系統計画の研究

研究内容：

太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーは今後益々増やしていかなければいけません。そして、その電力を効率よく送電し、消費者に届けるため、電力系統（電力を送るための送配電ネットワーク）も益々機能を向上させていかなければいけません。電力系統はエジソンの偉大な発明のひとつです。電力系統がなければ、限られた時間しか使わない発電機を各家庭で持つことになるので、社会全体では大きな無駄が発生したことでしょう。しかし、分散電源の発電量も消費者の消費電力も常に変動しているので、それを効率よく、かつ、停電を起こさないように安全に運用するためには電力系統に関する多くの課題を研究する必要があります。伊与田研究室では、高機能なコンピュータを利用したリアルタイムシミュレータなどで、電力系統をよりよくするための研究をしています。

求める学生像： 真面目にコツコツ勉強する学生。

わからないことを放置せず、理解できるまで努力できる学生。

電力エネルギーを扱う分野で仕事をしたい学生。



教員名：海老原 聡 場所：M504号室 研究室名：地球電磁波計測工学研究室

研究テーマ：

1. 地中を電波で計測するためのレーダシステムの開発と研究
2. 不均質な媒質中のアンテナに関する研究
3. 誘電体を用いた電力伝送に関する研究

研究内容：

電波の特徴の一つに、通過しやすさ（透過性）があります。これを利用すると、見えないところにあるものを見つけることができます。例えば、地面の中。地面から数cmの下にあるものも私たちの目ではもう見えません。これは、目を上へ向けると、大気中では数km先が見通せることがあるのとは対照的です。地面の中の計測にも、電波の透過する力が発揮できます。

重要な建築物や施設をつくる際には、必ずボーリング調査をして地面を掘削します。折角できた穴を有効に利用して、穴の中で電波を送受信すると大深度にある断層、き裂や地下構造がはっきりとわかり、これはボアホールレーダと呼ばれます。本研究室では、このボアホールレーダによる地中計測の設計に関する研究、計測システムの試作や実際のフィールド計測への適用について研究します。さらに、本研究室で開発したボアホールレーダを世の中に供給できるように、企業と共同で製品化するためのプロジェクトを進行させています。また、マイクロ波を用いた新たな地下計測法の研究開発やその計測機器への電源供給を目的とした電力伝送法の研究もすすめています。

求める学生像：

将来、皆さんが環境、災害やエネルギー等の諸問題を電気電子の力で解決できるように、電気電子の知識を幅広く応用できる人を育てます。



教員名：岡崎 芳 場所：M608号室 研究室名：集積回路工学研究室

研究テーマ：

1. L S I（集積回路）の回路設計技術、特に低消費電力化手法
2. コンピュータを用いたL S I設計法（計算機援用設計法）
3. ソフトウェア処理をデジタル論理回路で実現する構成法の研究

研究内容：

いまやあらゆる電子機器に搭載され、小型化やモバイル化など、電子機器の姿を大きく変えてきた大規模集積回路"LSI"、その設計技術の研究を行っています。ナノメートル時代に突入したLSI製造技術は1cm角のシリコン小片に 数億個超のトランジスタを集積可能にしています。このように複雑・大規模な電子回路を“誤り無く”かつ、低消費電力化など性能の適正化を図って設計するための、LSI設計手法とその自動化技術が研究テーマです。

また、多くの電子機器はソフトウェアとハードウェアを適切に組み合わせて、複雑な機能の実現や性能向上を達成しています。これに関連して、機器に使用されるCPUの負荷軽減と高速処理を狙いに、ソフトウェア・アルゴリズムをハードウェア（デジタル論理回路）に置き換える設計手法についても取り組んでいます。

求める学生像：

ものづくりでは"simple is best"という言葉があります。基本原理、法則はsimpleで美しいものです。これらの原理、法則をしっかりと理解し、それを応用できるようになってほしいと思います。



教員名：富岡 明宏 場所：W201号室 研究室名：微小光学研究室

研究テーマ：

1. 有機ELデバイスの基礎研究
2. 有機分子材料の高機能化とマイクロ・ナノ発光体の作製
3. タッチパネル・薄膜シート太陽電池用半透明電極の試作

研究内容：

1. 有機発光材料は新しいタイプの「半導体」です。シリコンなど従来の半導体とは異なる「伝導機構」で導電性を発現します。この違いが、直射日光下でも見える明るい画面、あざやかな色を実現すると期待され、発光材料を分子レベルで工夫する基礎研究を行っています。
2. この分子レベルでの工夫を推し進め、超高解像度のディスプレイにつながる、マイクロ・ナノサイズの微小発光体作製にも挑戦しています。
3. iPhone、iPadの普及によりタッチパネルの高機能化が進んでいます。0.1mm離れた2枚の半透明な導電性シートのどこを指で押したのか、2点以上を同時に押してもその位置を高速に検出するためには、シート抵抗値を20Ω以下にすることが求められ、開発競争が始まっています。稀少金属インジウムを使う現状の半透明シートに替わるものとして、私たちは(a)銀ナノファイバーを作りスプレーで吹き付ける方法、(b)導電性高分子を活用する方法を研究しています。

求める学生像：

講義で先生の話を受動的に聴くだけでなく、実験や実習を通して主体的に活動する方々は、大学においても、実社会に出た後も歓迎されること間違いなしです。



教員名：松浦 秀治 場所：M603号室 研究室名：半導体電子デバイス研究室

研究テーマ：

1. 食物・土壌・体内の有害元素及び放射性元素を検出できる半導体デバイスの設計と研究・開発
2. 塗布型有機薄膜デバイス（太陽電池、トランジスタ）の作製と評価
3. 次世代半導体の電気特性の評価方法の研究

研究内容：

1. 日本では、米1kgに有害元素であるカドミウムが0.4 mg（250万分の1）以上含まれていると販売できません。このような極僅かな元素を検出できる、高性能かつ低価格の半導体X線検出デバイスを、コンピュータにより設計し、設計を基に試作したデバイスを測定し、最適なデバイスの開発を行っています。
2. 有機薄膜を用いた、太陽光を電気に変換できる割合が高くかつ低コストで、塗ったり貼ったりできる太陽電池の研究も行っています。特に、学問的に必要な、有機薄膜太陽電池の動作原理の研究を行っています。
3. 現在主流である半導体はシリコンですが、温度が上がると誤動作します。そのため、パソコンの中にファンや放熱板が入っています。電気自動車で用いることを考えると、200℃以上で動作する半導体デバイスが必要となります。そのため、シリコンカーバイドやダイヤモンドの電気的特性を調べています。

求める学生像：

分からないことを解決するために、これまでに学んだ知識を利用できる（つまり、考えることができる）力をつけた学生になって下さい。



教員名：渡邊 俊彦 場所：M501号室 研究室名：知的システム研究室

研究テーマ：

1. 人工知能実現のための強化学習などの機械学習技術・データマイニングの研究
2. ファジィ理論、進化計算などのソフトコンピューティング技術の基礎研究
3. コンピュータビジョンの要素技術の研究開発

研究内容：

近年、ハードウェア技術の進歩による処理の高速化や記憶の大容量化などコンピュータ技術は大きく発展しています。また、二足歩行や新しい機構の設計など機械技術や計測技術の進歩によりロボット技術も大きく発展しようとしています。しかし、人間と同等の知能を持って処理や判断、動作を行うロボットやコンピュータの実現にはまだまだ多くの課題が残されています。

本研究室では、主としてソフトウェア技術の研究開発の観点で、このような「賢いコンピュータやロボット」の実現に向けて不可欠な学習技術の研究や新しい計算パラダイムの研究に取り組んでいます。また、特に三次元計測や三次元復元などへの応用を目指し、画像処理や信号処理、統計処理をベースとしたコンピュータビジョンの要素技術についての研究開発に取り組んでいます。

求める学生像：

システム技術に限らず技術は自分で主体的に十分に考える事が大事です。自分で考え、集中して課題に取り組めば、新しいアイデアも生まれ、技術者としての能力も飛躍的に向上すると思います。そのような取り組みへの素養のある学生を期待します。



教員名：伊藤 義道 場所：M507号室 研究室名：システム制御工学研究室

研究テーマ：

1. 制御系の解析・設計に関する研究
2. 複数のカメラ映像による物体の3次元形状復元に関する研究
3. 映像・音声メディア処理に関する研究

研究内容：

制御とは、人が意図した望ましい振る舞いをシステムにさせることです。飛行機を安全に目的地まで飛ばすこと、ロボットが倒れないようにバランスを保つことはもちろんのこと、身近なところでは、エアコンが部屋の気温や湿度を適切に保ったり、カメラがピントを自動的に合わせることなど、全て制御の技術が使われています。システムに望ましい振る舞いをさせるためには、そのシステムの性質をよく理解し、適切に記述することが必要になります。その際、数学が非常に重要な働きをします。システムに望ましい振る舞いをさせたいという工学の問題を、解き方がよく知られている数学の問題におきかえて解くわけです。

当研究室では、このような考え方を制御系の設計、コンピュータビジョン、メディア処理における様々な問題に対して適用し、Cなどのプログラミング言語を使って、実際に動作するシステムを作成します。

求める学生像：

数学の好きな人、プログラミングが好きな人、これらがそんなに好きでなくても映像や画像、音声処理に興味のある人を歓迎します。きっかけは、好きとか興味があるというだけでも十分ですが、ゆくゆくは、興味のあることに対して主体的に継続的に取り組める人になって欲しいと思います。

謝 辞

OECU-Eノートの作成に当たって、電気電子工学科のカリキュラム等に関する議論をしていただいた学科の教員の方々、就職関連の情報をいただいた就職部の皆様、資格支援の内容を作成していただいた資格支援センターの皆様に感謝いたします。

OECU-Eノート 2014年4月

発行：大阪電気通信大学工学部電気電子工学科
〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18-8
<http://www.osakac.ac.jp>

編著者：松浦 秀治 工学部電気電子工学科 教授
工学部長

著者：玉井 真理子 寝屋川市男女共同参画審議会 委員長
非常勤講師

佐野 正彦 人間科学研究センター 教授
教務部長

岡崎 芳 工学部電気電子工学科 教授

伊与田 功 工学部電気電子工学科 教授

海老原 聡 工学部電気電子工学科 教授

伊藤 義道 工学部電気電子工学科 准教授

不破 信勝 就職部 次長

印刷：昭文社

学籍番号

氏 名
